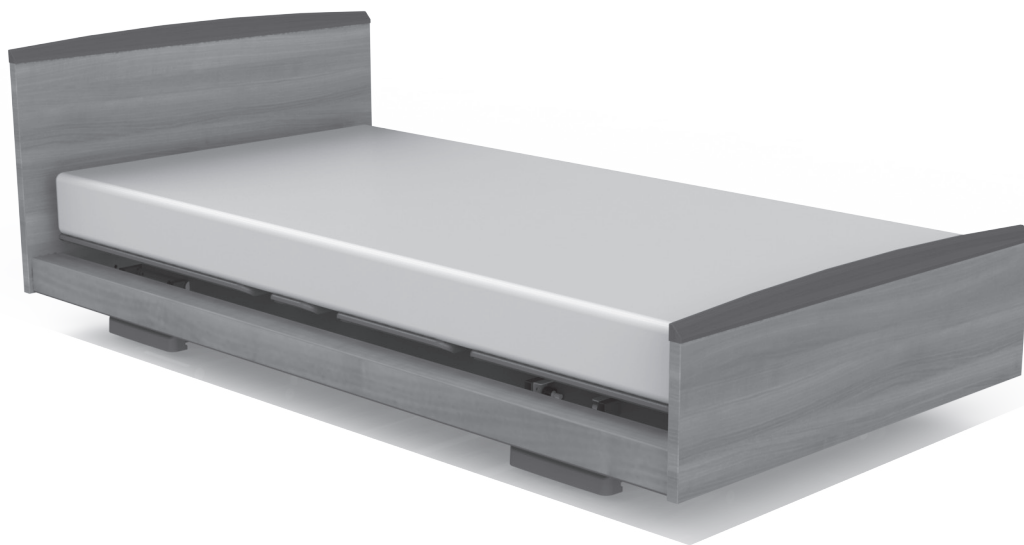


電動リモートコントロールベッド Active Sleepシリーズ RA-E1モデル



※イラストは別売のマットレスを載せた状態です

このたびはActive Sleepシリーズ RA-E1モデルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ベッドをお使いになる前に、「取扱説明書」を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に「取扱説明書」を保管してください。

7F13126200A1

■この製品は、ご家庭でのライフスタイルにあわせて多目的にご利用いただくために作られたベッドです。

こんなことができます

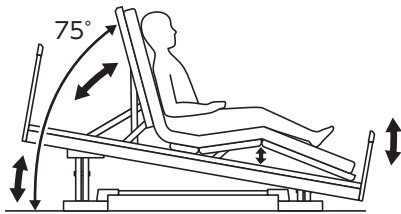
1. ベッドポジションを自在にコントロール

①ラクリアーション

[[P.22・23ページ](#)]

- 機能：背を水平から75°まで無段階に動かせる
 その際、背の動きと連動して膝・
 ベッド高さも自動で動く
- 身体のずれを軽減する背あげ/背さげ
 - ベッドからの起きあがりがいよくなる
 - 上体を起こした姿勢を保持しやすい
 - ベッドの乗り降りや介護の負担を軽減

使用シーン：起床時のサポート
 ベッド上で読書する・TVを観るとき
 など

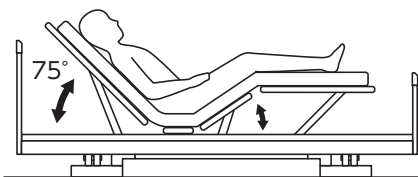


②らくらくーション

[[P.24・25ページ](#)]

- 機能：背を水平から75°まで無段階に動かせる
 その際、背の動きと連動して膝も
 自動で動く
- 身体のずれを軽減する背あげ/背さげ
 - ベッドからの起きあがりがいよくなる
 - 上体を起こした姿勢を保持しやすい

使用シーン：起床時のサポート
 ベッド上で読書する・TVを観るとき
 など

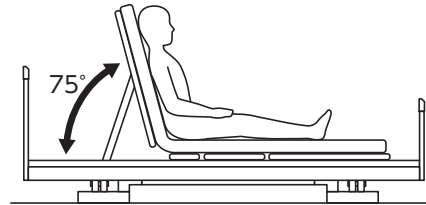


このマークの数字は、
 説明のあるページを示しています。

③背あげ [[P.26ページ](#)]

- 機能：背を水平から75°まで無段階に動かせる
- ベッドからの起きあがりがいよくなる
 - 上体を起こした姿勢を保持しやすい

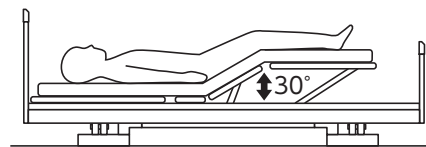
使用シーン：起床時のサポート
 ベッド上で読書する・TVを観るとき
 など



④膝あげ [[P.28ページ](#)]

- 機能：膝を水平から30°まで無段階に動かせる
 足先を腰よりも高くあげることが
 できる
- 背あげ/背さげによる身体のずれを軽減

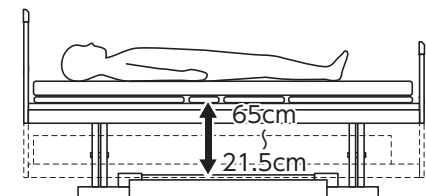
使用シーン：足が疲れたり、むくんだりしたときなど



⑤高さ調節 [[P.27ページ](#)]

- 機能：ベッドの高さを21.5~65cmまで無
 段階に動かせる
- ベッドの乗り降りや介護の負担を軽減

使用シーン：ベッドへの乗り降り時、介護のときなど

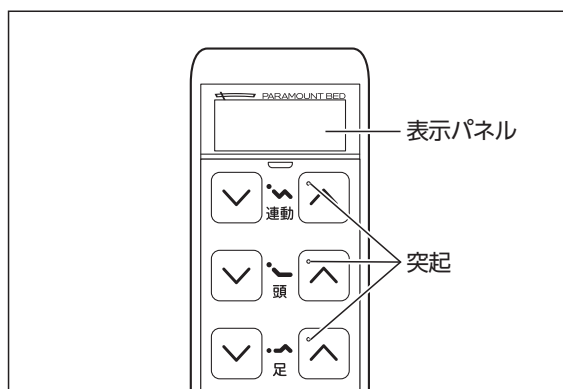


2. ベッドポジションのメモリー [P.29ページ]

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

3. 見やすい・使いやすい手元スイッチ

- 手元スイッチの表示パネルに背・膝の角度やベッドの高さが表示されます。ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンやメモリーボタンの突起により、触感で \square / \square またはメモリーボタン1/2を区別できます。



4. 静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。

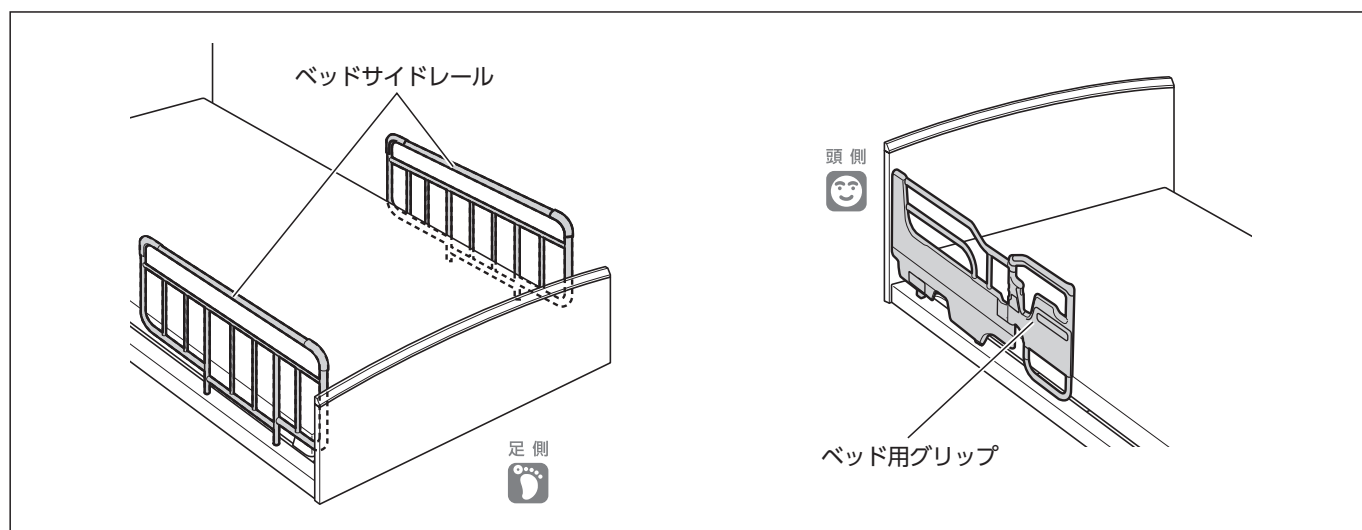
5. 入眠と起床の自動運転や眠りの状態表示・スマートフォンによるベッド操作ができます

- Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***機種のみ搭載) と組み合わせることで、入眠と起床の自動運転や眠りの状態表示などを設定することができます。
- Active Sleep ANALYZERと組み合わせることで、スマートフォンによるベッド操作ができるようになります。

※詳細な取扱いは、Active Sleep ANALYZERの取扱説明書またはActive Sleep AppのFAQをご覧ください。

6. サポートオプションが使えます

身体の状態にあわせて、サポートオプションであるベッドサイドレール（別売）やベッド用グリップ（別売）を取付けることができます。



「安全上の注意」「設置上の注意」を必ずお読みください。(P.6～16ページ)

もくじ

1	各部の名称	5
2	安全上の注意	6～15
3	設置上の注意	16
4	キューブ (宮付) ※RA-E1 **C*のみ	17
5	手元スイッチの取付位置	18
	1. 手元スイッチの配線方向について	18
	2. 手元スイッチの取付けかた	18
6	ベッドの使用方法	19～29
	1. 手元スイッチの各部の名称と働き	19・20
	2. ベッド/手元スイッチの電源の入れかた	21
	3. 背の動かしかた	22～26
	4. ベッドの高さ調節のしかた	27
	5. 膝の動かしかた	28
	6. メモリーポジションへの動かしかた	29
7	手元スイッチによるベッドの設定のしかた	30～35
	1. 設定モードへの切換え	30
	2. ベッドの各動作設定	31・32
	3. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定	33
	4. メモリーポジションの設定	34
	5. 設定のリセット	35
	6. 手元スイッチの交換お知らせ表示	35
8	緊急時のベッド操作のしかた	36～39
	1. 手動による背さげのしかた/戻しかた	36～38
	2. スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について	39
9	サイドパネルの取付向き変更方法	40・41
10	適合オプション	42～46
	1. Active Sleep ANALYZER	43
	2. ベッドサイドレール	43
	3. ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレール	44
	4. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ)	44
	5. ソフトカバー付ベッド用グリップ	45
	6. ベッドサイドテーブル	45
	7. キャスター	46
	8. 脚座ゴムシート	46
	9. スマートハンドル	46
11	適合オプションの組合せと取付位置	47・48
	1. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) を 使用する場合	47・48
	2. ベッドサイドレールを使用する場合	48
12	マットレス (別売)	49
13	電動介護リフト (床走行式リフト) の使用上のご注意	50・51
14	定期点検と日常のお手入れ	52
	1. 定期点検について	52
	2. 日常のお手入れについて	52
15	故障かな?と思ったら	53・54

16 長期保管と移動 (移設)	55
1. 長期保管	55
2. 移動 (移設)	55
17 仕様	56・57
1. ベッド本体	56・57
2. 電装品	57
組立・分解方法	59~120
アフターサービス	121
保証書	裏表紙

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

アフターサービス

- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、この「取扱説明書」では表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、直接弊社までお問い合わせください。(☎ 121ページ)
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

おことわり

- 「**1** 各部の名称」(☎ 5ページ)以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。
・ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) ⇒ ベッド用グリップ

この取扱説明書に記載されているマークについて



について

このマークは、特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを表しています。


頭側 足側

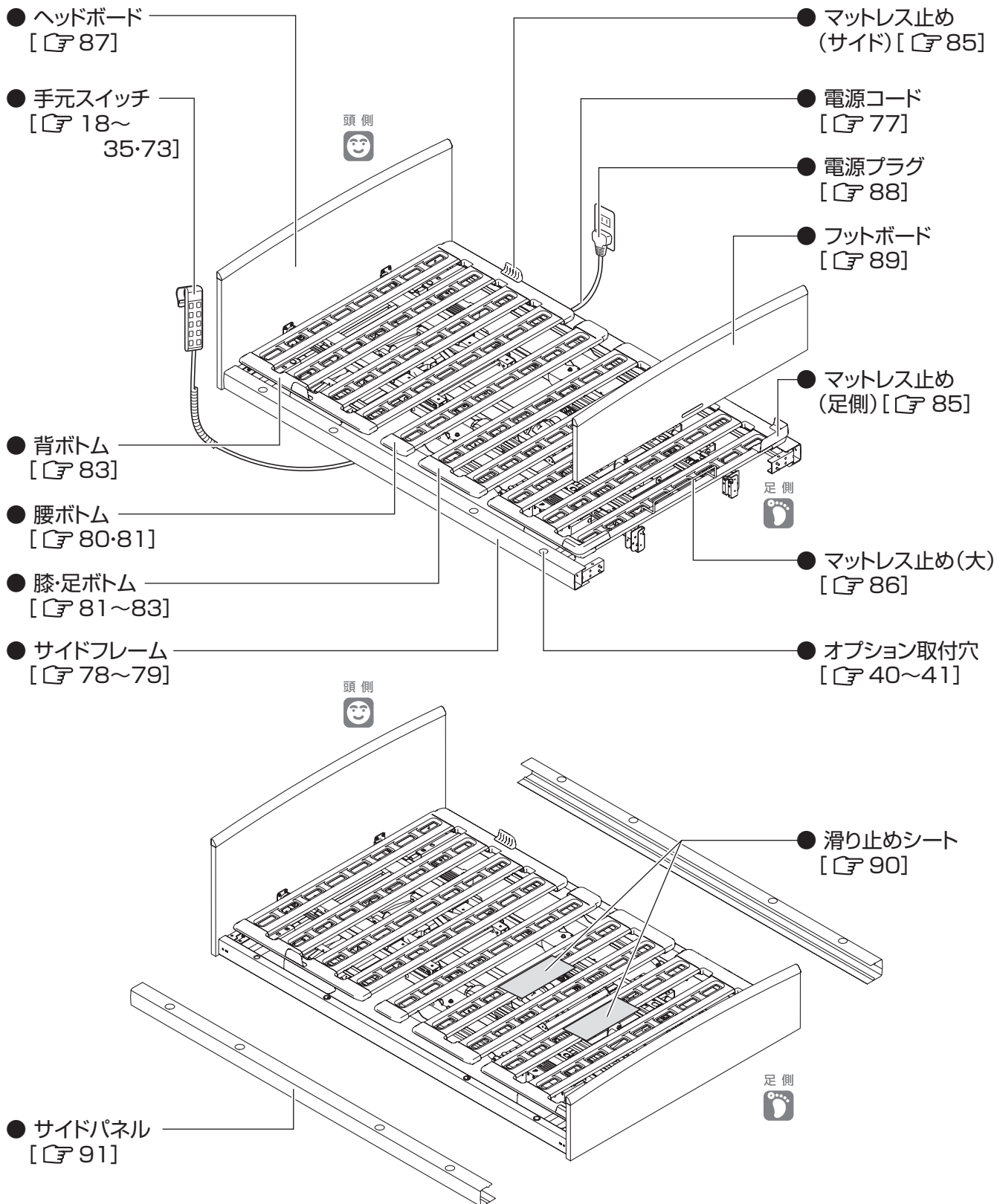


について

このマークは、ベッドの方向(頭側と足側)を表しています。



1 各部の名称

 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



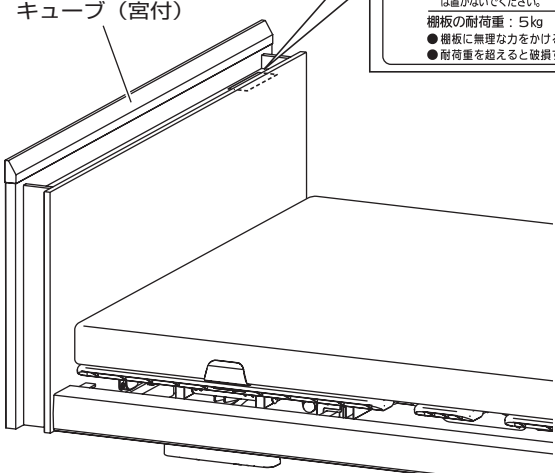
●ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<p>★『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間についての注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。</p>	

【安全ラベルについて】

- 注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてベッドの各部に貼ってあります。はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合にはパラテクノコールセンター（☎121ページ）から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。



キューブ（宮付）

警告

電源プラグに無理な力を加えない
コンセントに水分やほこりを付着させない

- 火災や感電のおそれがあります。
- 水をこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。

ボードにタオル・コップなど水分を含んだものを放置しない

- タオルの水分や、コップの結露などが変色・変質・変形・カビの原因となります。

注意

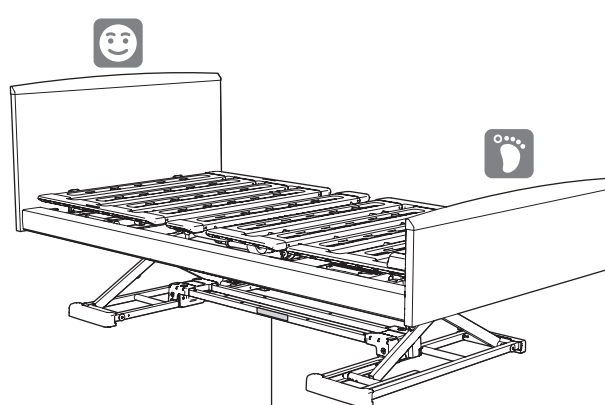
ベッド動作時は、棚板の上に置いたものの落下に注意


- 落下物がつかってけがをしたり、落下によりものが破損したり、床面が傷つくおそれがあります。
- ラクリアモーション時には棚板が狭いため、棚板に落下のおそれがあるもの（高さの高いものなど）は置かないでください。

棚板の耐荷重：5kg

- 棚板に無理な力かけると、破損してけがをするおそれがあります。
- 耐荷重を超えると破損するおそれがあります。

3F13418200A0





警告

死亡・重傷のおそれあり

ベッドの下に入らないでください。
ベッド内に頭・手や足などを入れないでください。

●ベッドの可動部にはさまれると、けがをするおそれがあります。
●掃除などで腕や手などを入れる必要がある場合には、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

3F14477900A0

※ベッド下部に貼付の警告ラベルはベッドの両側に貼付されています。

警告

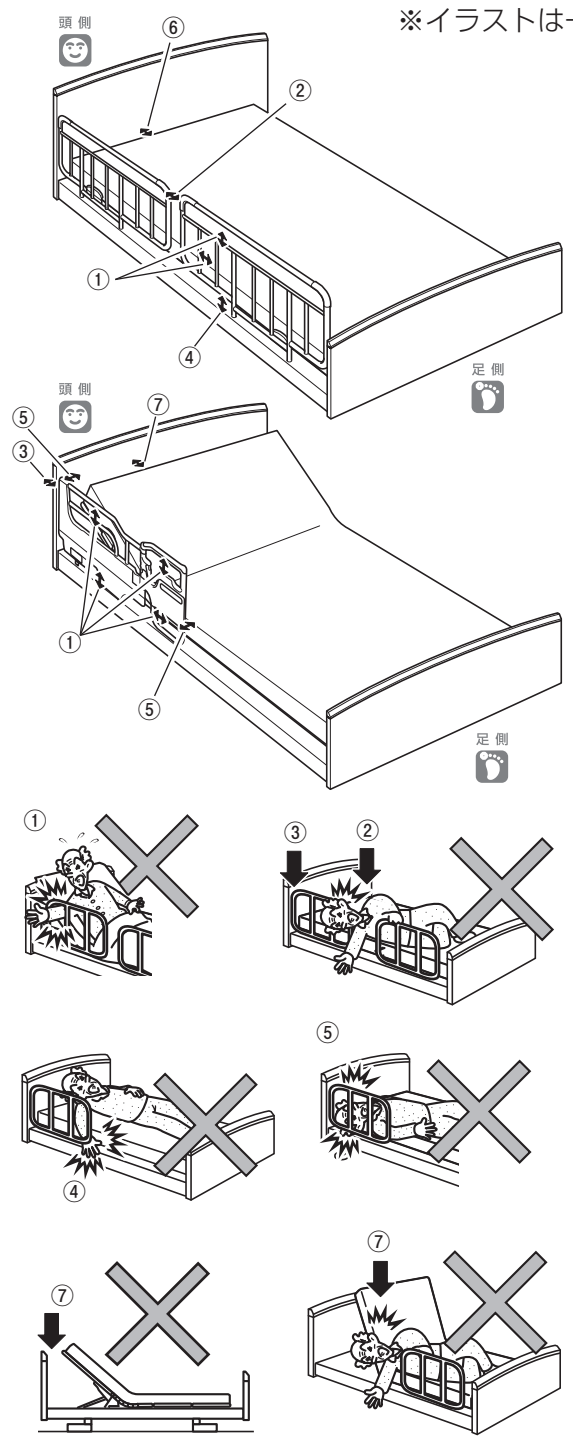
組合せについて

ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品を使用してください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

すき間について

※イラストは一例



すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 下記のすき間に注意してください。

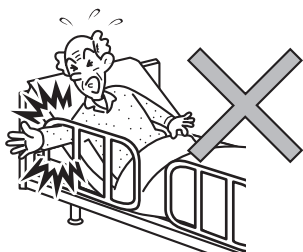
- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
 - ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
 - ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
 - ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(高さ方向)
 - ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(幅方向)
 - ⑥ ボードとマットレスのすき間
 - ⑦ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間
- など

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは「**適合オプションの組合せと取付位置**」(P.47・48ページ)を参照して、正しい組合せでご使用ください。



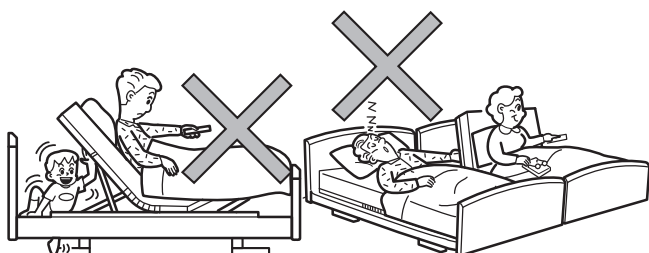
ベッド操作について

身体の一部がすき間に入った状態で、
ベッドの操作をしないでください



- はさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に
身体の一部を入れないでください



- ベッドの可動部とフレームやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 2台のベッドを並べて使用する場合は、隣のベッドの動作にご注意ください。
- ベッド操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。
- スマートフォンでのベッド操作について、Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***機種のみ) の取扱説明書をご覧ください。

ボトム角度やベッドの高さを調節する
ときは、ベッドをご使用の方の状態に
注意してください

- ベッドをご使用の方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き、姿勢で使用して
ください



- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方
(12歳以下のお子様や認知症の方
など) に、操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は☞33ページ）
 - 電源プラグを抜く。



警告

ベッド操作について

介護者の方などがベッドから離れたりベッドをご使用の方から一時的に目を離したりするときは、ボトム^①の角度やベッドの高さに注意してください

万一のベッドからの転落や背あげ時の上体の倒れに備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトム^①の角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

ラクリアモーションの操作後に、端座位や離床を行うときは、ベッドの高さに注意してください

- ラクリアモーションによる背あげ操作では、ベッドが傾斜するため、ベッドの高さが変わることがあります。
 - ラクリアモーションによる背さげ操作では、背あげ前のベッドの高さに戻らないことがあります。
- 上記の場合、足がゆかに着かずに転落・転倒してけがをするおそれがあります。

ラクリアモーションの状態^②で、背さげ^③や高ささげ^④のボタンを押すと、ゆかと膝の角度が大きくなる場合がありますので注意してください

膝があがった状態では、膝がさがらずに傾斜したベッドが水平になる動きをすることがありますので、端座位をされている場合は、バランスをくずして転落・転倒のおそれがあります。体位の保持に不安のある方は、ベッド上に一旦戻り、ベッド・背・膝を水平な状態にしてから再度、端座位をおとりください。

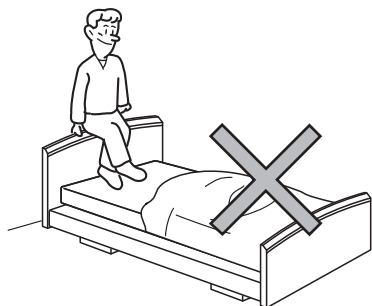
ラクリアモーション動作時は、スイングアーム介助バーのスイングアームを固定した状態で行ってください

スイングアームを固定していないと、ラクリアモーション動作時にスイングアームが不意に動き、けがをするおそれがあります。

警告

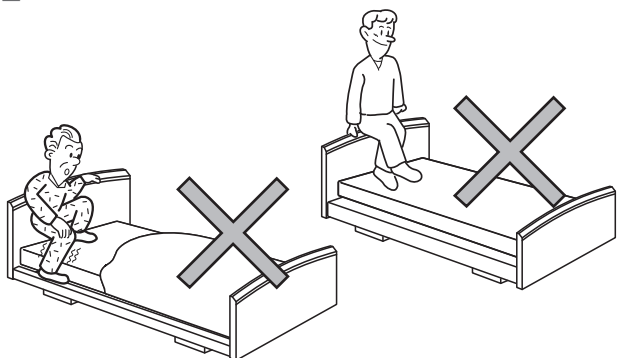
転落・転倒について

ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形して、けがをしたりするおそれがあります。

サイドフレームやヘッドボード・フットボードを手すり代わりにしたり、足をかけて乗り降りしたりしないでください

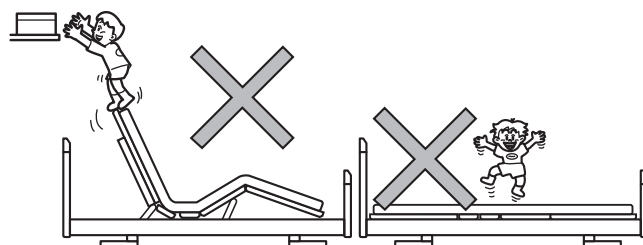


- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- サイドフレームやヘッドボード・フットボードに大きな力がかかり、サイドパネルが外れるなどして、破損・変形するおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください

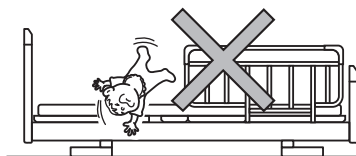
つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドを踏み台代わりにしたり、ベッド上で飛び跳ねたりしないでください



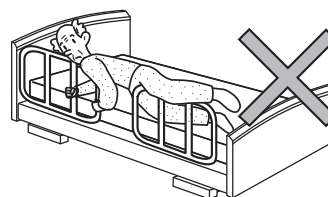
ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部をはさみ、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

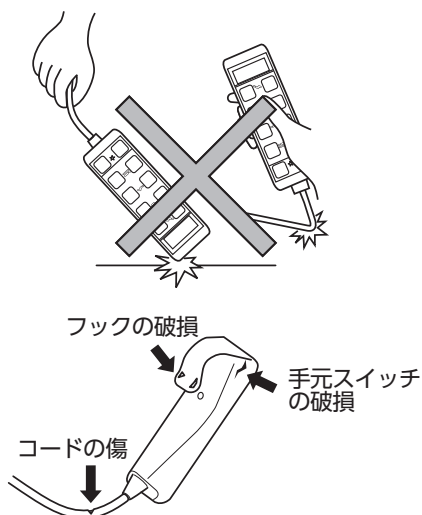


- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合はご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



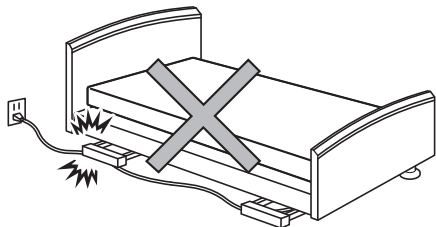
電装品について

手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶついたり傷をつけたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

コード類（電源コードなど）は正しく配線し、傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - ・コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けしないでください

- 電源プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド、適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引っ張るとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。



警告

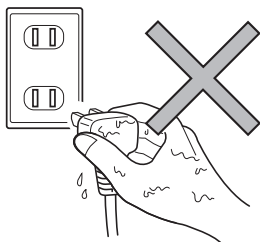
電装品について

電源プラグにほこりなどを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に、水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンター（☎121ページ）までご連絡ください。

点検・修理について

お客様による修理・改造はしないでください

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

■ ベッドは定期的に点検してください

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

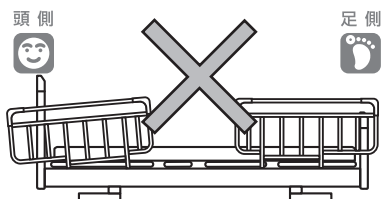
■ 被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（☎121ページ）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。



その他

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、正しい向きで確実に取付けてください



- ベッドから転落したり、発生した意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きで取付けると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、オプション取付穴に異物がないか確認してください

オプション取付穴に異物が入っていると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。

ベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や足などを入れないでください

サイドフレームやエンドフレームとボトムの間に、手(指)を入れた状態でボトムの端に座ると、はさまれてけがをするおそれがあります。

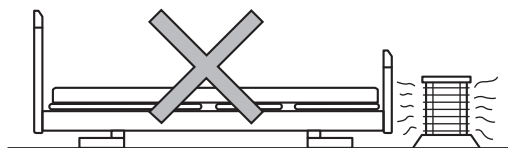
ベッドと壁や周りのものとのすき間に注意してください

- 身体の一部をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

ベッドをご使用の方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

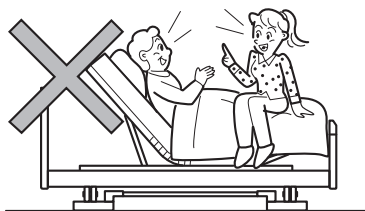
- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***機種のみ) 使用時には、本取扱説明書だけでなく、ActiveSleep ANALYZERの取扱説明書やActiveSleepAPPのFAQをご確認ください

- Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***機種のみ) と組み合わせることでスマートフォンによるベッド操作・設定、入眠と起床の自動運転、睡眠の状態表示などができます。不意な動作や設定変更などにより、ベッドの可動部に挟まれたり、ベッドから落下するなどしてけがをするおそれがあります。

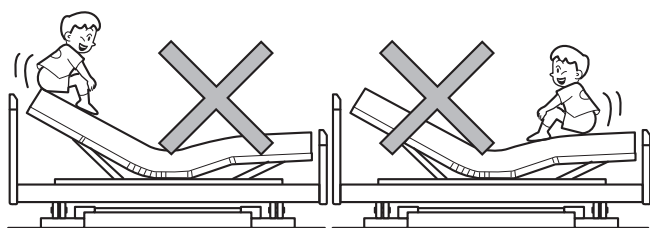
注意

■ 2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
 - ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えていないこと。
 - ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、パラテクノコールセンター（☎ 121ページ）に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

■ あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

■ ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は1700N（174kgf）です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

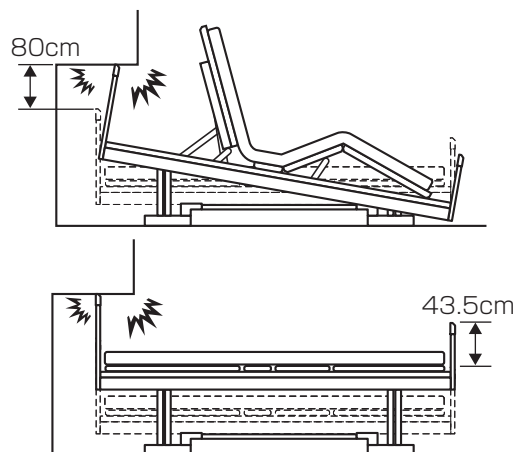
■ スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■ 手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。

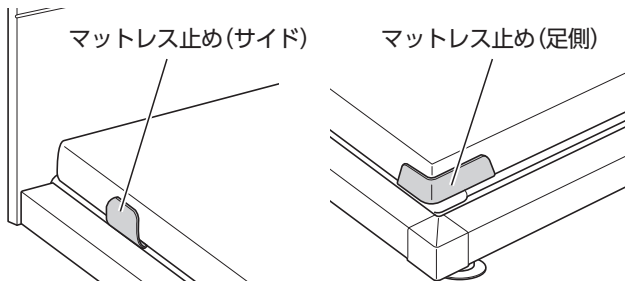
■ ラクリアーションや高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



- ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に43.5cm、ラクリアーション操作で上下に80cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。
- キャスター（RQ-P30C）を取付けた場合、ベッドの高さが10cm高くなります。
- ベッドを使用しているときに、ベッドに負荷や振動を受けると、背や膝、ベッドの高さが少しさがることがありますが故障ではありません。

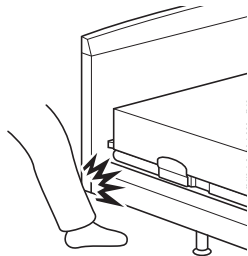
注意

移乗のときなどに、マットレス止め（サイド/足側）に身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

■ ベッドの角に注意してください



足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。特に、サイドフレームが格納位置の状態ボードを取付けた場合は、ボードの角に注意してください。

■ ボードに濡れたタオルなどを掛けしないでください

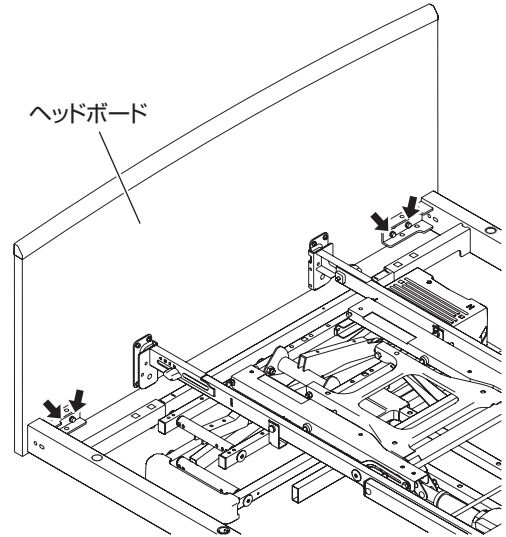
ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

■ ボードに、加湿器などの蒸気を直接当てないでください

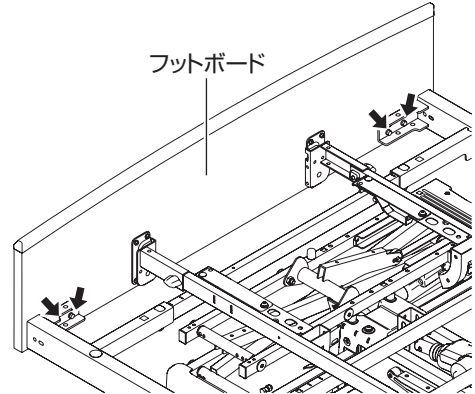
ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

ボードが、指定の取付位置にボルトで確実に固定されていることを確認してください

ヘッドボード：左右2ヶ所（計4ヶ所）



フットボード：左右2ヶ所（計4ヶ所）

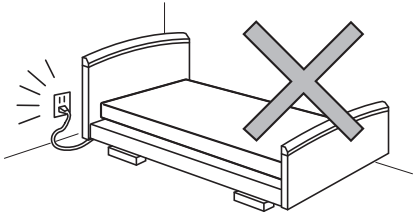


ボードの取付けが不完全（がたつくなど）な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。（☞87～89ページ）

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

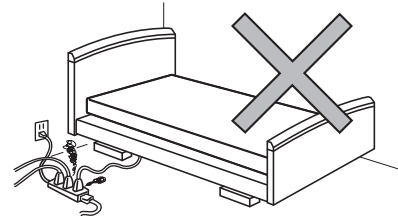
警告

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

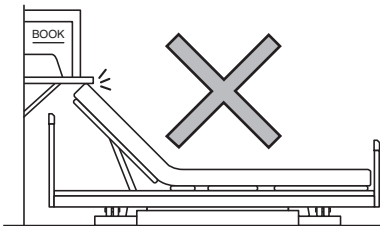
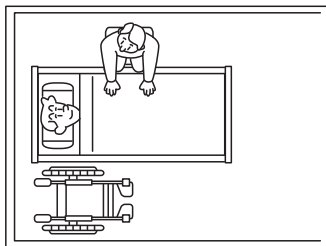
ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

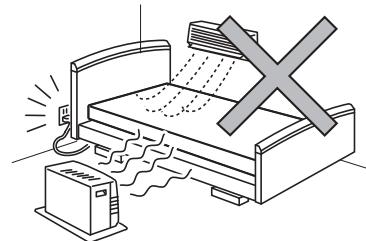
注意

ベッド周辺のスペースを確保してください



- ベッドを使用する方がベッドから起き上がる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護環境で使用する場合、介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

故障の原因となるので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大123kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

4 キューブ (宮付) ※RA-E1* *C*のみ

キューブ (宮付) の特長

■下図のような特長があります。

【棚板】

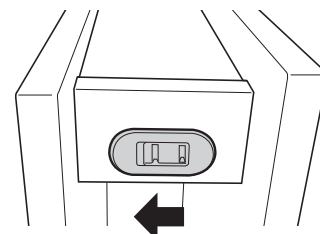
携帯電話、めがねなどの小物が置けます

【電源プラグ】

コンセント利用時はボードにある電源プラグを接続してください

【コンセント】 (1200W まで)

携帯電話などの充電ができます



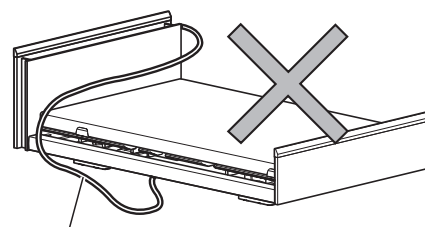
プラグを差し込む際は、スライドカバーを矢印方向にスライドさせてください

⚠ 警告

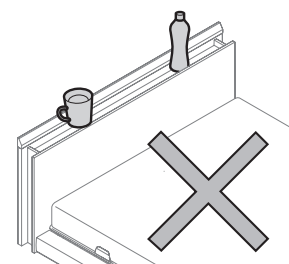
- キューブ (宮付) のコンセントに水分やほこりを付着させないでください。コンセントの表面に水分やほこりが付着していると、火災や感電のおそれがあります。また、故障の原因となります。コンセントの表面に水をこぼしたり、ほこりが付着したりしている場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。コンセントを使用する際は、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグに無理な力を加えないでください。電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- ベッドの電源はキューブ (宮付) のコンセントからとらないでください。電源コードがベッドの可動部にはさまれて、破損するおそれがあります。
- キューブ (宮付) に水分が入った容器、濡れたものは放置しないでください。表面のシートが劣化するおそれがあります。万一、ボードが濡れてしまった場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。
- 棚板に5kgを超えるものを載せないでください。棚板の最大積載量は5kgです。5kgを超えるものを載せると、棚板が破損・変形する原因となります。



ベッドの電源コード

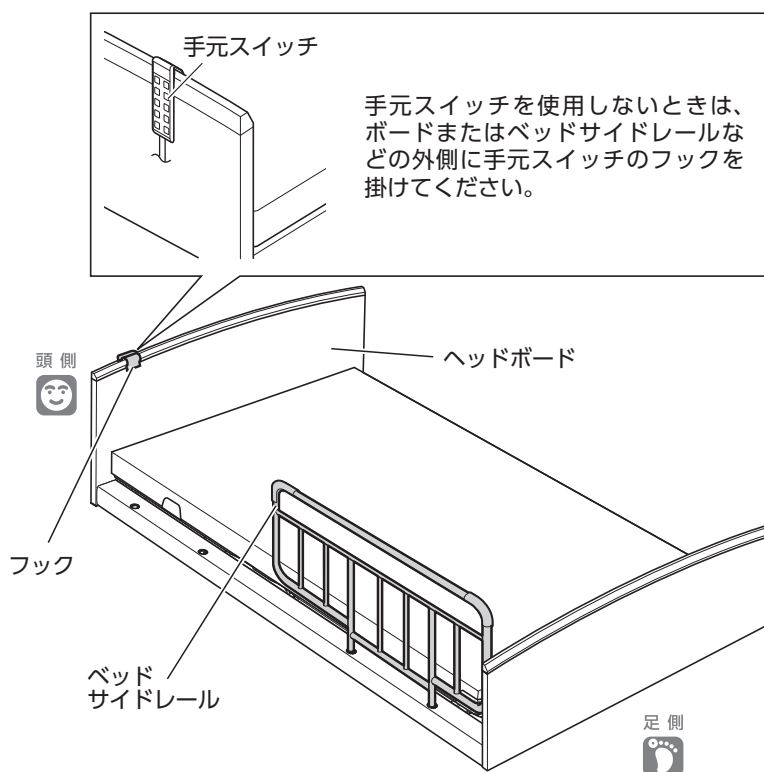


5 手元スイッチの取付位置

1. 手元スイッチの配線方向について

手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。必ず正しい配線方向に配線してください。(P.73ページ)

2. 手元スイッチの取付けかた



けい こく 警告

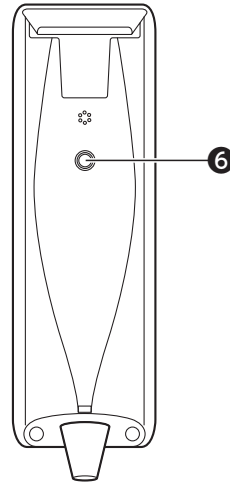
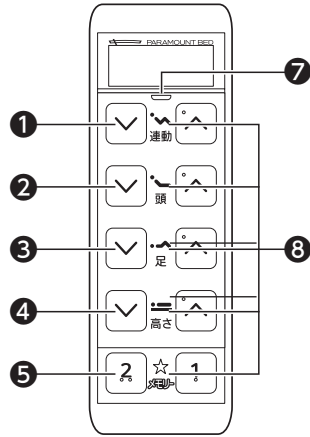
- 手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作によりけがをすることがあります。
- 手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)がはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

6 ベッドの使用法

※手元スイッチに表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。

1. 手元スイッチの各部の名称と働き

操作ボタンと表示ランプ



操作ボタン

- ①連動ボタン**
「ラクリアーション/らくらくモーション」の調節
- ②頭ボタン**
背ボトムの角度を調節
- ③足ボタン**
膝・足ボトムの角度を調節
- ④高さボタン**
ベッドの高さを調節
- ⑤メモリーボタン**
あらかじめ設定したメモリーポジションに向かって、背ボトム・膝・足ボトムの角度、ベッドの高さを調節

操作ボタンについて



警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

設定ボタン

- ⑥設定ボタン**
設定ボタンを押すと、操作ボタンで、各種設定が変更できる

表示ランプ

- ⑦電源ランプ**
ベッドの通電状態をお知らせ
点灯(緑)：正常な通電状態
消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合
点滅(赤)：断線や障害物との接触などの異常を表示
「**15** 故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)を参照して処置してください。

⑧操作選択ランプ

操作ボタンの「有効(操作可能)/ロック(操作禁止)」をお知らせ

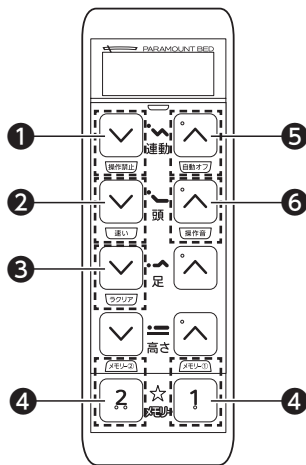
- 点灯(白)：操作が可能な状態
- 消 灯：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態



- 一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手につなど揺れがあると自動で点灯します。
- Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***機種のみ) との連携による入眠と起床の自動運転状態は手元スイッチでは確認できません。Active Sleep Appをインストールしたスマートフォンでご確認ください。

機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。



①操作禁止ボタン
〔F 33ページ〕

④メモリーボタン1/メモリーボタン2
〔F 34ページ〕

②速さ切換ボタン
〔F 31ページ〕

⑤自動オフボタン
〔F 32ページ〕

③ラクリアボタン
〔F 31ページ〕

⑥操作音ボタン
〔F 32ページ〕

表示パネル



①角度/高さ表示/エラーコード

動作中の背ボトム/膝・足ボトム角度またはボトム上面高さを数字で表示
※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。

(53・54ページ参照)

背角度表示…0°～75°(2°間隔で表示)

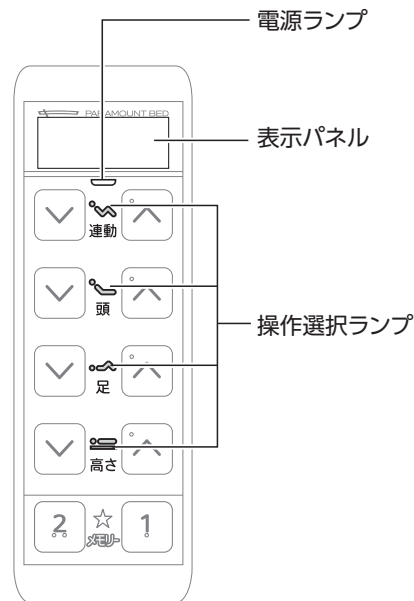
膝角度表示…0°～30°(2°間隔で表示)

高さ表示……21cm～65cm(2cm間隔で表示)

②操作禁止表示

押した操作ボタンがロック（操作禁止）に
設定されているときに点滅

2. ベッド／手元スイッチの電源の入れかた



自動オフ設定が「無効」の場合

電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

自動オフ設定が「有効」の場合

1 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

2 手元スイッチの操作ボタン (∧/∨) のいずれかを押ししてください。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。(電源ON状態)

※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。



電源プラグをコンセントに差込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができます。

3. 背の動かしかた

背あげにはラクリアーション・らくらくーション・背あげの3種類があります。

ラクリアーション操作のしかた

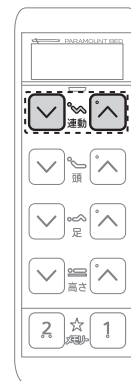


警告

ラクリアーションの操作後に、端座位や離床を行うときは、ベッドの高さに注意してください

- ラクリアーションによる背あげ操作では、ベッドが傾斜するため、ベッドの高さが変わることがあります。
- ラクリアーションによる背下げ操作では、背あげ前のベッドの高さに戻らないことがあります。

上記の場合、足がゆかに着かずに転落・転倒してけがをするおそれがあります。



連動ボタンでラクリアーションによる「背あげ/背下げ」の操作をしてください。

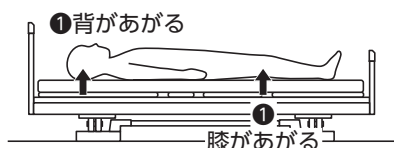
※ラクリアーションとらくらくーションは切替えることができます。連動ボタンを押したときの動作が「ラクリアーション」になっていることを確認してください。

設定モードの設定選択ランプの点灯が明るいことを確認してください。(31ページ参照)

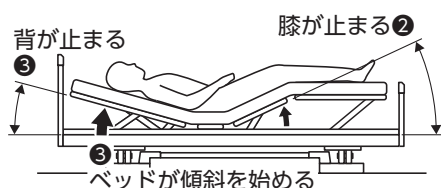
※手元スイッチの表示角度は、ゆかと背ボトムの角度です。

※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

ラクリアーションによる背あげ操作 [連動あげボタン () を押す]

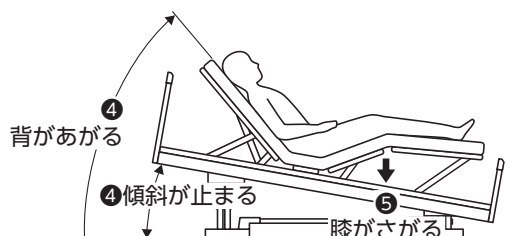


① 背と膝が同時にあがり始める。



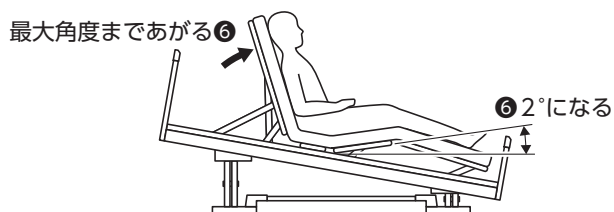
② 膝が最大角度になると止まる。

③ 背が止まると同時に、ベッドが傾斜を始める。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。



④ 傾斜動作が止まると同時に、背があがり始める。

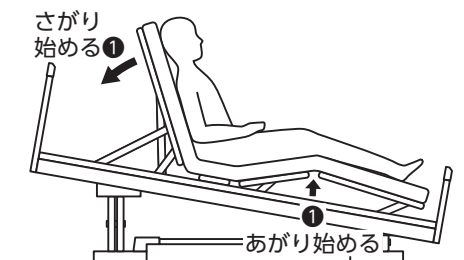
⑤ 背はそのままあがり、膝がさがる。



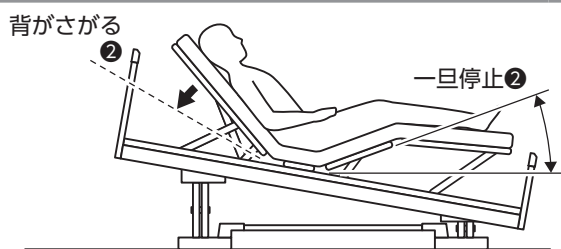
⑥ 背が最大角度まであがり、膝が2°までさがる。

6 ベッドの使用法

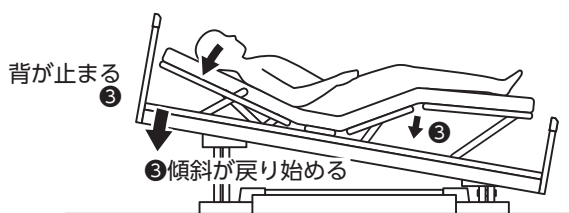
ラクリアーションによる背さげ操作 [連動さげボタン () を押す]



① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



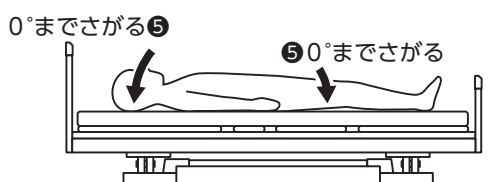
② 膝が一旦停止し、背がさがる。



③ 背が一旦停止し、ベッドの傾斜が戻りながら、膝がさがる。
傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。



④ ベッドの傾斜が水平になり、さらに背・膝がさがる。



⑤ 背・膝の順に0°までさがる。

ベッドの動作について

- 身体が足側にずれないようにするために、ベッドが傾斜している状態では、膝は0°にさげることはできません。
(ゆかより2°あがった状態までしかさがりません)
- ベッドが傾斜した状態で背さげをすると、背が30°になる前にベッドが傾斜が水平になります。
- 背が30°以下の場合で背あげをしても、ベッドを傾斜させることができません。背が30°を超えるとベッドが傾斜し始めます。

らくらくモーション (連動ボタン) 操作のしかた

連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

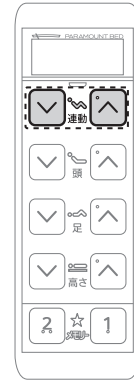
※ラクリアマーションとらくらくモーションは切替えることができます。
連動ボタンを押したときの動作が「らくらくモーション」になっていることを確認してください。

設定モードの設定選択ランプの点灯が暗いことを確認してください。

(31ページ参照)

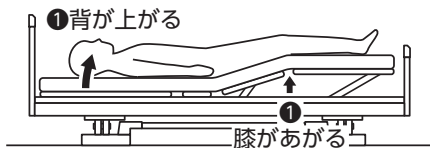
※手元スイッチの表示角度は、ゆかと背ボトムの角度です。

※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

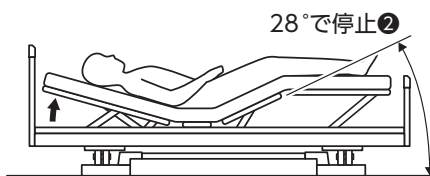


らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン () を押す]

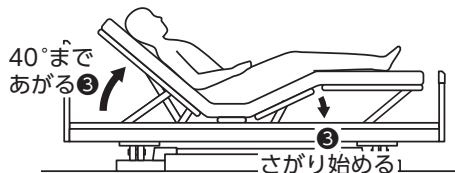
① 背と膝が同時にあがり始める。



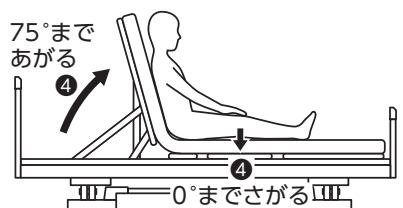
② 膝が28°まであがると停止し、背はそのままあがる。



③ 背が40°まであがると、膝がさがり始める。

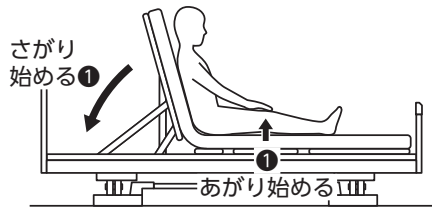


④ 背が最大角度まであがり、膝が0°までさがる。

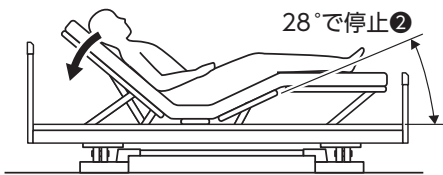


6 ベッドの使用方法

らくらくモーションによる背さげ操作 [連動さげボタン () を押す]



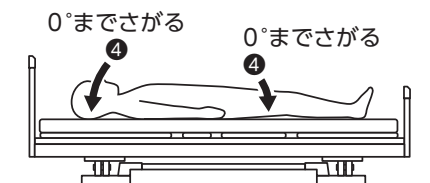
① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



② 膝が28°まであがると停止し、背はそのままさがる。



③ 背が18°までさがると、膝がさがり始める。



④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

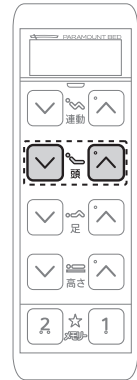
背あげ (頭ボタン) 操作のしかた

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

動作範囲

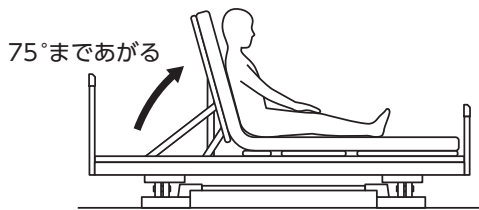
背あげ:0°~75°

- ※背ボトムを0°~75°まで調節できます。
- ※手元スイッチの表示角度は、ゆかと背ボトムとの角度です。
- ※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



背あげ操作

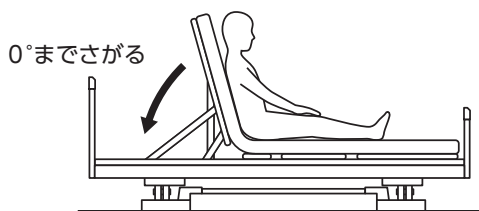
【頭あげボタン () を押す】



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ操作

【頭さげボタン () を押す】



- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

角度制限機能について

胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝・足ボトムとの角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。



- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で、背ボトムと膝・足ボトムは動きます。



6 ベッドの使用方法

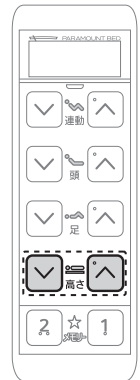
4. ベッドの高さ調節のしかた

動作範囲

高さ:21.5cm～65cm

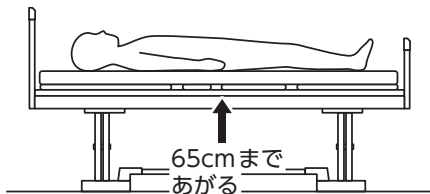
高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

- ※ゆかからベッドのボトム上面までの高さ(床高)を、21.5cm～65cmまで調節できます。
- ※キャスター取付時は、ボトム上面までの高さが表示されている値より10cm 高くなります。
- ※ベッドの高さが21.5cm(最低高さ)のときは、手元スイッチには21cmと表示されます。
- ※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



高さあげ操作

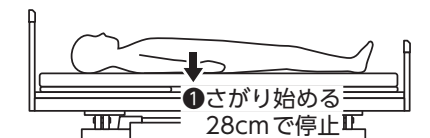
[高さあげボタン (●■■■▲) を押す]



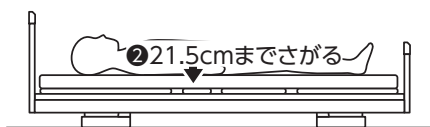
- 高さが65cmまであがる。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

高ささげ操作

[高ささげボタン (●■■■▼) を押す]



- ① ベッドがさがり始める。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。
ボタンを押していても床高が28cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン (●■■■▼) を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが21.5cm(最低高さ)までさがる。
最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

一旦停止後のさげ動作について

- 床高28cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高28cm以下で使用しているベッドをさげる場合(低床動作)は、一旦停止せずに21.5cm(最低高さ)までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音ボタンで操作音「切」に設定しても消すことができません。

ベッドの動作について

ベッドが水平状態で高ささげボタンを押すと、床高が28cmになると一旦停止します。ただし、ベッドが傾斜している状態で高ささげボタンを押すと、傾斜状態のまま、ベッドは床高28cmより高い位置で一旦停止します。ボタンから指を離し、再度高ささげボタンを押すと、傾斜状態のまま、最低高さまでさがります。最低高さまでさがると一旦停止します。ボタンから指を離し、再度高ささげボタンを押すとベッドの頭側がさがる動作をします。

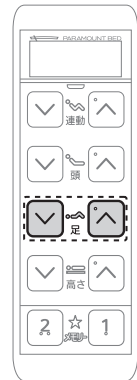
5. 膝の動かし方

動作範囲

膝あげ:0°~30°

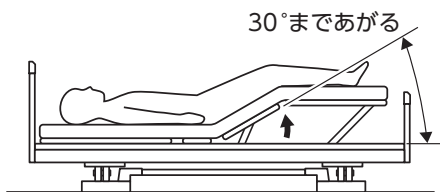
足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

- ※膝・足ボトムの角度を0°~30°まで調節できます。
- ※手元スイッチの表示角度は、ゆかと膝・足ボトムとの角度です。
- ※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



膝あげ操作

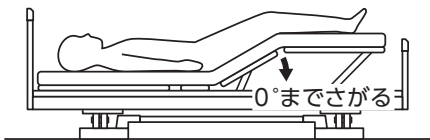
【足あげボタン (● ) を押す】



- 膝が30°まであがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝さげ操作

【足さげボタン (● ) を押す】



- 膝が0°までさがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

ベッドの動作について

- 身体が足側にずれないようにするために、ベッドが傾斜している状態では、膝は0°にさげることはできません。
(ゆかより2°あがった状態までしかさがりません)
- ベッドが傾斜している状態で足あげボタンを押すと、膝は30°より低い角度までしかあがりません。

6. メモリーポジションへの動かし方

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの「背(頭)・「膝(足)」、「高さ」を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は  34ページ)

メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

メモリーポジション1への操作

[メモリーボタン1 (1) を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション2への操作

[メモリーボタン2 (2) を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

- メモリーポジションを床高28cmより低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が28cmになると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。
- ベッドが傾斜している状態から開始する、またはメモリーポジションが傾斜を含んでいる場合はベッドは床高28cmより高い位置で一旦停止します。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

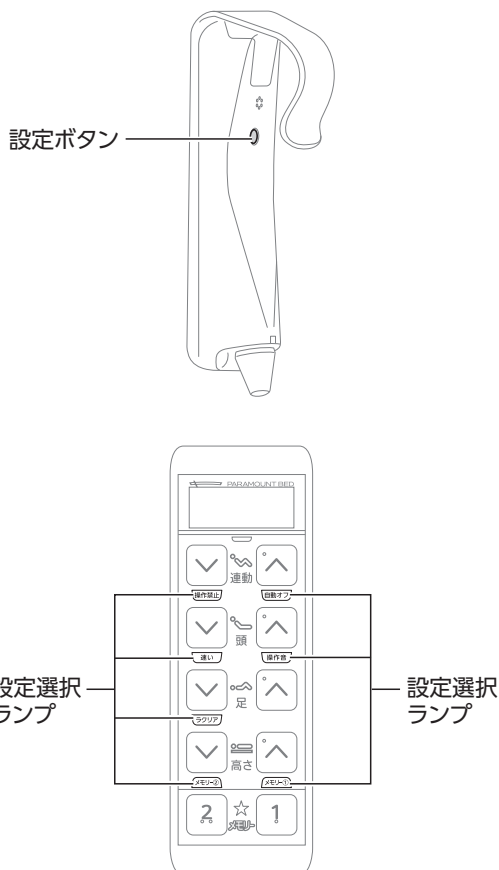
^{けい こく} 警告

- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・ 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は33ページ参照）
 - ・ 電源プラグを抜く。
- 設定ボタンは、ベッド動作中に操作しないでください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

^{ちゅう い} 注意

設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

1. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

^{けい こく} 警告

設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

2. ベッドの各動作設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください(☞ 30ページ)。
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、33ページの「3.操作ボタンのロック(操作禁止)の設定」を参照してください。

● ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。「速い」は「普通」の1.3倍の速さで動作します。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:普通
明るい:速い



- ベッド高さが28cm以下では、高ささげの動作速度は「普通」より低速でさがります。
- ベッド使用者体重が100kg以上の場合、ベッドの動作速度を「速い」に設定していても、高さあげの動作速度が「普通」になることがあります。

● 「ラクリアモーション」と「らくらくモーション」の切換え

連動ボタンを押したときの動作(ラクリアモーション/らくらくモーション)を交互に切換えることができます。

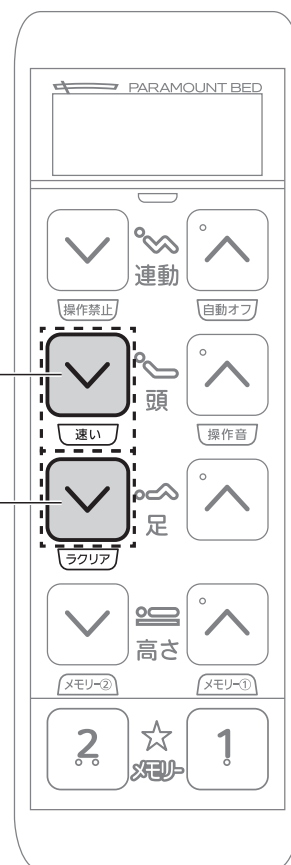
※初期状態では「ラクリアモーション」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:らくらくモーション
明るい:ラクリアモーション

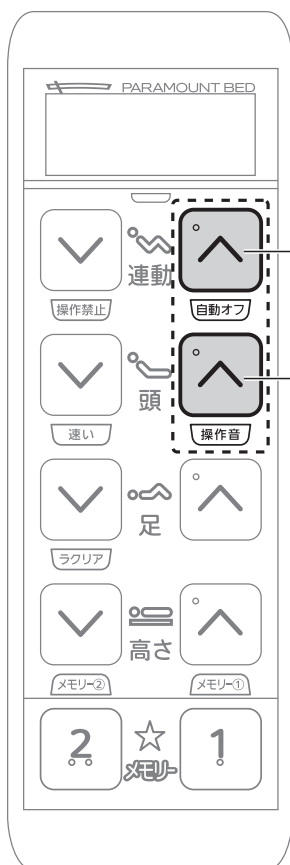


ベッドが傾斜しているときは、らくらくモーションへの切換えができません。
らくらくモーションへ切換えたい場合は、ベッドを一度水平に戻してから行ってください。



警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。
 ※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効

● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:切

明るい:入



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても消すことができません。

警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

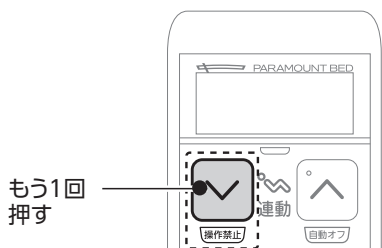
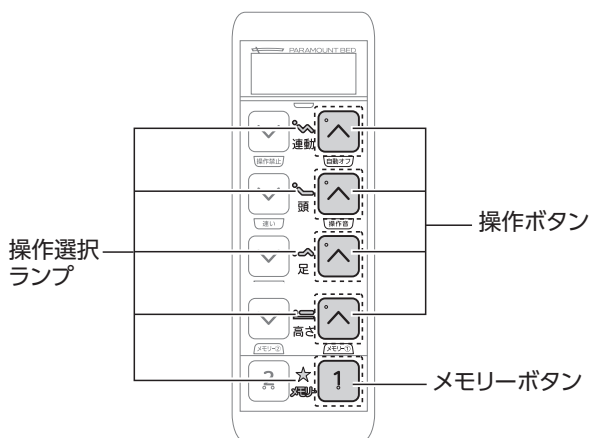
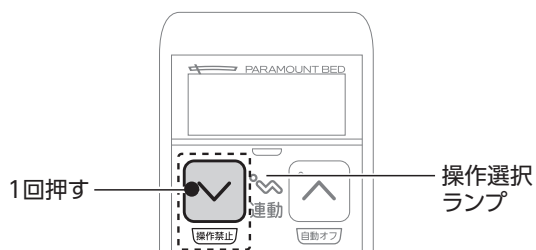
3. 操作ボタンのロック（操作禁止）の設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。
(P. 30 ページ)

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。
※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

設定のしかた



1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック (操作禁止) されている操作ボタンの操作
選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボ
タンの操作選択ランプは点滅します。

2 操作禁止したい、または操作禁止を解除 したい操作ボタンの ボタンを押して ください。また、メモリーボタンを禁止 にしたい場合はメモリーボタンの ボ タンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切換わります。
禁止したい：点滅→消灯
解除したい：消灯→点滅

3 操作禁止ボタンを、もう1回押してくだ さい。

操作選択ランプの点滅が消えて点灯に変わ
ります。

4 設定ボタンをもう一度押してください。

設定が完了します。

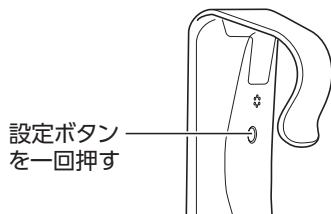
警告

- 頭・足・高さボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足・高さ・ベッドの傾斜が動作する場合があります、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。
- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

4. メモリーポジションの設定

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録できます。

設定のしかた



1 ボタン登録したいポジションまでベッドを動作させてください。

2 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

3 ポジションを登録したいメモリーボタン ① / ② を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。



初期設定に戻りたい場合は、メモリーボタンを3秒以上長押ししてください。「ピーツ」と音が鳴り、初期設定のポジションが仮登録されます。

4 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



メモリーポジションを再設定したい場合は、再度1~4を行ってください。

警告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確認してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

初期設定では、以下のポジションが登録されています。

メモリーポジション1 ① : 背 50° (傾斜 10° を含めた角度)
膝 14° (傾斜 10° を含めた角度) 高さ調節動作なし

メモリーポジション2 ② : 背 10° 膝 0° 高さ調節動作なし



- 初期設定では、メモリーボタンを押しても、高さ調節動作はしません。
- メモリーポジション1は、現在の高さが低床 (34cm未満) または高床 (52cmより高い) の場合、傾斜を実現するために高さ変化します。
- 初期設定ではメモリーポジション2を押すと、ベッドが傾斜しているときは水平に戻ります。
- 連動ボタンを押したときの動作をらくらくモーションに設定している場合は、メモリーポジションに傾斜している状態を登録していたとしても傾斜は動作しません。登録した背・膝角度 (傾斜なしの角度) および高さまで動作します。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

5. 設定のリセット

ベッドの操作設定を初期状態に戻します。

手元スイッチ表面のいずれかの操作ボタン2ヶ所と裏面の設定ボタンの計3個のボタンを同時に3秒以上長押しすると、ベッドの操作設定を初期状態に戻すことができます。

初期状態

項目	状態
操作禁止	ロック解除 (すべての操作が可能)
速さ切換	普通
ラクリア	ラクリアマーション
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー① ※1	初期値 (背50° (傾斜10°を含めた角度) 膝14° (傾斜10°を含めた角度) 高さ調節動作なし)
メモリー②	初期値 (背 10° 膝0° 高さ調節動作なし)

- ※1) ●メモリーポジション1は、現在の高さが低床 (34cm未満) または高床 (52cmより高い) の場合、傾斜を実現するために高さが変化します。
- 連動ボタンを押したときの動作をらくらくモーションに設定している場合は、メモリーポジションに傾斜している状態を登録していたとしても傾斜は動作しません。登録した背・膝角度 (傾斜なしの角度) および高さまで動作します。



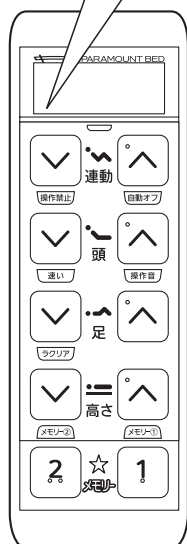
停電後や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、設定した内容は取消しされません。必要に応じて、設定のリセットをしてください。

6. 手元スイッチの交換お知らせ表示

手元スイッチの交換時期をお知らせします。



- 設定モードにした際、手元スイッチ上部の表示パネルにレンチマークが点灯しているときは、手元スイッチの交換時期であることを示しています。お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンター (☎ 121ページ) までご連絡ください。



8 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



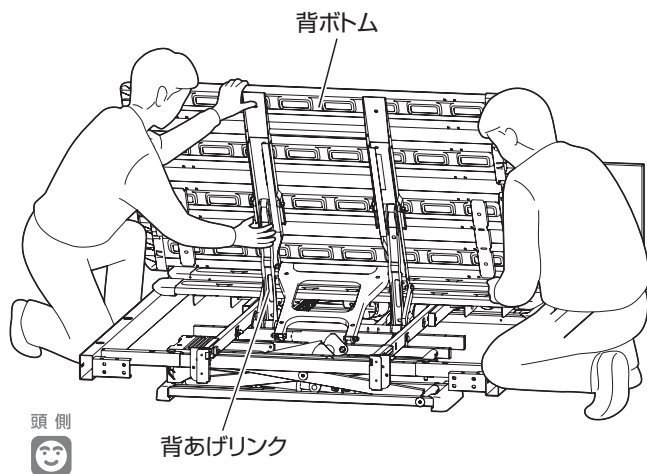
停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**図** 故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、パラテクノコールセンター (P.121ページ)までご連絡ください。

ちゅうい 注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた / 戻しかた

背さげのしかた



- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜く。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ③ ヘッドボードを取外す。(P.106ページ)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支える。

ちゅうい 注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

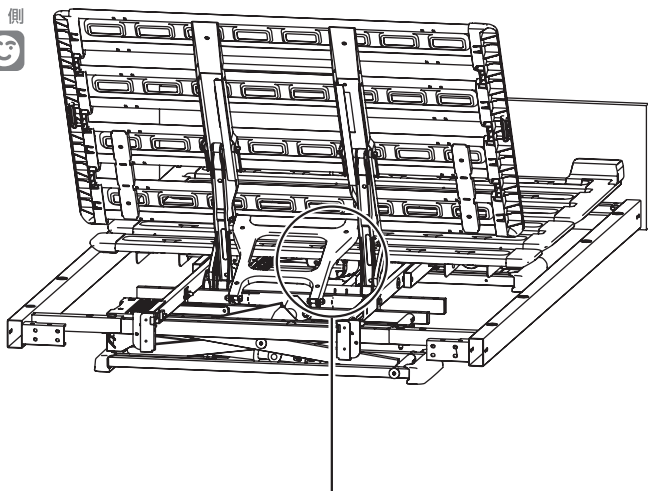
使用する工具

ペンチ・プライヤー (小)

↓ 次ページに続く

8 緊急時のベッド操作のしかた

頭側
😊



- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外す。
- ⑥ 連結ピンを取外す。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。

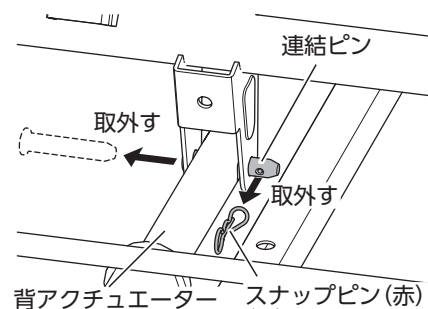
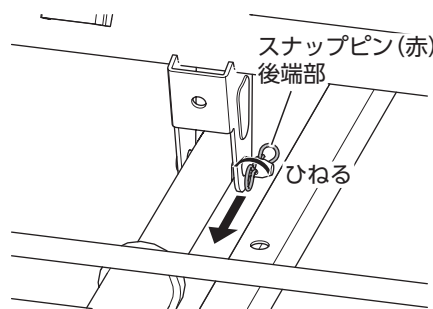


取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。

スナップピンの抜きかた

●スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜く。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。

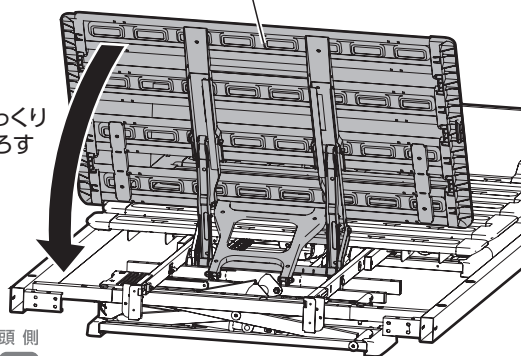


8

緊急時のベッド操作のしかた

背ボトム

ゆっくり
降ろす



頭側
😊

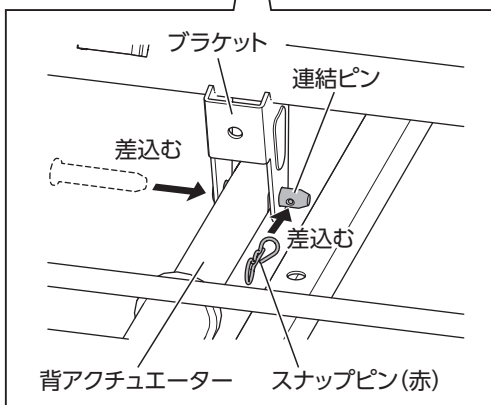
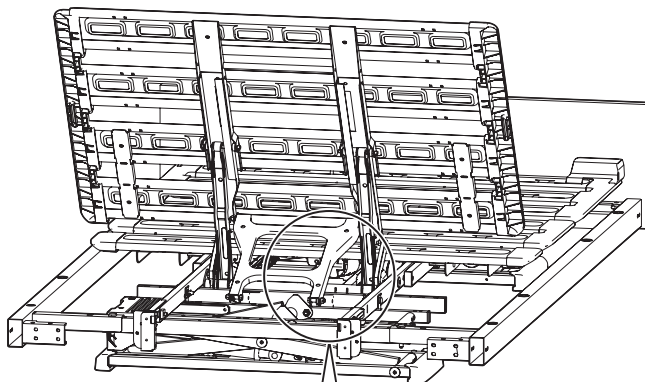
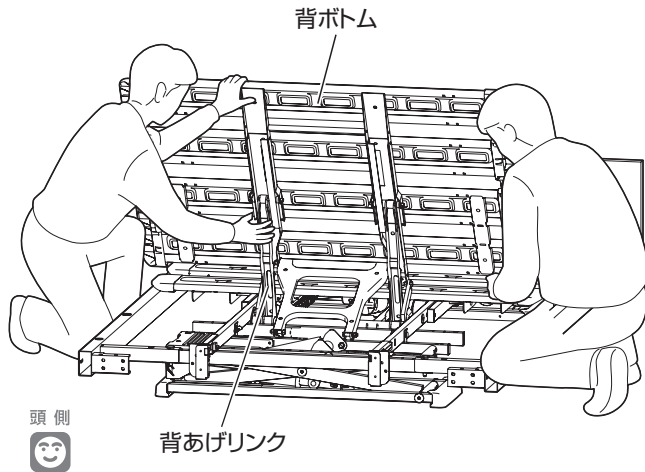
- ⑦ 背あげリンクを降ろし、背ボトムをゆっくり降ろす。

- ⑧ ヘッドボードを取付ける。(P 87・88ページ)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた



停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(P.94~103ページ)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ② ヘッドボードを取外す。(P.106ページ)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支える。

- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定する。

※背アクチュエーターを持ちながら取付けてください。

注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、パラテクノコールセンター(P.121ページ)までご依頼ください。



連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込む。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげる。
- ⑦ ヘッドボードを取付ける。(P.87・88ページ)

2. スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について

■スマートハンドル (NN-2000 : 別売) で、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。

※ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。



注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。操作中にベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。



詳細な取扱いは、スマートハンドルに添付されている取扱説明書をご覧ください。

9 サイドパネルの取付向き変更方法

警告

サイドパネルは確実に取付けてください。確実に取付いていない状態で使用すると、思わぬけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

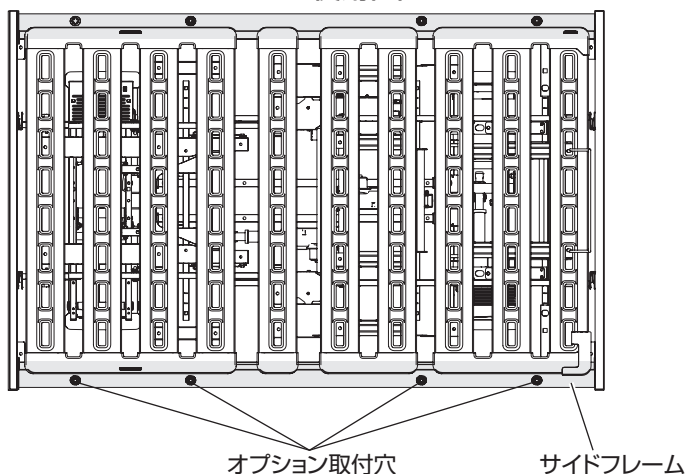
注意

一度取付けたサイドパネルを取外す場合は十分注意して行ってください。無理に取外そうとすると、破損したり外れやすくなったりします。

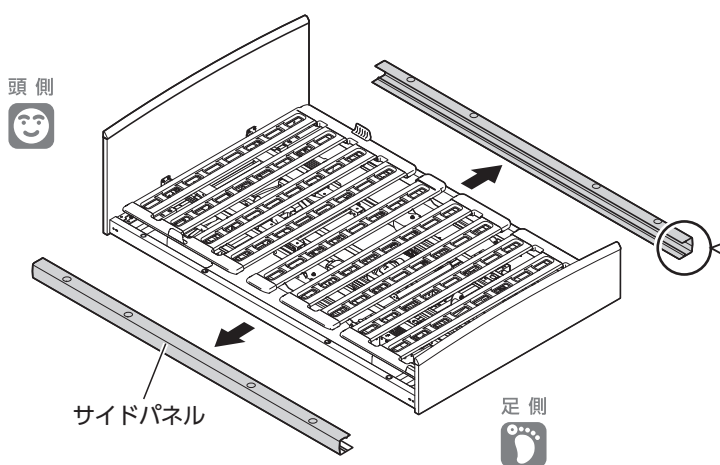
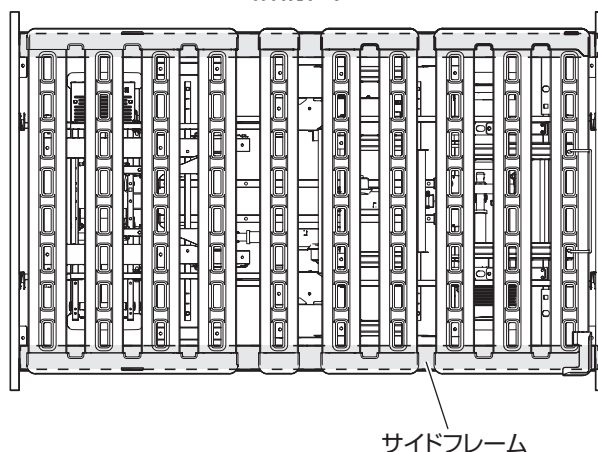
サイドフレームについて

- サイドフレームは、下図のようにベッドの使用用途によって取付位置が異なります。ベッド組立時に取付位置を決めてから、サイドフレームを取付けてください。
- サイドパネルの取付向き変更は、サイドフレームが「オプション使用位置」の場合に行ってください。

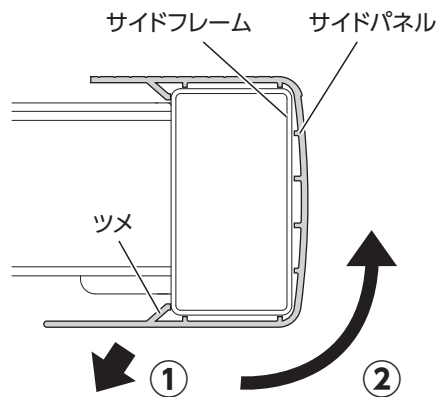
<オプション使用位置>



<格納位置>



- ① サイドパネルの長い側(穴の開いてない側)のツメを外す。
- ② サイドパネルを上側に引きあげ取外す。



- サイドパネルを取外す際は、ボードを傷つけないように注意してください。
- 端部を手で持つ際には、けがをしないように注意してください。

↓ 次ページに続く

9 サイドパネルの取付向き変更方法

③ サイドパネルの向きを選択する。

<オプション取付穴を使用しない場合>

<オプション取付穴を使用する場合>

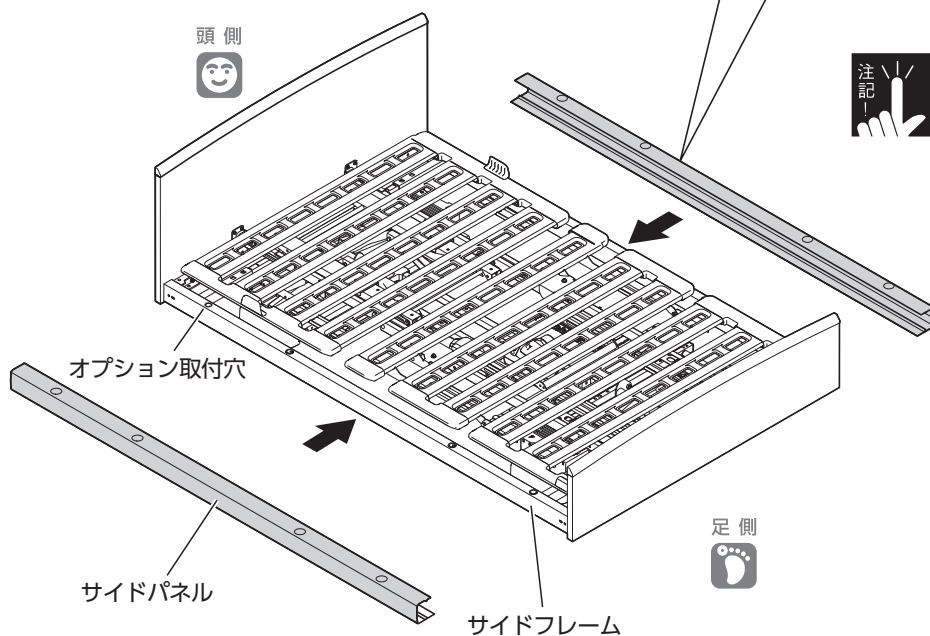
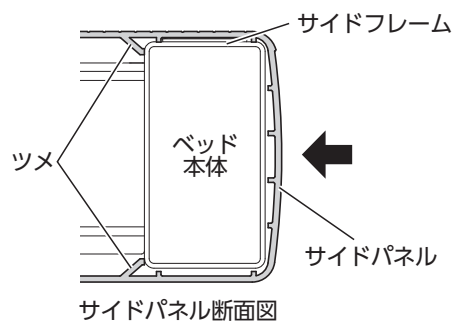


④

【サイドパネルの取付け】

ツメがサイドフレームに引っ掛かるまで、押込む。
(左右各1ヶ所)

※オプション取付穴を使用する場合は、サイド
パネルの穴を上側にして取付けてください。



- サイドパネルを取付ける際は、ボードを傷つけないように注意してください。
- 端部を手で持つ際には、けがをしないように注意してください。

ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、直接弊社（☎121ページ）までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q ➔ KS-161Qを示します。



適合品は、仕様の変更や組合せなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、直接弊社（☎121ページ）までお問い合わせください。

警告

- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをすることがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

適合表

製品名		品番	参照ページ
Active Sleep ANALYZER		NN-1030D	43
ベッドサイドレール	KS-161Qシリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126M/W	43
	KS-171Qシリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146M/W	43
	KS-191Qシリーズ	KS-191Q	43
	KS-111Qシリーズ	KS-111Q・KS-116Q	43
ソフトガードサイドレール		KS-019A	43
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC KS-126MC/WC・KS-146MC/WC KS-166QC・KS-176QC	44
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT KS-126MT/WT・KS-146MT/WT KS-166QT・KS-176QT	44
キャスター		RQ-P30C	46
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-099A/B	44
	サイドグリップ	KS-030A	44
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	サイドグリップ	KS-030AC	45
ベッドサイドテーブル		KF-1900/1920/1930/1970/1980/1924/1934/ 1974/1984/2923/2933/2973/282	45
脚座ゴムシート		KQ-P70K・KQ-P732	46
スマートハンドル		NN-2000	46
電動介護リフト		KQ-781・KQ-787	50

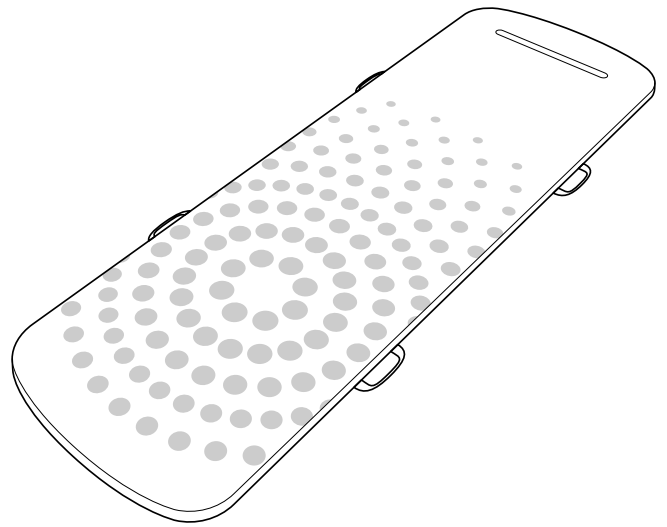
1.Active Sleep ANALYZER

Active Sleep ANALYZERと組み合わせることにより、以下の機能を使うことができます。

- **入眠と起床の自動運転**
Active Sleep ANALYZERが入眠を測定すると、静かに背が下がりはじめてフラットな状態に戻り、起床にあわせて背をあげることができるようになります。
- **眠りの状態表示**
お持ちのスマートフォンで眠りの状態やアドバイスを表示できるようになります。
- **スマートフォンでの操作**
お持ちのスマートフォンでベッド操作できるようになります。ベッドのご利用目的にあわせたポジション設定などができるようになります。



- 上記の機能をご使用になるには、機器の設定や環境、ご利用になられている方の状態などの条件によります。詳しくは、Active Sleep ANALYZERの取扱説明書をご覧ください。
- Active Sleep ANALYZERとの連携による入眠と起床の自動運転状態は手元スイッチでは確認できません。Active Sleep Appをインストールしたスマートフォンでご確認ください。



Active Sleep ANALYZER適合表

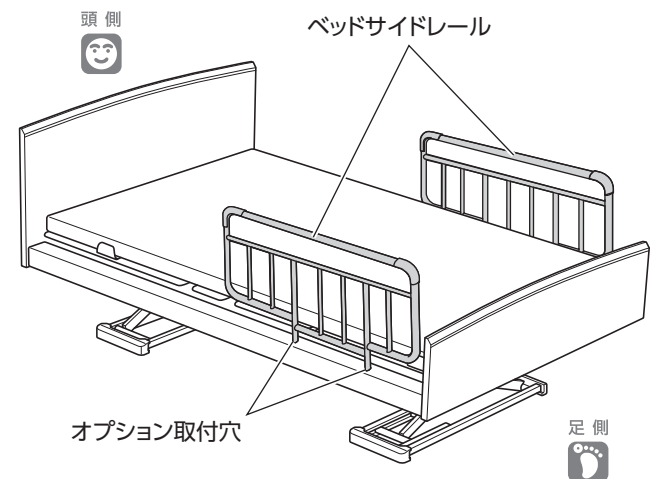
Active Sleep ANALYZER	NN-1030D
-----------------------	----------

2. ベッドサイドレール

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、組合せ可能なベッドサイドレール(☞48ページ)と組合せてお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール(KS-019A)や各種カバーをお使いください。



KS-191QはKS-099A/B・KS-030Aと組合せるもしくは、単独でベッドサイドに取付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並列で組合せたり、KS-191Qを2本並列で使用したりしないでください。詳しくは、「10 適合オプションの組合せと取付位置」(☞47・48ページ)をご覧ください。



ベッドサイドレール適合表

ベッドサイドレール	KS-161Q・KS-171Q・KS-191Q・KS-111Q/KS-116Q・KS-126M/W・KS-146M/W・KS-166・KS-176
ソフトガードサイドレール	KS-019A

3. ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバーのセットです。
- 表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
- ソフトカバー/クリアカバーのみでもお求めいただけます。

クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/MT/ WT	KS-126B/C/ M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/MT/ WT	KS-146B/C/ M/W	
KS-191QT	KS-191Q	

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

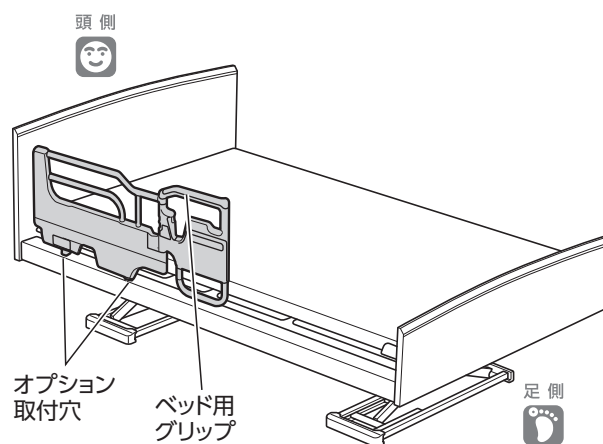
ソフトカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/MC/ WC	KS-126B/C/ M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/MC/ WC	KS-146B/C/ M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

4. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー / サイドグリップ）

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、ベッドサイドレール（KS-191Qシリーズ）・サイドグリップ（KS-030A）をお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトカバーをお使いください。

ベッド用グリップ適合表

スイングアーム介助バー	KS-099A/B
サイドグリップ	KS-030A



5. ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- ソフトカバーのみでもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

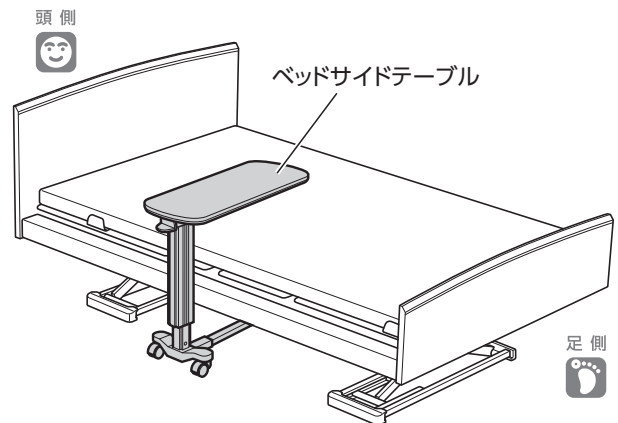
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

6. ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。

ベッドサイドテーブル適合表


ベッドサイドテーブル	KF-1900・KF-1920・KF-1930 KF-1970・KF-1980・KF-1924 KF-1934・KF-1974・KF-1984 KF-2923・KF-2933・KF-2973 KF-282
------------	--

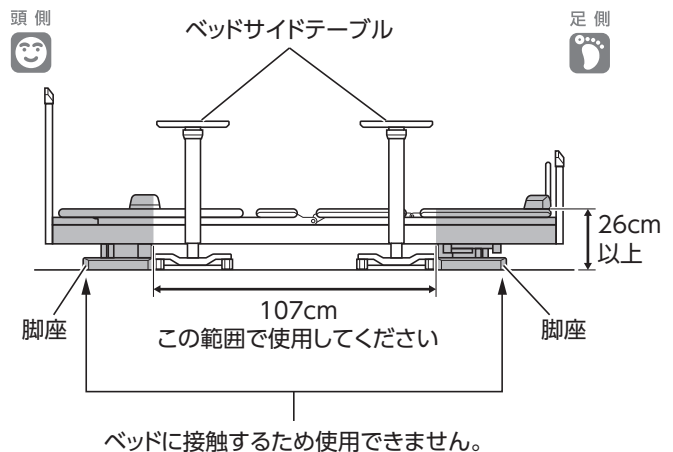


警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

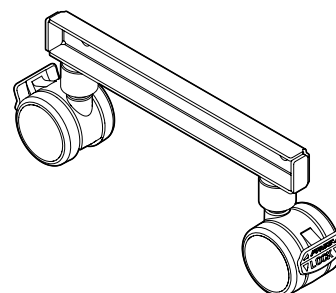
注意

- 右図は、ベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています（部分は使用不可）。ベッドサイドテーブルは床高を26cm以上にして、この範囲で使用してください。床高が26cm未満または右図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。



7. キャスター

- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- ベッドの高さが10cm高くなります。
- ベッドサイドテーブルは使用範囲内(45ページ参照)で使用してください。
電動介護リフトは使用範囲内(51ページ参照)で使用してください。



キャスター適合表

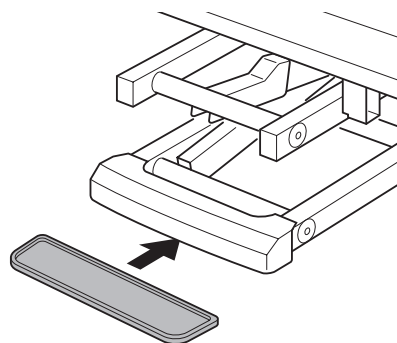
キャスター	RQ-P30C
-------	---------

8. 脚座ゴムシート

ベッド本体のすべり止めや、脚座やキャスターによるゆか面への傷つき防止用に使用します。

※KQ-P732 (キャスター用) は、脚座の下には使用できません。キャスター (RQ-P30C) 取付時に使用してください。

※キャスター (RQ-P30C) 取付時は、KQ-P732 (キャスター用) を2組使用してください。



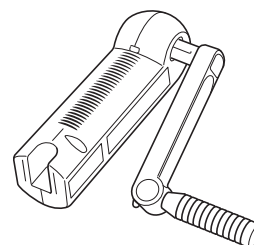
脚座ゴムシート適合表

脚座ゴムシート	KQ-P70K・KQ-P732
---------	-----------------

9. スマートハンドル

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」を行うことができます。

※ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。



スマートハンドル適合表

スマートハンドル	NN-2000
----------	---------

11 適合オプションの組合せと取付位置

適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



- 正しい組合せと取付位置については、全機種共通です。
- 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。
- ご不明な点がありましたら、直接弊社（☎ 121 ページ）までお問い合わせください。

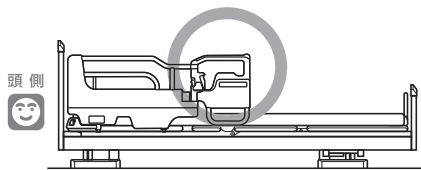
警告

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

1. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー / サイドグリップ）を使用する場合

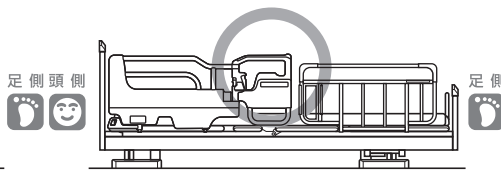
各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

● KS-099A/B



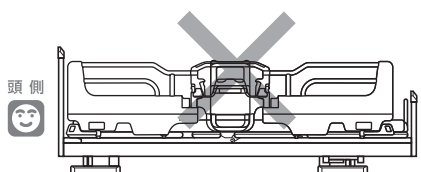
● KS-099AB

+
● KS-191Q



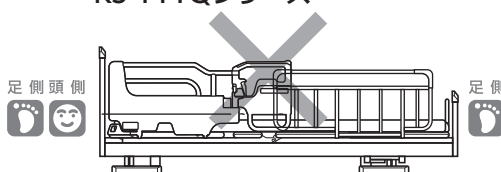
● KS-099A/B

+
● KS-099A/B



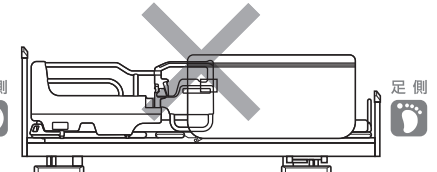
● KS-099A/B

+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



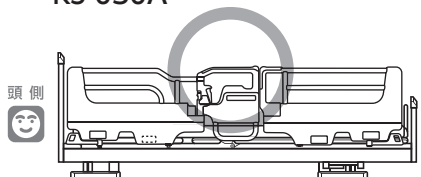
● KS-099A/B

+
● KS-019A

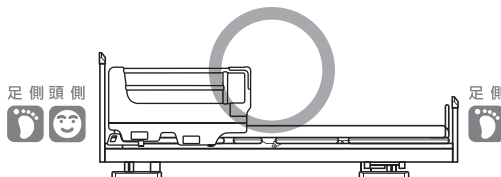


● KS-099A/B

+
● KS-030A

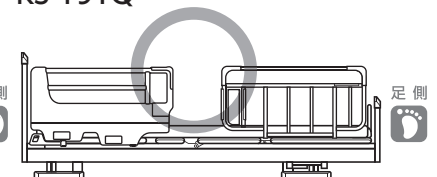


● KS-030A



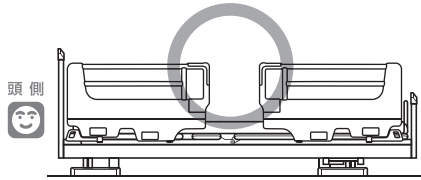
● KS-030A

+
● KS-191Q

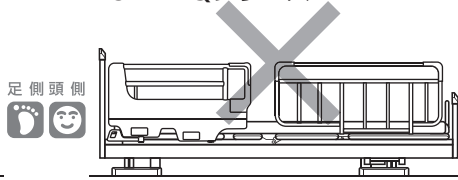


↓ 次ページに続く

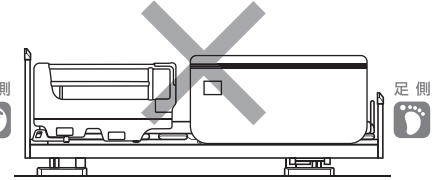
- KS-030A
+
● KS-030A



- KS-030A
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



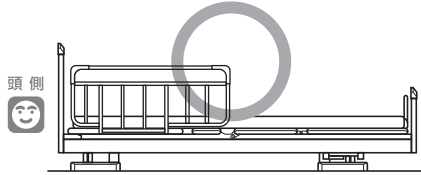
- KS-030A
+
● KS-019A



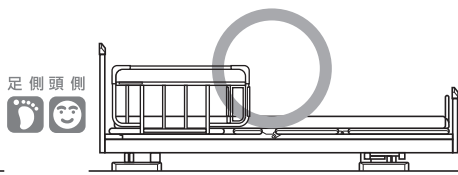
2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

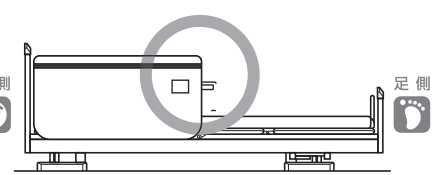
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



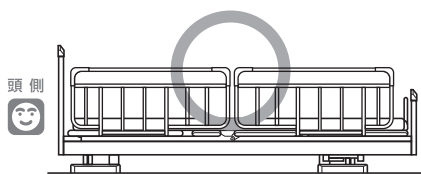
- KS-191Q



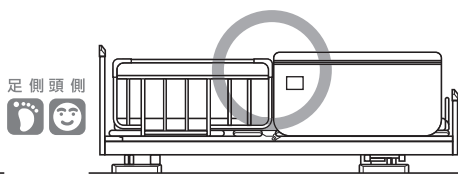
- KS-019A



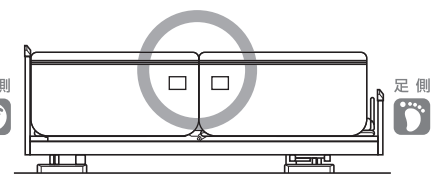
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



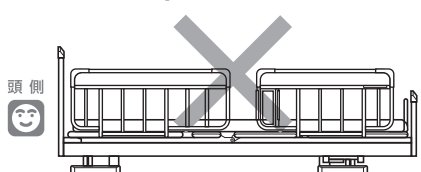
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ
+
● KS-019A



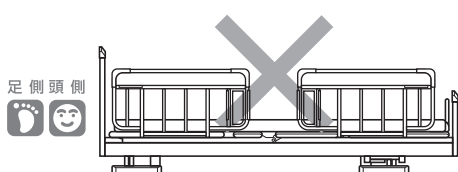
- KS-019A
+
● KS-019A



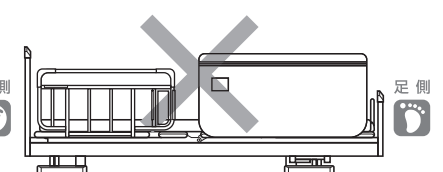
- KS-191Q
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



- KS-191Q
+
● KS-191Q



- KS-191Q
+
● KS-019A



12 マットレス（別売）

警告

- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのスき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障の原因となったりします。

適合マットレス

専用マットレス

品名	シングル	セミダブル	厚さ (cm)
	97×195	120×195	
MA-Sモデル	MA-S120SA	MA-S120DA	12
	MA-S150SA	MA-S150DA	15
	MA-S160SA	MA-S160DA	16

一般用マットレス

品名	シングル	セミダブル	厚さ (cm)
	97×195	120×195	
グレイクス	RB-ZA097G	RB-ZA012G	15
MS/MW-C7モデル	MS-C700N	MW-C700N	16



- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は直接弊社までお問い合わせください。(☎ 121ページ)

13 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用上のご注意

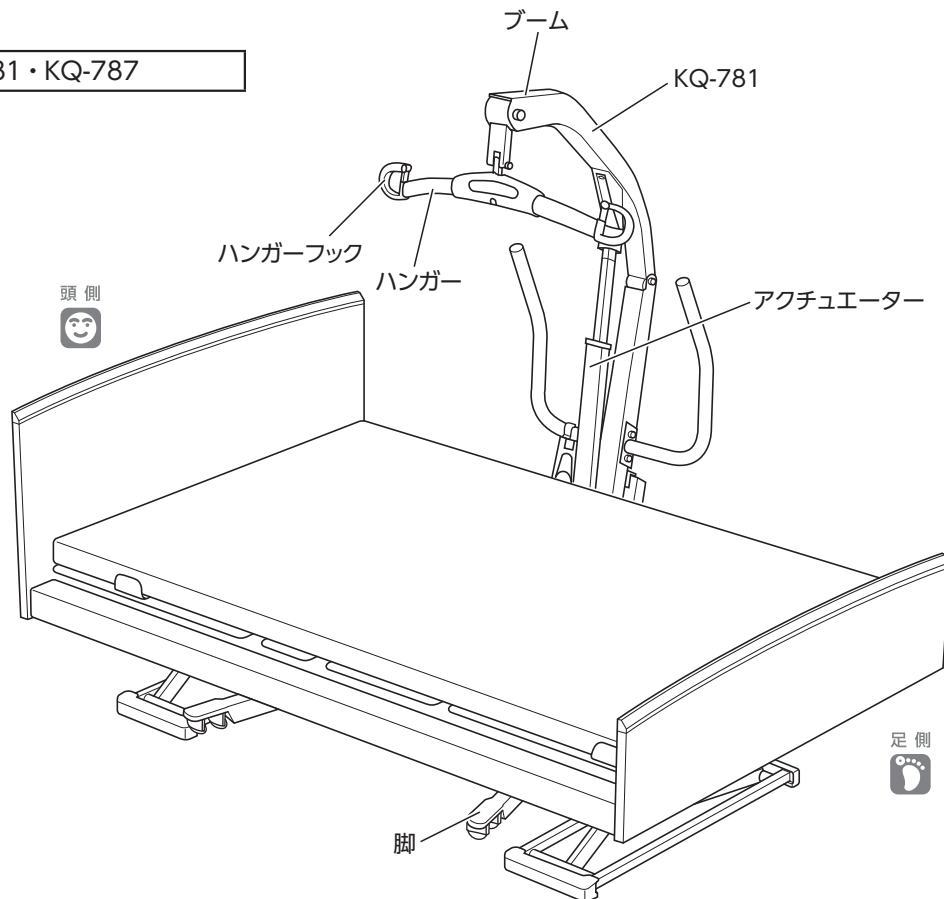
電動介護リフトは、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

警告

- 電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。
 - ・ ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
 - ・ ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
 - ・ ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
 - ・ ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、電動介護リフトのキャスターのロックを掛けないでください。ベッド操作のときに、ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフトが転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

電動介護リフト適合表


電動介護リフト	KQ-781・KQ-787
---------	---------------

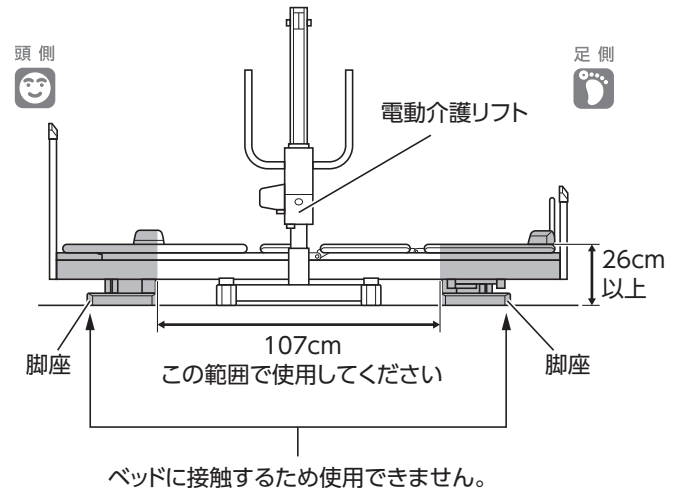


↓ 次ページに続く

13 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用上のご注意

注意

- 右図は、電動介護リフトの使用範囲を示しています（部分は使用不可）。電動介護リフトは床高を26cm以上にして、この範囲で使用してください。床高が26cm未満または右図の範囲外で使用すると、電動介護リフトが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できません。



仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社（☎ 121ページ）までお問い合わせください。

1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、「**4** 組立後の点検」(P.94~103ページ)をご覧ください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター (P.121ページ) までお問い合わせください。

2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

警告

- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。感電するおそれがあります。

注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

ベッド本体のお手入れ

■ 汚れの落としかた

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■ 消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	~81.4%
塩化ベンザルコニウム (オスパンなど)	~0.2%
塩化ベンゼトニウム (ハイアミンなど)	~0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテンなど)	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトンなど)	0.02~0.05%



オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

注意

- 揮発性のもの (シンナー、ベンジン、ガソリンなど) やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。



- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

オプションのお手入れについて

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

マットレスのお手入れについて

マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

滑り止めシートのお手入れについて

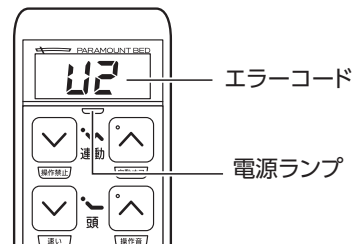
滑り止めシートの表面が汚れた場合、表面を傷つけないよう柔らかいスポンジと中性洗剤で洗い、水でよくすすいであらってから陰干ししてください。

15 故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、パラテクノコールセンター（☎ 121ページ）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（☎ 36～38ページ）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。



警告
地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（☎ 121ページ）まで点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。



状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	—
		—	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	—
	緑で点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効 (操作可能) にしてください。	33
		—	操作ボタンを押したときに操作禁止表示 (20ページ参照) が点滅していませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効 (操作可能) にしてください。または操作設定を初期状態に戻してください。	33・35
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	21
	常時、赤で速い点滅 (0.2秒ごと)	H1～H9	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U0 (※)	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。	—
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてから操作を行ってください。	—
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチのコネクターを抜いて、差直してください。	73
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	—
U3	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—		

※ベッド操作中に過電流などで、ベッド電源がリセットした場合も発生します。

状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処 置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U4	連続運転しましたか? (アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります)	20~57分間放置してください。(放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます)	-
		U5	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差直してください。	-
		U9	動作が停止した状態で、長い間 (30秒以上) ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	-
	-		一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-	
消灯	-	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか?	手元スイッチのコネクターをコントロールボックスに差込んでください。	73	
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	-	頭 (足) の <input type="checkbox"/> ボタンを押したときに膝 (背) がさがりましたか?	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	-
		-	アクチュエーターが正しく配線されていますか?	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	-
膝角度が30°まであがらない	緑で点灯	-	ベッドが傾斜していませんか?	ベッドの足先がさがっているときは、膝角度はベッドの傾きにより、上限数値が変化するため故障ではありません。	-
膝角度が0°までさがらない				ベッドの足先がさがっているときは、すべり落ちを防止するため、膝さげ動作は2°までしかさがりません。故障ではありません。	-
ラクリアボタンを押したときに、「ピピッ」と鳴り設定が切換わらない	緑で点灯	-	ベッドが傾斜していませんか?	ラクリアボタンはベッドが水平状態で設定できます。頭 <input type="checkbox"/> または連動 <input type="checkbox"/> ボタンを押して、ベッドを水平状態にしてから設定を行ってください。	-
			-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差直してください。	-
高さを調節する際に、動作速度「速い」に設定しても動作速度が変わらない	-	-	-	ベッドの動作速度「速い」に設定されていても利用者体重が100kgを超えた場合は、動作速度「普通」で動作します。	31
各ポジションが正常にとれない	-	-	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてください。	-
ベッドの移動ができない (キャスター取付時のみ)	-	-	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。	-
キューブ (宮付) ヘッドボードのコンセントで携帯電話の充電などができない	-	-	電源プラグは部屋のコンセントに差込まれていますか?	電源プラグをコンセントに差込んでください。	-

※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル (P 61~65ページ) に表示された番号もあわせてご連絡ください。

16 長期保管と移動（移設）

1. 長期保管



警告

お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合を未然に防止するため、ベッドの電源プラグは、コンセントから抜いてください。

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度-10～50℃、湿度30～90% RHの環境で保管してください。
 - 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。
 - 滑り止めシートを膝・足ボトムから取外し、紛失しないよう大切に保管してください。
 - 背ボトム、膝・足ボトムを水平にしてください。
 - ベッドの高さを最低位置までさげてください。
 - ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
 - ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
 - 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。
- ※使用を再開される場合は、（P 94～103ページ）の手順に従って点検を行ってください。

2. 移動（移設）



警告

ボトムやボード、サイドフレーム、サイドパネルを持って移動すると、ベッドが落下し、けがをするおそれがあります。ベッドは分解してから移動してください。

- ベッドの分解、組立ては直接弊社（P 121ページ）までお問い合わせください。

1. ベッド本体

品番※1		RA-E136R*	RA-E1C6R*	RA-E138R*	RA-E1C8R*	RA-E136C*	RA-E1C6C*	RA-E138C*	RA-E1C8C*
ベッドサイズ		シングル		セミダブル		シングル		セミダブル	
ボード形状		ラウンド				キューブ (宮付)			
ボード/サイドパネル 色(デザイン)		A,B							
寸法 (cm)	a 全幅	108.7		131.7		108.7		131.7	
	b 全長	205.7				214.0			
	c 脚座間の長さ	133.5							
	d ボトム高さ	21.5~65.0							
	e ヘッドボード高さ	46.3							
	f フットボード高さ	19.8							
製品質量※2		114.5kg		127.5kg		118.0kg		132.0kg	
モーター数		4モーター							
電源コード長さ		有効長さ2.5m							
ボード電源コード長さ		-				有効長さ1.3m			
手元スイッチ		10ボタン							
Active Sleep ANALYZER		なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
主な 材質	ボード	パーティクルボード, オレフィン系シート							
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)							
	頭側/足側フレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)							
	頭側/足側ベースフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)							
	マットレス止め	スチール製…メッキ仕上げ/ポリプロピレン							
	サイドパネル	ABS, オレフィン系シート							
	滑り止めシート	PVC (表面)、ポリエステル (糸芯)							
最大利用者体重		138kg							
安全動作荷重※3		1700N (174kgf)							
最大マットレス厚※4		14 (15.5) cm							
動作保証条件		10~40°C / 30~75%RH							
動作 範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75° [+7.5°, -5°] / 34秒 (普通) ・ 25秒 (速い)							
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~30±3° / 12秒 (普通) ・ 9秒 (速い)							
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm / 36秒 (普通) ・ 25秒 (速い)							
耐用期間 (予想耐用期間)		8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く							

色欄 (デザイン)	A	B
	クラッシーダーク	ファミリアライト

※1) 品番の※には下記の内容が入ります

*: A,B

例. RA-E136RA ⇒ サイドパネル/ボード色 (デザイン): クラッシーダーク

※2) Active Sleep ANALYZER付の場合は、製品質量が1kg増加します。

※3) 安全動作荷重: ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※4) ベッドサイドレール (KS-161Q・191Qシリーズ) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚

() 寸法は、ベッドサイドレール (KS-171Qシリーズ・KS-019A)、ベッド用グリップ使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚
注) 安全寸法を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

●KS-161Q・191Qシリーズ: 15cm ●ベッド用グリップ・KS-111Qシリーズ: 15.5cm

●KS-171Qシリーズ・KS-019A: 21cm

※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-161Q・191Q・111Q・171Qシリーズの詳細につきましては、42ページの「適合表」を参照してください。

※5) 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが28cmに達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。

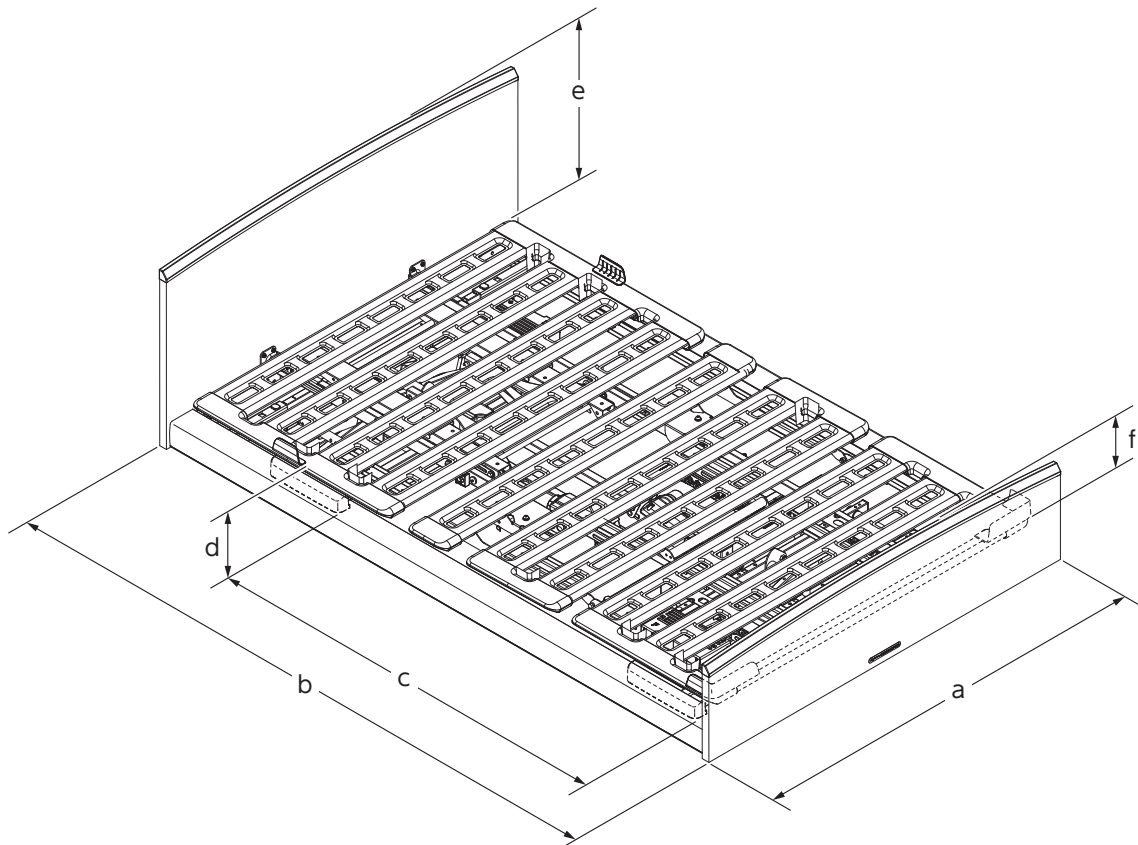
再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

ベッドの動作速度「速い」に設定されていても利用者体重が100kgを超えた場合は、動作速度「普通」で動作します。

またベッドの動作速度が「速い」に設定されている場合かつ、利用者体重が100kgを超えた場合、高さあげ操作時のベッド動作速度が「普通」になることがあるため、所要時間が異なることがあります。

各部の寸法

a～fの寸法は、56ページの表に記載しています。



項目		箇所
a	全幅	最大外形寸法
b	全長	最大外形寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトム高さ	ゆか～ボトム上面 (最低高さ～最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボード上端

2. 電装品

形式	リニアアクチュエーター (DCモーター)
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：50W以下 膝あげ：45W以下 高さ調節：130W以下
待機電力	1.5W以下
最大連続使用時間	3分 (休止時間…57分※)
動作音	65dB以下

※) ベッドを最大連続使用時間 (3分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。


組立・分解方法

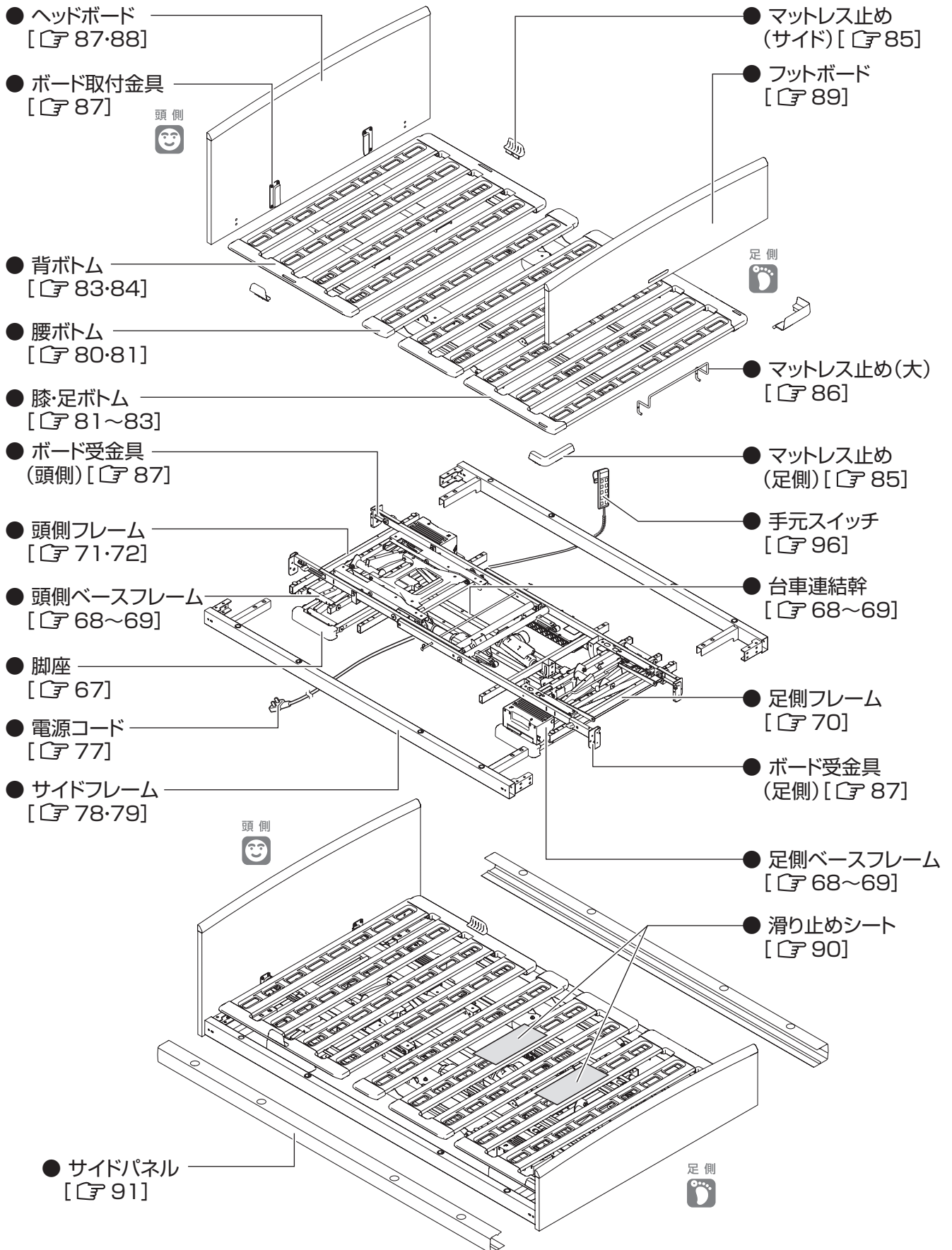
もくじ

1	各部の名称	60
2	梱包部品の確認	61~65
3	ベッドの組立方法	
	1. 脚座の取付け	67
	2. 頭側・足側ベースフレーム、 台車連結管の設置	68
	3. 頭側・足側ベースフレームと 台車連結管の取付け	69
	4. 足側フレームの取付け	70
	5. 頭側フレームの取付け	71・72
	6. ケーブル・コード類の配線	73~77
	6-1. 手元スイッチコードの配線	73
	6-2. 背アクチュエーターの配線	74
	6-3. ハイローアクチュエーター（頭側）の配線 ...	75
	6-4. ハイローアクチュエーター（足側）の配線 ...	76
	6-5. 電源コードの配線	77
	7. サイドフレームの取付け	78・79
	8. ボトムの取付け	80~83
	8-1. 腰ボトムの取付け	80・81
	8-2. 膝・足ボトムの取付け	81~83
	8-3. 背ボトムの取付け	83・84
	9. マットレス止めの取付け	85・86
	10. ボードの取付け	87~89
	10-1. ヘッドボードの取付け	87・88
	10-2. フットボードの取付け	89
	11. 滑り止めシートの設置	90
	12. サイドパネルの取付け	91
	13. Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***) の取付け	92
4	組立後の点検	94~103
5	ベッドの分解方法	
	1. 分解作業前の準備	104
	2. 滑り止めシートの取外し	104
	3. サイドパネルの取外し	105
	4. ボードの取外し	106・107
	4-1. ヘッドボードの取外し	106
	4-2. フットボードの取外し	107
	5. マットレス止めの取外し	108
	5-1. マットレス止め（サイド）の取外し.....	108
	5-2. マットレス止め（足側）の取外し	108
	5-3. マットレス止め（大）の取外し	108
	6. ボトムの取外し	109~111
	6-1. 膝・足ボトムの取外し	109
	6-2. 背ボトムの取外し	110
	6-3. 腰ボトムの取外し	111
	7. サイドフレームの取外し	112
	8. ケーブル・コード類の配線の 取外し.....	113~116
	8-1. 手元スイッチコードの配線の取外し.....	113
	8-2. 電源コードの配線の取外し	113
	8-3. ハイローアクチュエーター（足側）の 配線の取外し	114
	8-4. ハイローアクチュエーター（頭側）の 配線の取外し	115
	8-5. 背アクチュエーターの配線の取外し	116
	9. 頭側フレームの取外し	117
	10. 足側フレームの取外し	118
	11. 台車連結管の取外し	119
	12. 脚座の取外し	120
	13. 付属部品と分解したユニットの保管	120
	アフターサービス	121

1 各部の名称

※イラストはセミダブル

 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



2 梱包部品の確認

2

梱包部品の確認

梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、直接弊社までご連絡ください。

注意

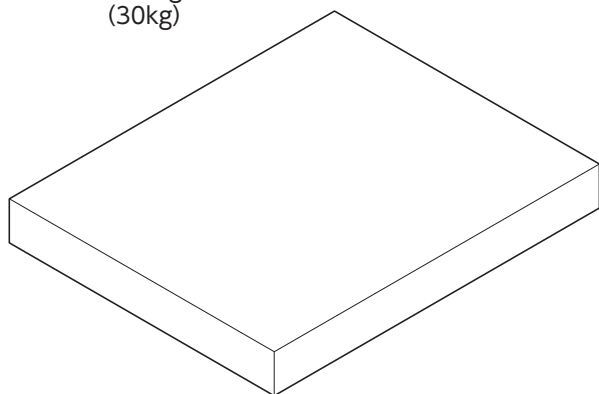
- 移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

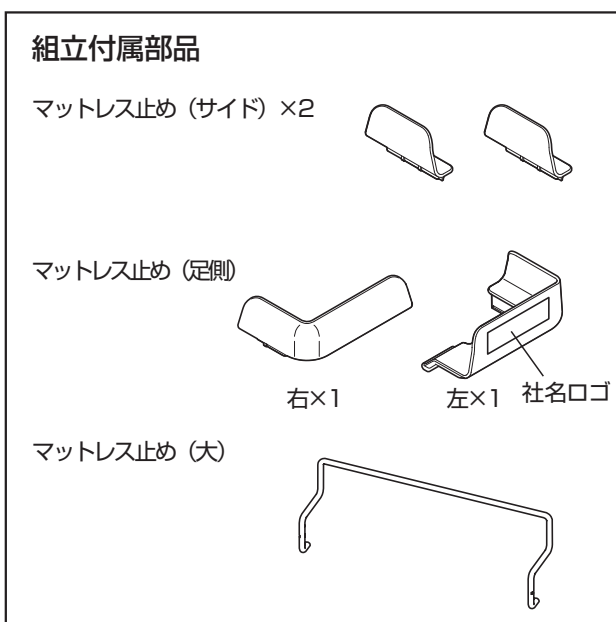
①ボトムセット

RAE15U RAE17U
22.5kg 26.5kg
(28kg) (30kg)

※イラストはセミダブル

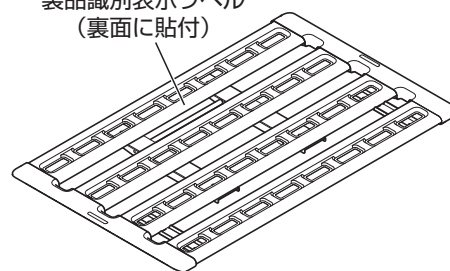


RAE15U RAE17U
106.3 × 99.1 × 14.6 (cm) 106.3 × 122.1 × 14.6 (cm)

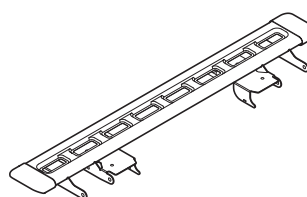


背ボトム

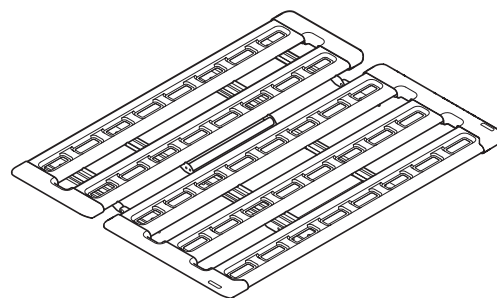
製品識別表示ラベル
(裏面に貼付)



腰ボトム



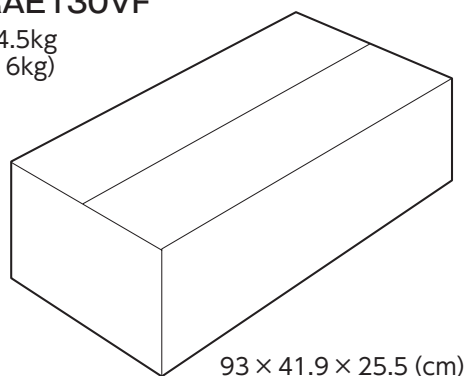
膝・足ボトム



②足側ベースフレーム

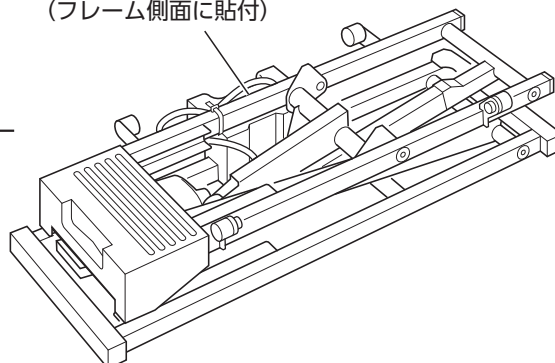
RAE130VF

14.5kg
(16kg)



93 × 41.9 × 25.5 (cm)

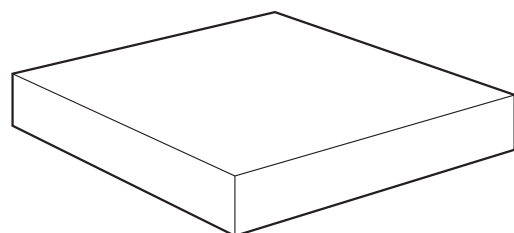
製品識別表示ラベル
(フレーム側面に貼付)



③足側フレーム

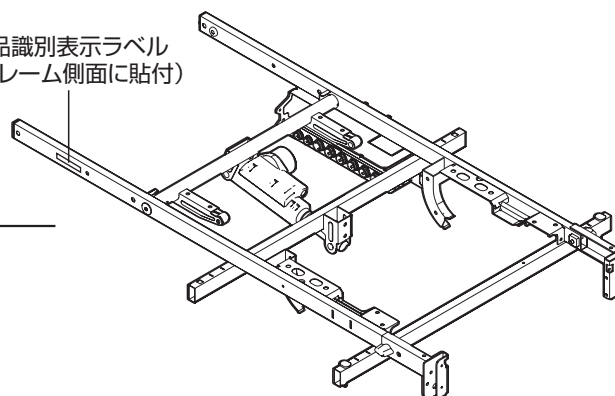
RAE1350F

12kg
(17kg)



125.5 × 98 × 17 (cm)

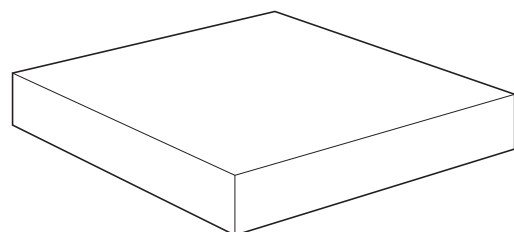
製品識別表示ラベル
(フレーム側面に貼付)



④頭側フレーム

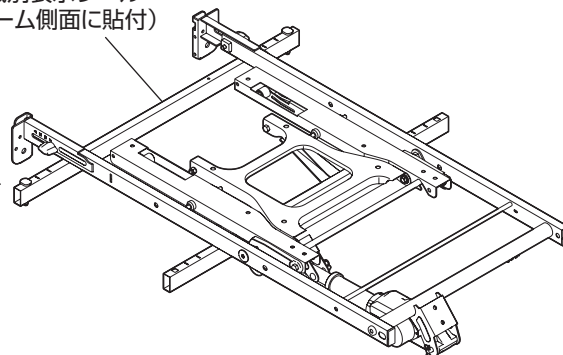
RAE1350H

15kg
(19kg)



114 × 98 × 17 (cm)

製品識別表示ラベル
(フレーム側面に貼付)



2 梱包部品の確認

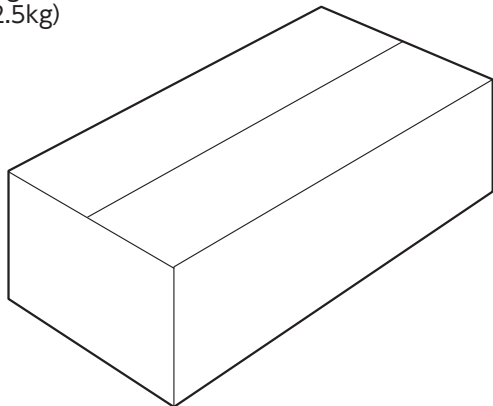
2

梱包部品の確認

⑤ 頭側ベースフレーム

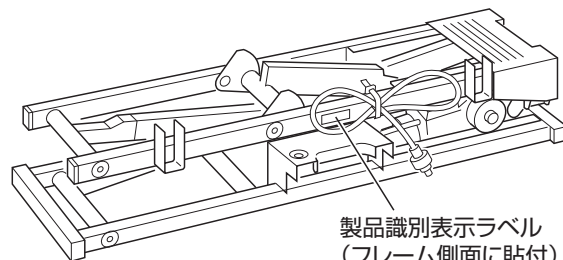
RAE130VH

16kg
(22.5kg)



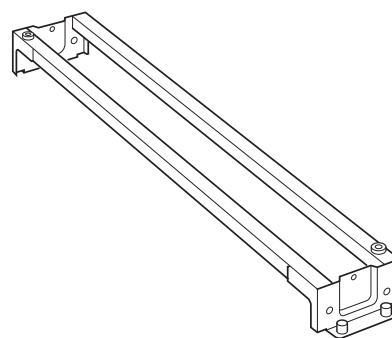
122 × 41.9 × 28.6 (cm)

頭側ベースフレーム

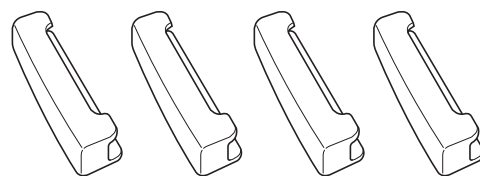


製品識別表示ラベル
(フレーム側面に貼付)

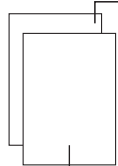
台車連結管



脚座×4



付属品



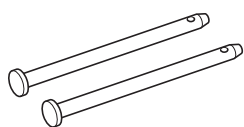
取扱説明書×1

すき間および電
装品についての
注意事項×1

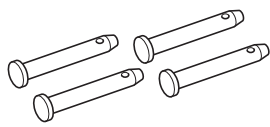


コードクリップ×1

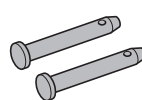
組立付属部品



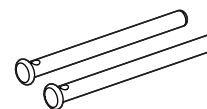
連結ピン (細) ×2



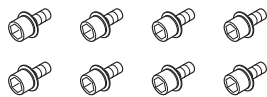
連結ピン (黄) ×4



連結ピン (黒) ×2



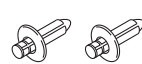
連結ピン (白) ×2



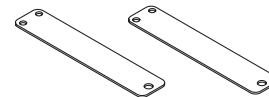
六角穴付ボルト×8



ノブボルト×2



プッシュリベット×2



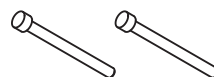
ステッカー×2



角根ボルト×4



段付ボルト×2



締結ボルト (長) ×2



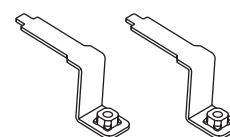
六角穴付ボタンボルト×6



ナット (対辺17mm) ×4



ナット (対辺13mm) ×4



補強金具×2



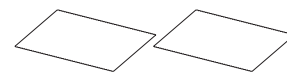
スナップピン×10



蝶ナット×2



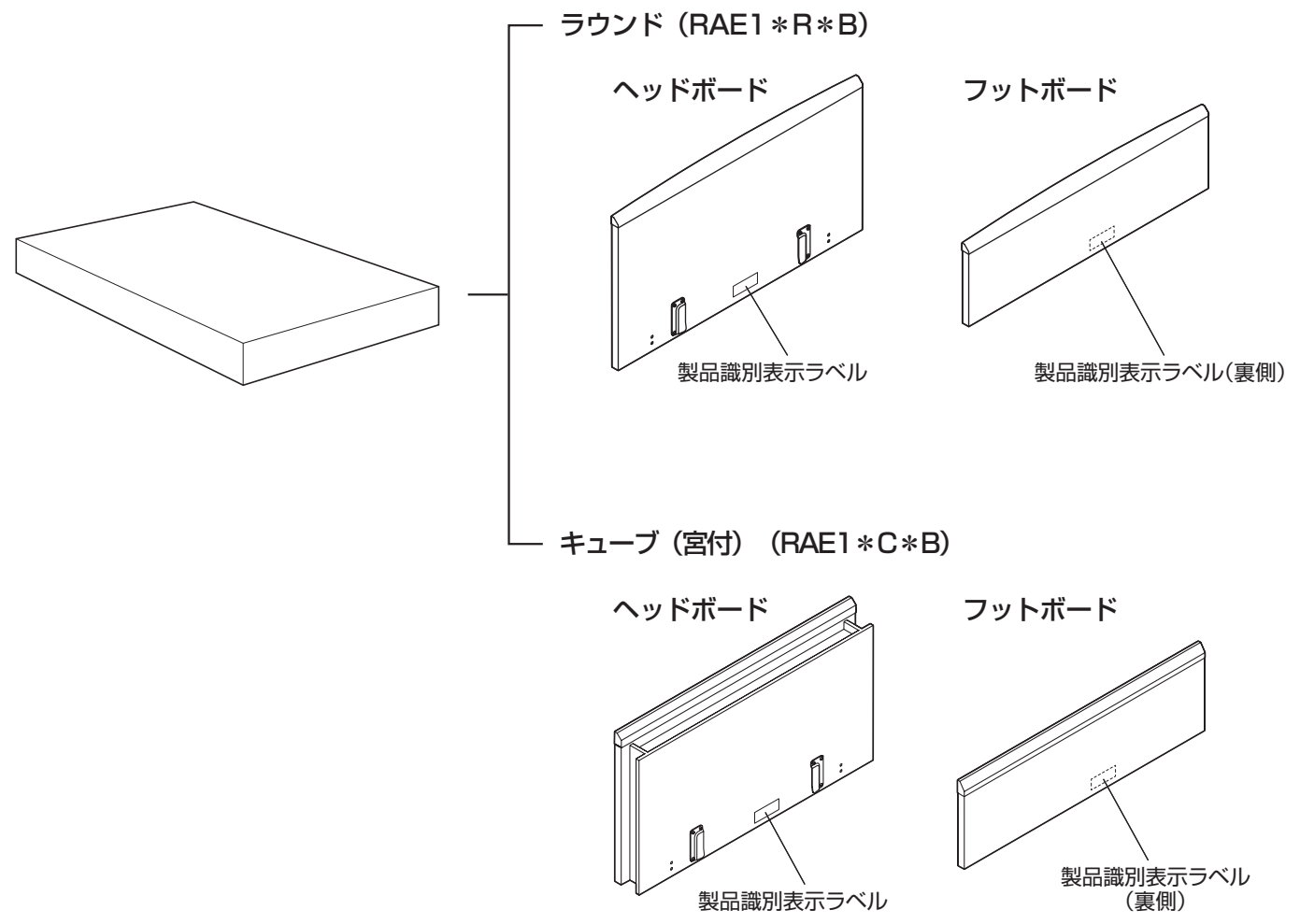
角根ナット×2



滑り止めシート×2

⑥ボードセット

RAE1***B



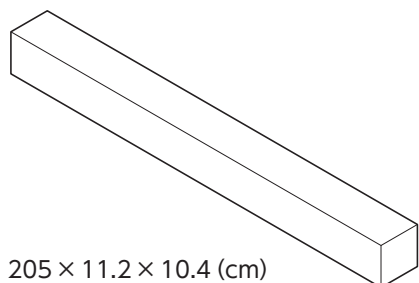
ボード	品番	サイズ	質量
ラウンド	RAE16R*B	118×72.5×10.4 (cm)	18kg (22.5kg)
	RAE18R*B	141×72.5×10.4 (cm)	26kg (31.5kg)
キューブ (宮付)	RAE16C*B	118×72.5×18.6 (cm)	21.5kg (26kg)
	RAE18C*B	141×72.5×18.6 (cm)	30.5kg (36kg)

2 梱包部品の確認

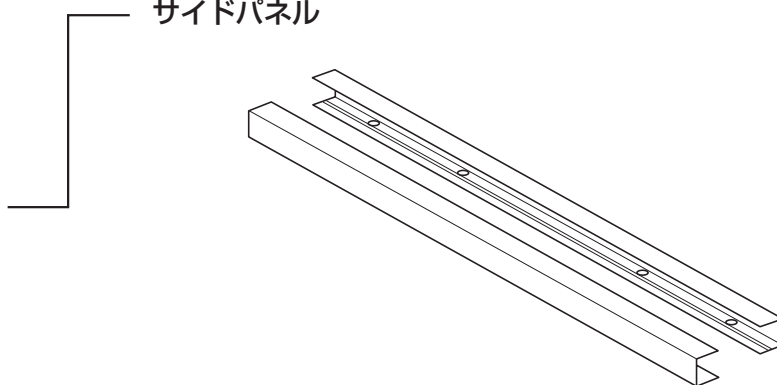
⑦ サイドパネルセット

RAE15*P

2.5kg
(3kg)



サイドパネル



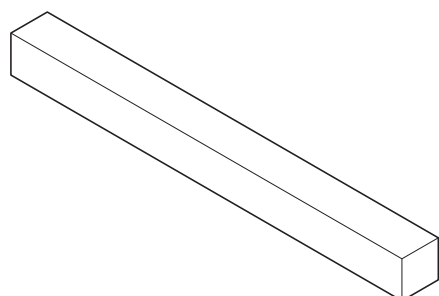
⑧ サイドフレームセット

RAE15S

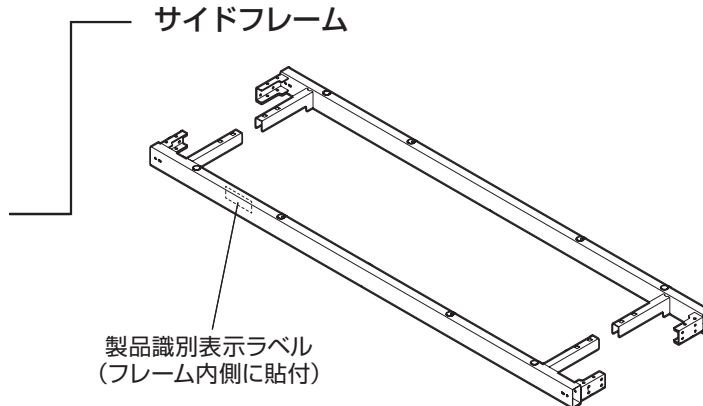
14kg
(17.5kg)

RAE17S

15kg
(18.5kg)



サイドフレーム



RAE15S

207.9 × 26.1 × 23.9 (cm)

RAE17S

207.9 × 26.1 × 35.4 (cm)

3 ベッドの組立方法

■ベッドの組立は、専門の配送業者が行います。

けい こく 警告

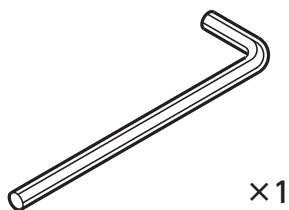
組立作業は2人以上で行ってください。ベッドを持ち上げる作業でバランスが崩れけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

ちゅう い 注意

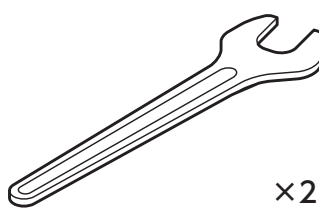
組立作業は、ベッドの近くに壁やものがない場所で行ってください。ベッドが壁やものなどに当たり、破損するおそれがあります。

■本製品の組立・分解作業には、以下の使用工具が必要です。使用工具は本製品に付属されておきませんので、お客様でご用意ください。

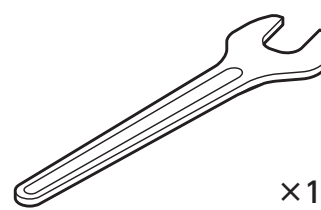
● 六角レンチ (対辺5mm)



● スパナ (対辺13mm)

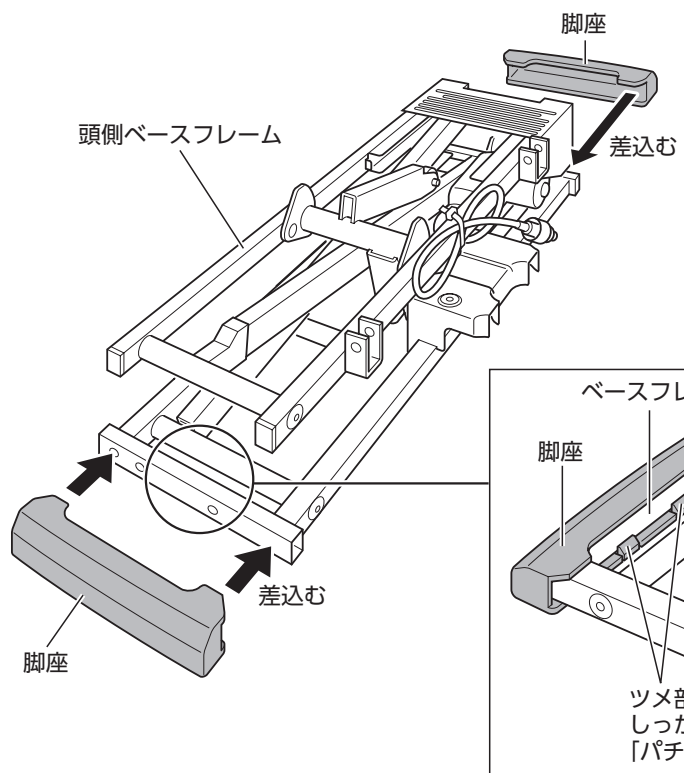


● スパナ (対辺17mm)



3 ベッドの組立方法

1. 脚座の取付け



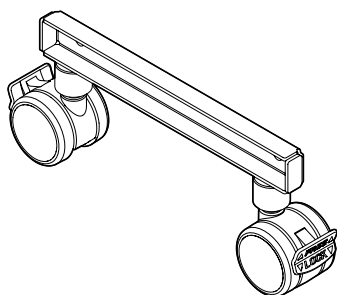
キャスターを使用する場合は、脚座の取付けは不要です。

頭側・足側ベースフレームに脚座を、図のように差込んでください。(頭側・足側各2ヶ所:計4ヶ所)



脚座をベースフレームに、しっかり差込んでください。脚座のツメ部がベースフレームにしっかりはまると「パチン」と音がします。

キャスター RQ-P30C (別売)の取付け



キャスターを取付ける場合は、脚座を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。
- ボトム上面までの高さは、脚座を取付けた場合より10cm高くなります。

警告

すべりやすいゆか材(フローリングなど)の上で使用する場合は、脚座の下に敷物や脚座ゴムシート KQ-P70K (別売) など、キャスター RQ-P30C (別売) の下に敷物や脚座ゴムシート KQ-P732 (別売)などを敷いてください。使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをすることがあります。

注意

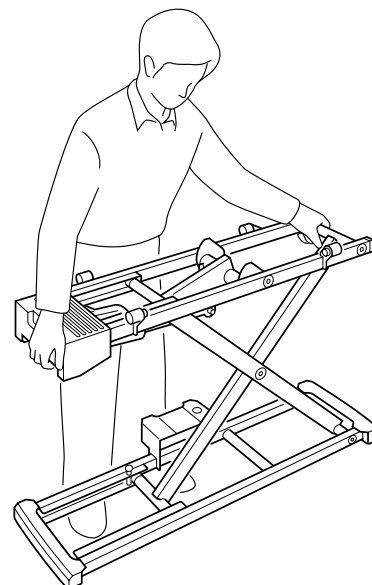
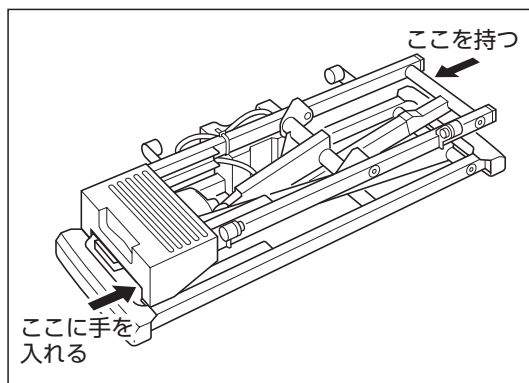
畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座の下に敷物や脚座ゴムシート KQ-P70K (別売) など、キャスター RQ-P30C (別売) の下に敷物や脚座ゴムシート KQ-P732 (別売)などを敷いてください。畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

2. 頭側・足側ベースフレーム、台車連結管の設置

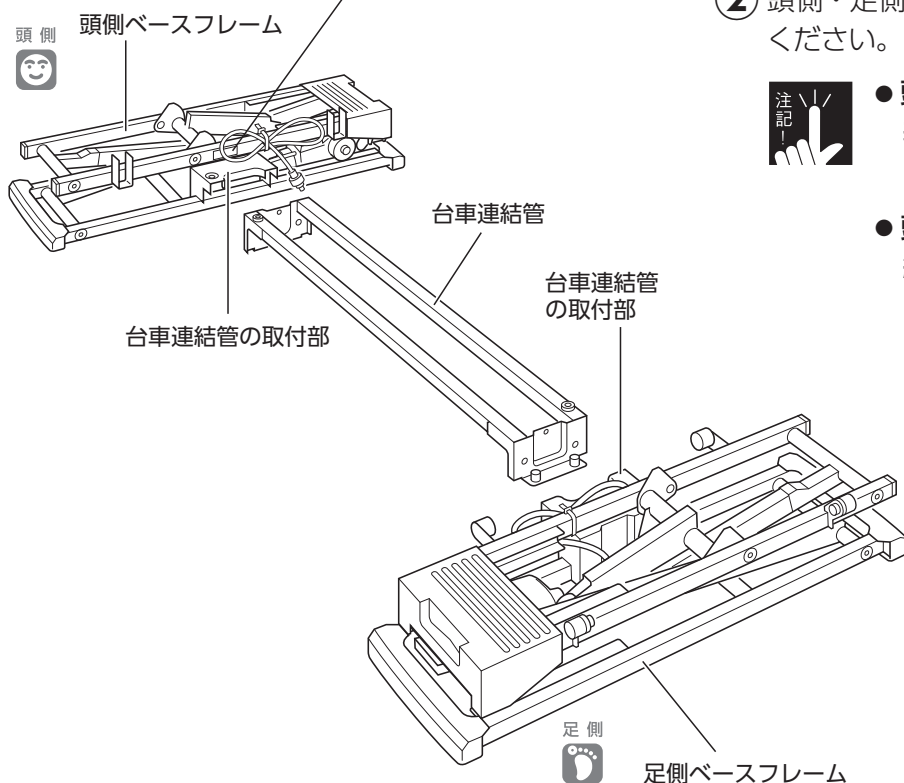
注意

頭側・足側ベースフレームを持つと、頭側・足側ベースフレームが右図のように伸びますので、可動部に注意してください。手や腕などははさまれて、けがをするおそれがあります。

※頭側・足側ベースフレームを持つときは、右図の指定位置を持ってください。



製品識別表示ラベル
※足側ベースフレームにも貼付されています。



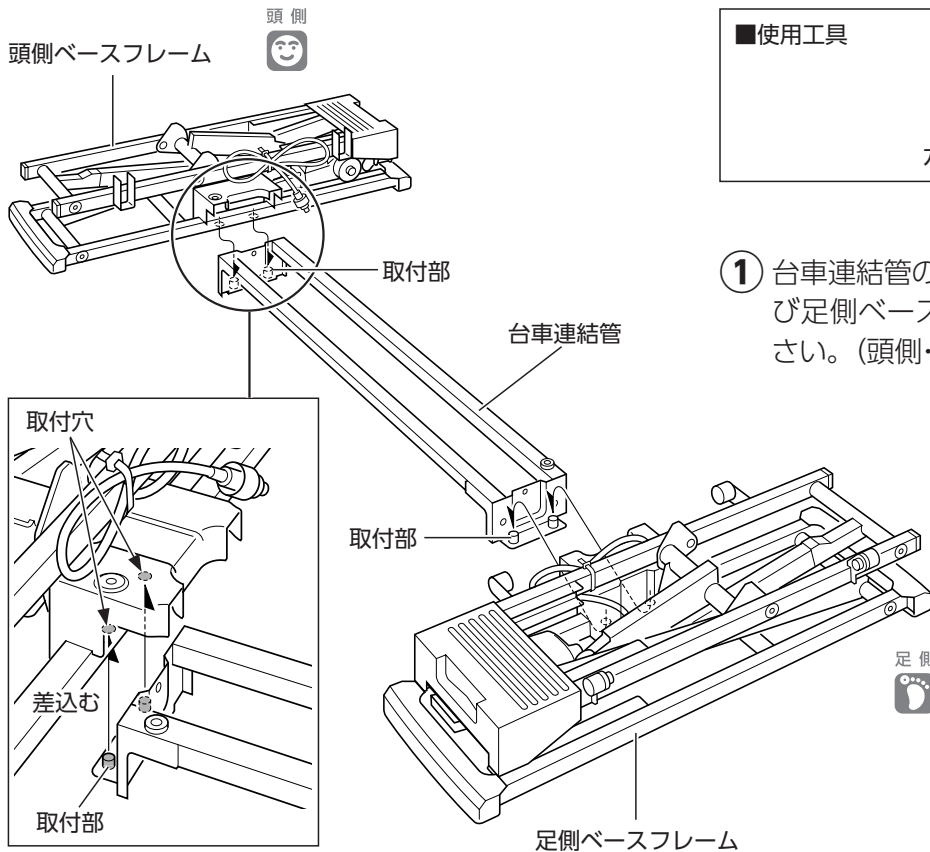
- ① 台車連結管を図の位置に置いてください。
- ② 頭側・足側ベースフレームを、図の位置に置いてください。



- 頭側・足側ベースフレームの製品識別表示ラベルに、頭側・足側が記載されています。必ず確認してください。
- 頭側・足側ベースフレームは、台車連結管の取付部を内側に向けてください。

3 ベッドの組立方法

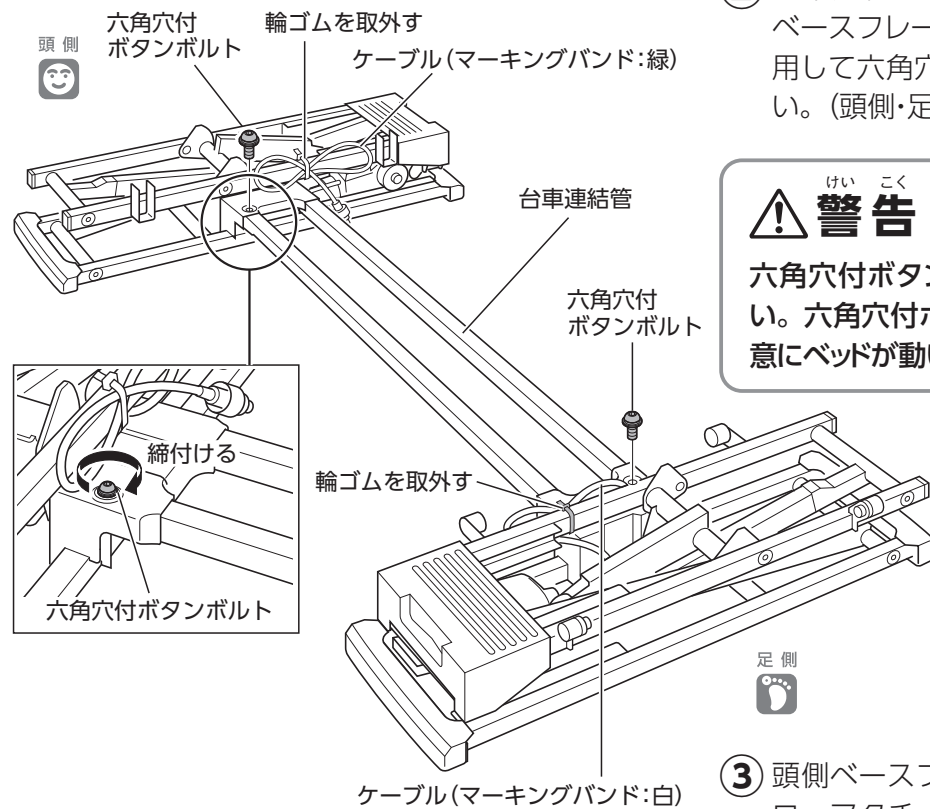
3. 頭側・足側ベースフレームと台車連結管の取付け



■使用工具

六角レンチ (対辺5mm)

- 1 台車連結管の取付部を、頭側ベースフレームおよび足側ベースフレームの取付穴に差込んでください。(頭側・足側各2ヶ所:計4ヶ所)



- 2 台車連結管と頭側ベースフレームおよび足側ベースフレームを、六角レンチ (対辺5mm) を使用して六角穴付ボタンボルトで固定してください。(頭側・足側各1ヶ所:計2ヶ所)

警告

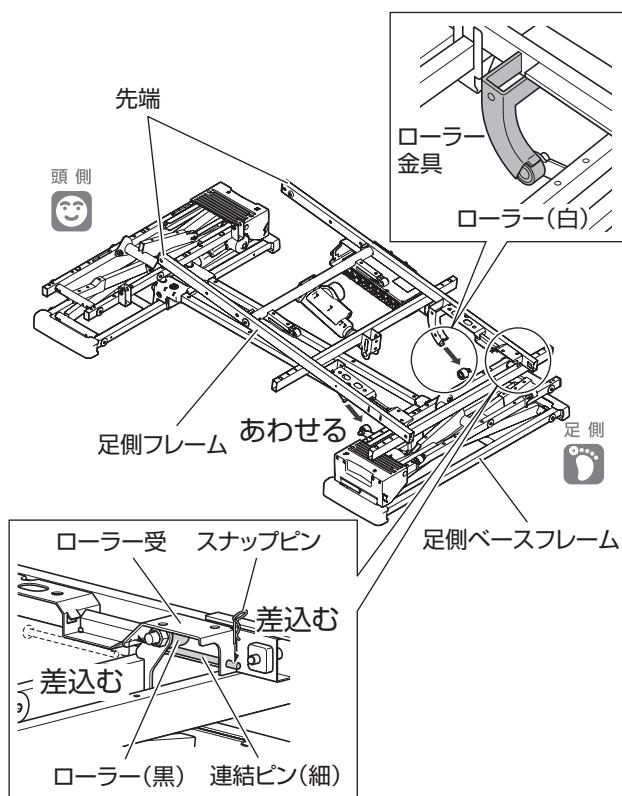
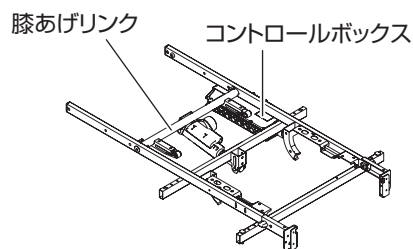
六角穴付ボタンボルトは確実に締付けてください。六角穴付ボタンボルトがゆるんでいると、不意にベッドが動いてけがをすることがあります。

- 3 頭側ベースフレームに輪ゴム止めしてあるハイローアクチュエーターのケーブル(マーキングバンド:緑)と、足側ベースフレームに輪ゴム止めしてあるハイローアクチュエーターのケーブル(マーキングバンド:白)を取外してください。

4. 足側フレームの取付け

注意

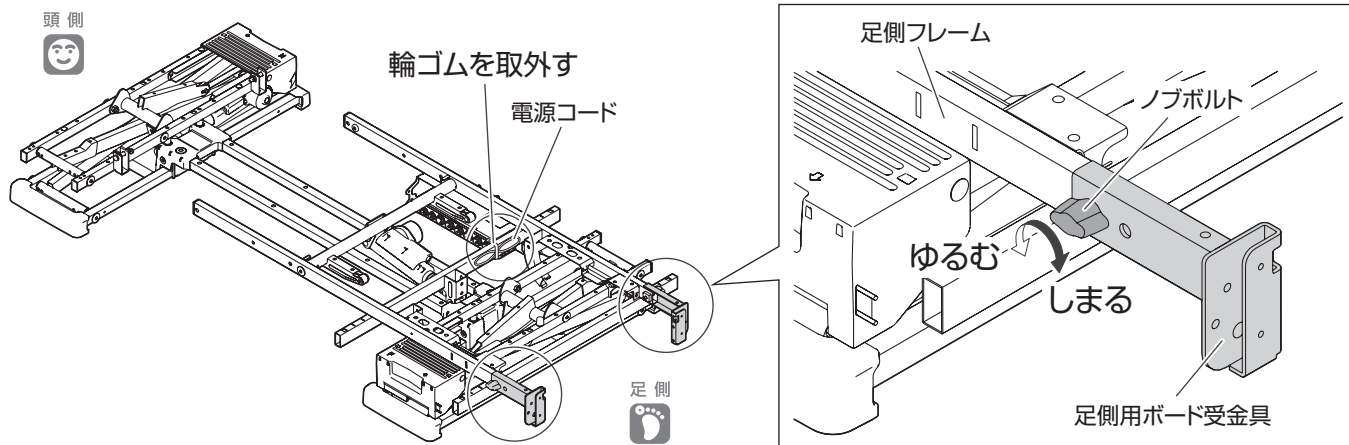
- 持ち運びや組立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。
- 足側フレームをゆかに置くときは、ゆかを傷つけないように注意してください。



- ① 足側ベースフレームの脚座の端部から15cm の位置に足側フレームを置いてください。
- ② 足側フレームの先端を持ってゆっくり倒し、足側ベースフレームのローラー(黒)に足側フレームのローラー受をあわせて載せてください。(左右各1ヶ所)
- ③ 足側ベースフレームのローラー(白)を足側フレームのローラー金具に入れてください。(左右各1ヶ所)
- ④ 足側フレームのローラー受に連結ピン(細)を差込み、スナップピンで固定してください。(左右各1ヶ所)
- ⑤ ボード受金具の左右を確認してから取付け、ノブボルトと角根ナットで足側フレームに仮止めしてください。(左右各1ヶ所)



この時点でノブボルトをしっかり締めてしまうと、フットボードが取付けられない場合があります。



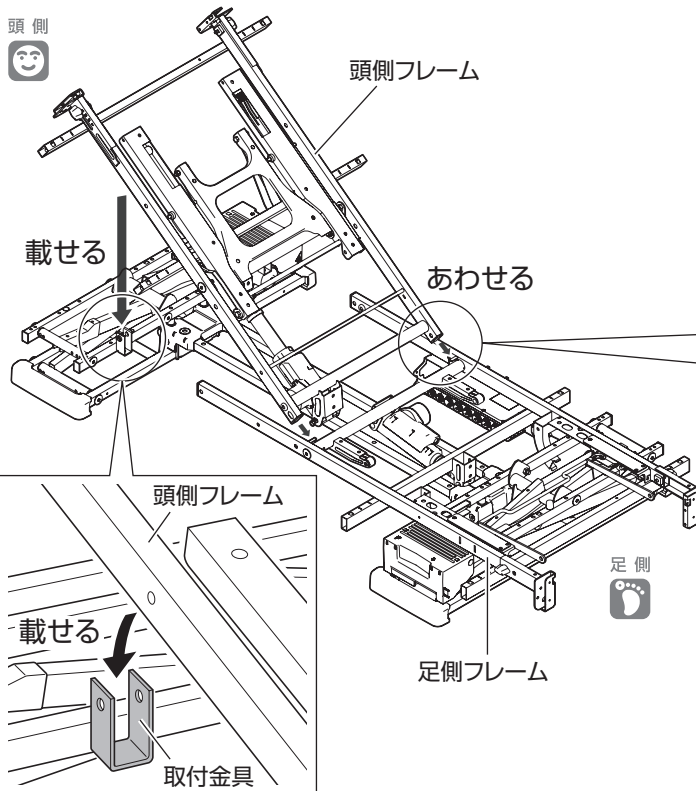
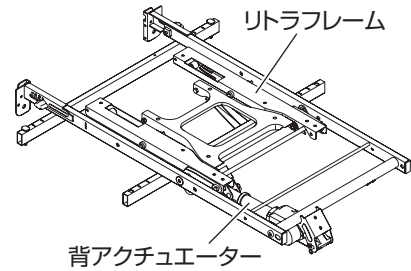
- ⑥ 電源コードと足側フレームを固定している輪ゴムを取外してください。

3 ベッドの組立方法

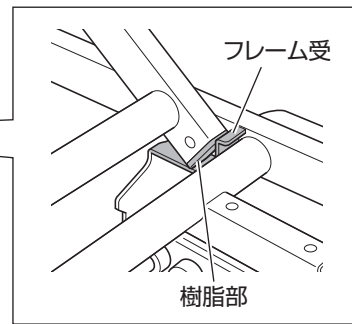
5. 頭側フレームの取付け

注意

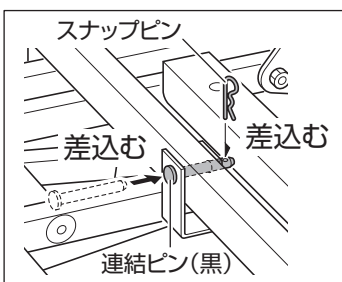
持ち運びや組立てをするときは、背アクチュエーターやリトラフレームなどを持たないでください。けがや破損の原因となります。



- 1 頭側フレーム先端の樹脂部を足側フレームのフレーム受につきあてて、頭側フレームを頭側ベースフレームの取付金具にあわせながら、頭側ベースフレームに載せてください。

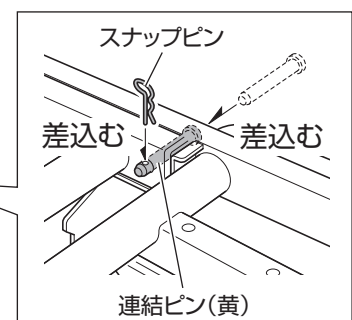
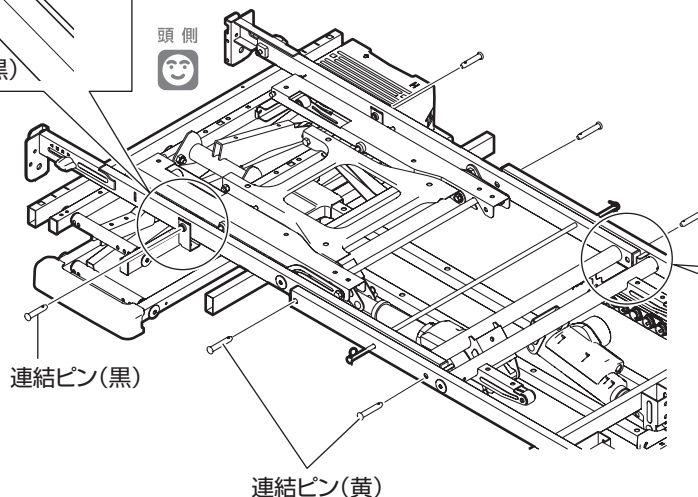


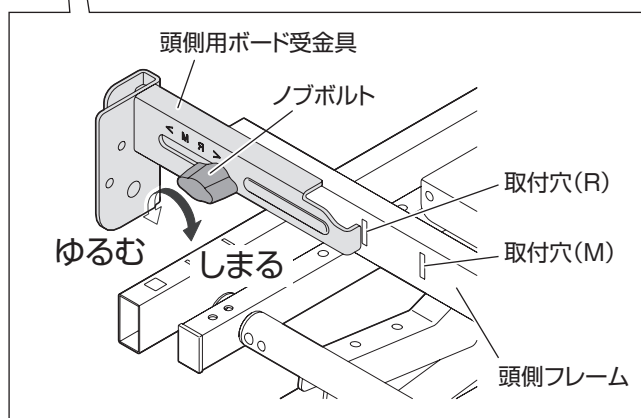
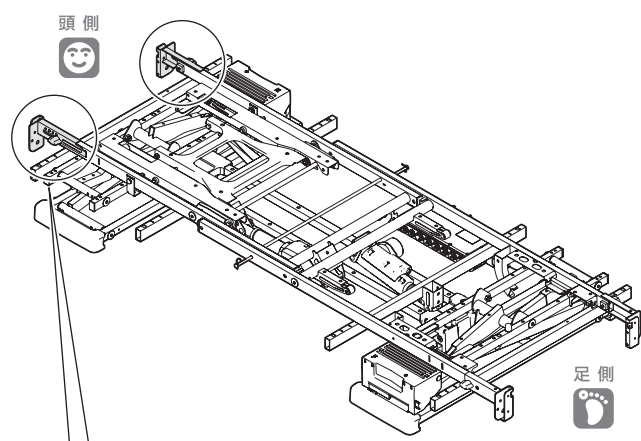
- 2 頭側フレームと頭側ベースフレームの取付金具に連結ピン(黒)を差し込み、スナップピンで固定してください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)



- 3 頭側フレームと足側フレームに連結ピン(黄)を差し込み、スナップピンで固定してください。(左右各2ヶ所:計4ヶ所)

注記 連結ピンを差し込むときは、頭側フレーム・足側フレームを軽く持ちあげながら差し込んでください。





- ④ ボード受金具をスライドさせ、頭側フレームの取付穴(R)にツメを入れてください。
- ⑤ ノブボルトをしっかりと締付けて、角根ナットを固定してください。(左右各1ヶ所)



ボード受金具は左右とも指定の位置に取付けてください。ボード受金具を誤った位置に取付けると、ボードを取付けることができませんのでご注意ください。

けい こく 警告

- ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトと角根ナットがゆるんでいると、ボードががたついたり落下したりして、けがをすることがあります。
- 角根ナットが取付穴に収まっていることを確認してください。ボードががたついたり落下したりして、けがをすることがあります。

3 ベッドの組立方法

6. ケーブル・コード類の配線

注意

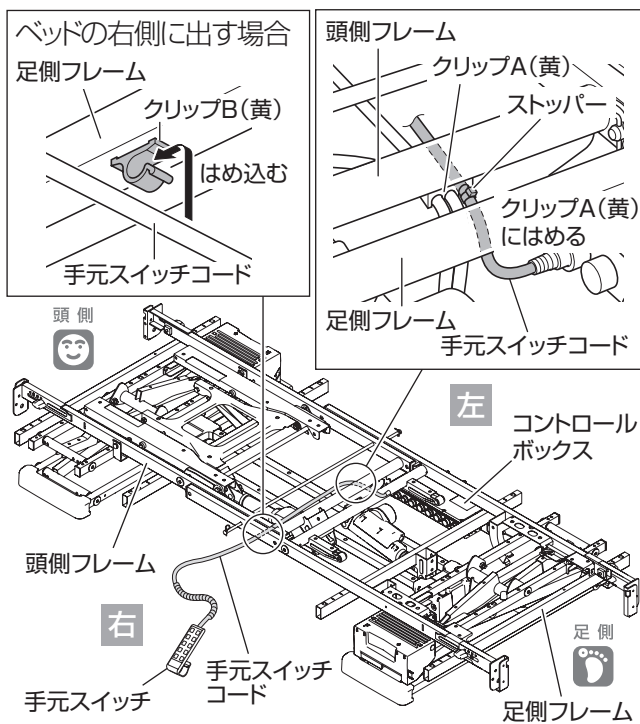
- ケーブルは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- コネクター部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

6-1. 手元スイッチコードの配線

■ 手元スイッチを使用する方向にあわせて配線してください。

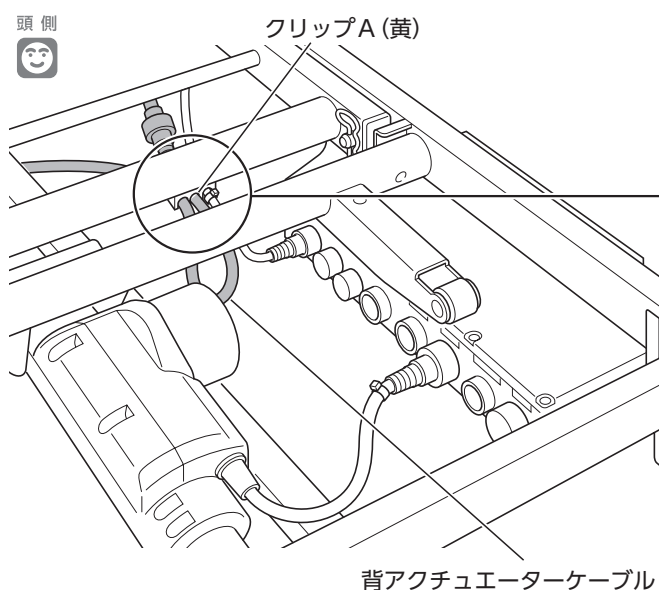
注意

- コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- 手元スイッチコードは、ストッパーがクリップA (黄) より足側にくるように取付けてください。手元スイッチコードが断線・破損するおそれがあります。

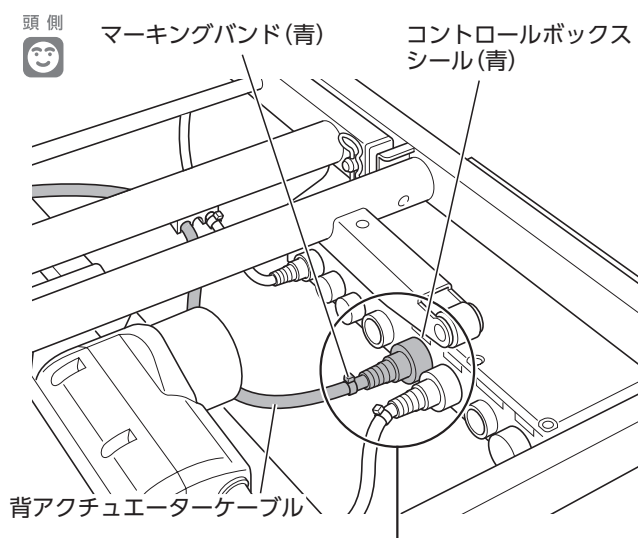
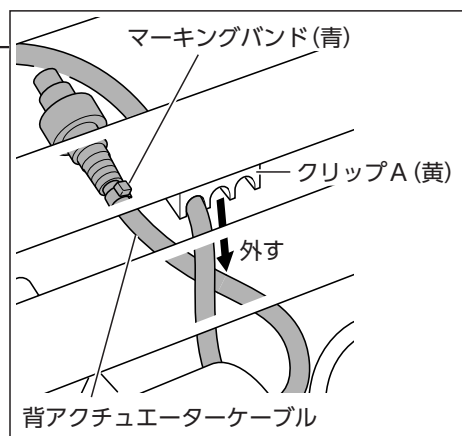


手元スイッチのコードを、頭側フレームのクリップA (黄) の図の位置にはめてください。手元スイッチをベッドの右側に出す場合は、手元スイッチのコードを図のように配線し、足側フレームのクリップB (黄) にもはめてください。

6-2.背アクチュエーターの配線



- ① 頭側フレームのクリップA (黄) に止めてある背アクチュエーターのケーブル (マーキングバンド:青) を取外してください。

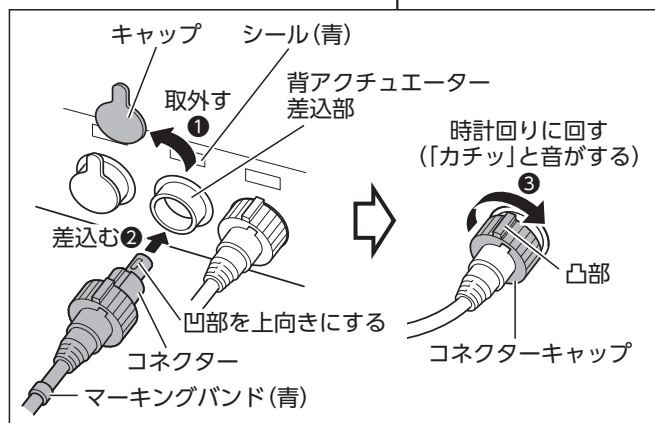


- ② コントロールボックスの背アクチュエーター差込部 (シール:青) のキャップを取外してください。



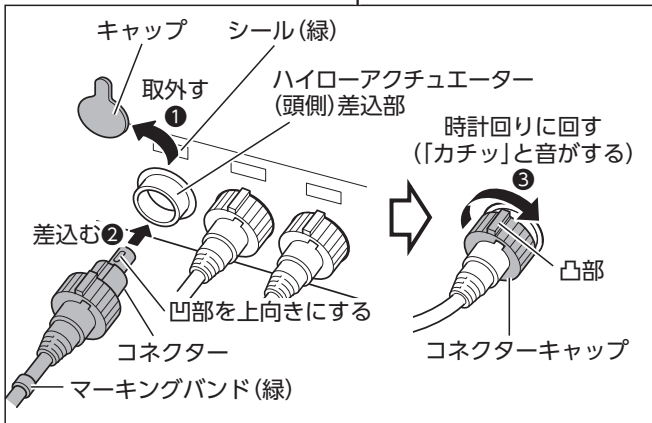
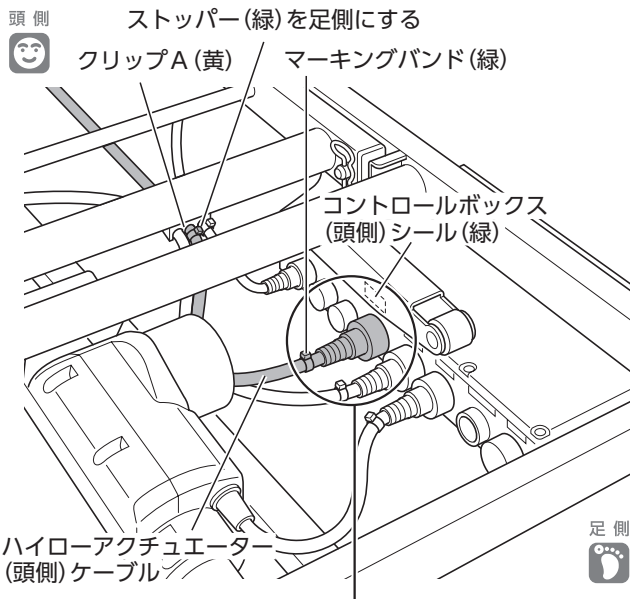
取外したキャップは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)

- ③ 背アクチュエーターのケーブルのコネクター先端の凹部を上向きにし、背アクチュエーター差込部 (シール:青) に差込んでください。
- ④ コネクターキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。



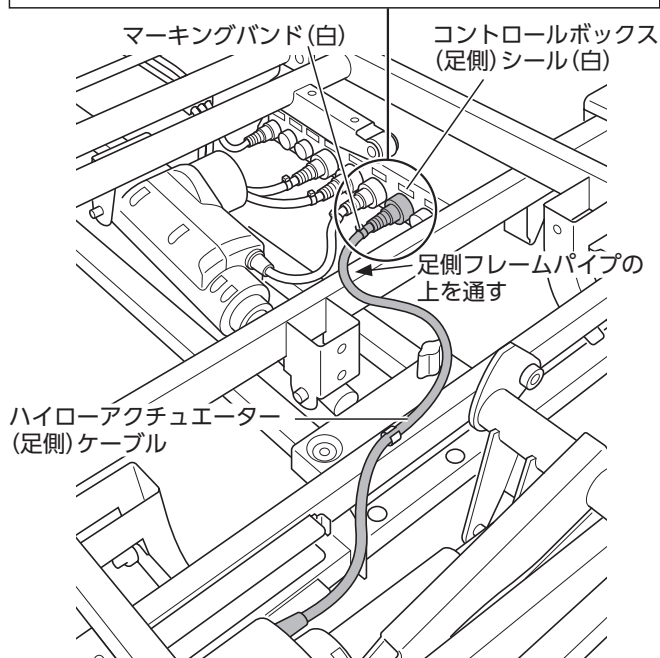
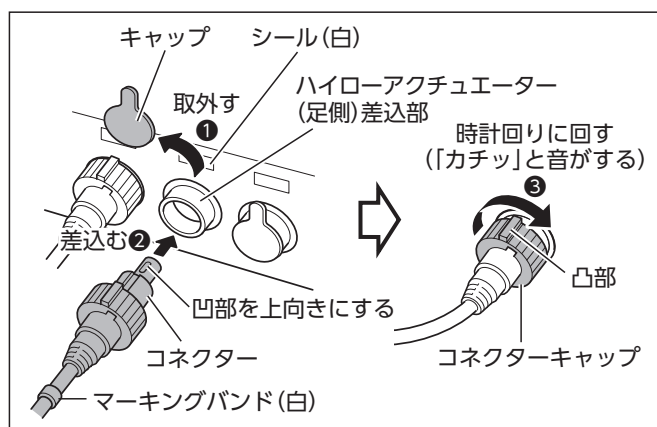
3 ベッドの組立方法

6-3.ハイローアクチュエーター（頭側）の配線



- ① ハイローアクチュエーターのケーブルをクリップA(黄)の中央にはめてください。このとき、ハイローアクチュエーターのケーブルのストッパー(緑)がクリップA(黄)より足側になるようにしてください。
- ② コントロールボックスのハイローアクチュエーター(頭側)差込部(シール:緑)のキャップを取外してください。
注記 取外したキャップは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)
- ③ ハイローアクチュエーターのケーブルのコネクタ先端の凹部を上向きにし、ハイローアクチュエーター(頭側)差込部(シール:緑)に差込んでください。
- ④ コネクタキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。

6-4.ハイローアクチュエーター（足側）の配線



① ハイローアクチュエーターのケーブルを図のように配線してください。

② コントロールボックスのハイローアクチュエーター(足側)差込部(シール：白)のキャップを取外してください。



注記 取外したキャップは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)

③ ハイローアクチュエーターのケーブルのコネクター先端の凹部を上向きにし、ハイローアクチュエーター(足側)差込部(シール：白)に差込んでください。

④ コネクターキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。

3 ベッドの組立方法

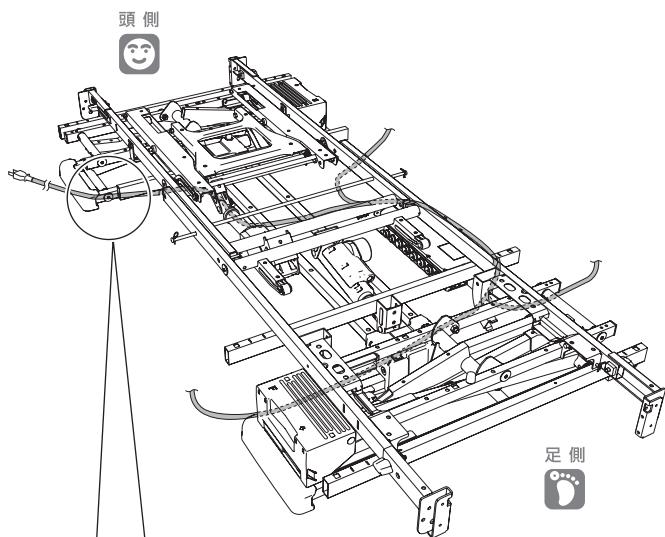
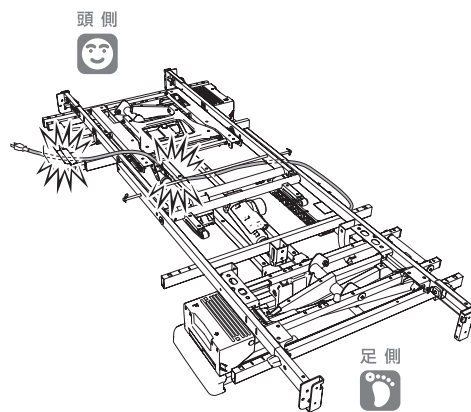
6-5.電源コードの配線

■コンセントの方向にあわせて配線してください。

警告

電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

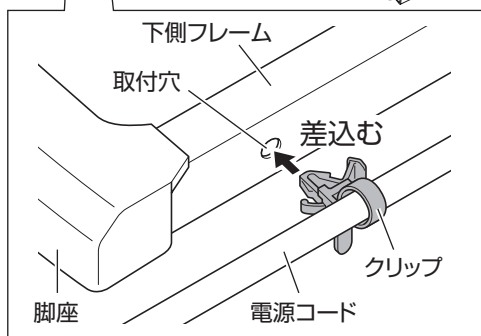
- 電源コードは、ベースフレームの上側や内側に入り込まないように配線してください。
- 電源コードは、脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- 電源コードは、ベッドの高さを最高高さまであげた状態でも突っ張らないように配線してください。



電源コードを出す向きにあわせて、電源コードのクリップをベースフレームの下側フレームの取付穴(4ヶ所)のいずれか1ヶ所に差込んでください。



余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように、注意して配線してください。



7. サイドフレームの取付け

警告

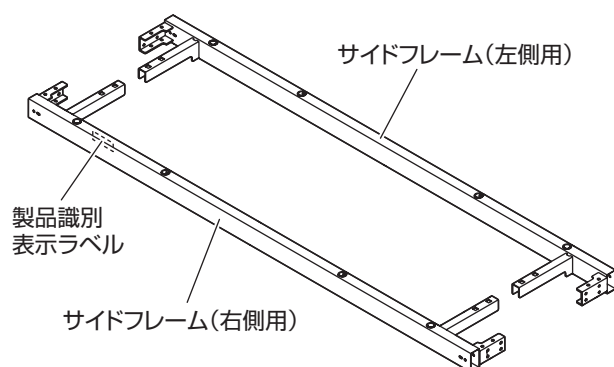
サイドフレームは指定の取付位置に角根ボルトとナット（対辺17mm）で確実に固定してください。

- 誤った位置で使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。
- 取付けが不完全な場合、サイドフレームががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

注意

仮止め状態のサイドフレームに寄り掛かったり、体重をかけたりしないでください。サイドフレームが落下して、けがをするおそれがあります。

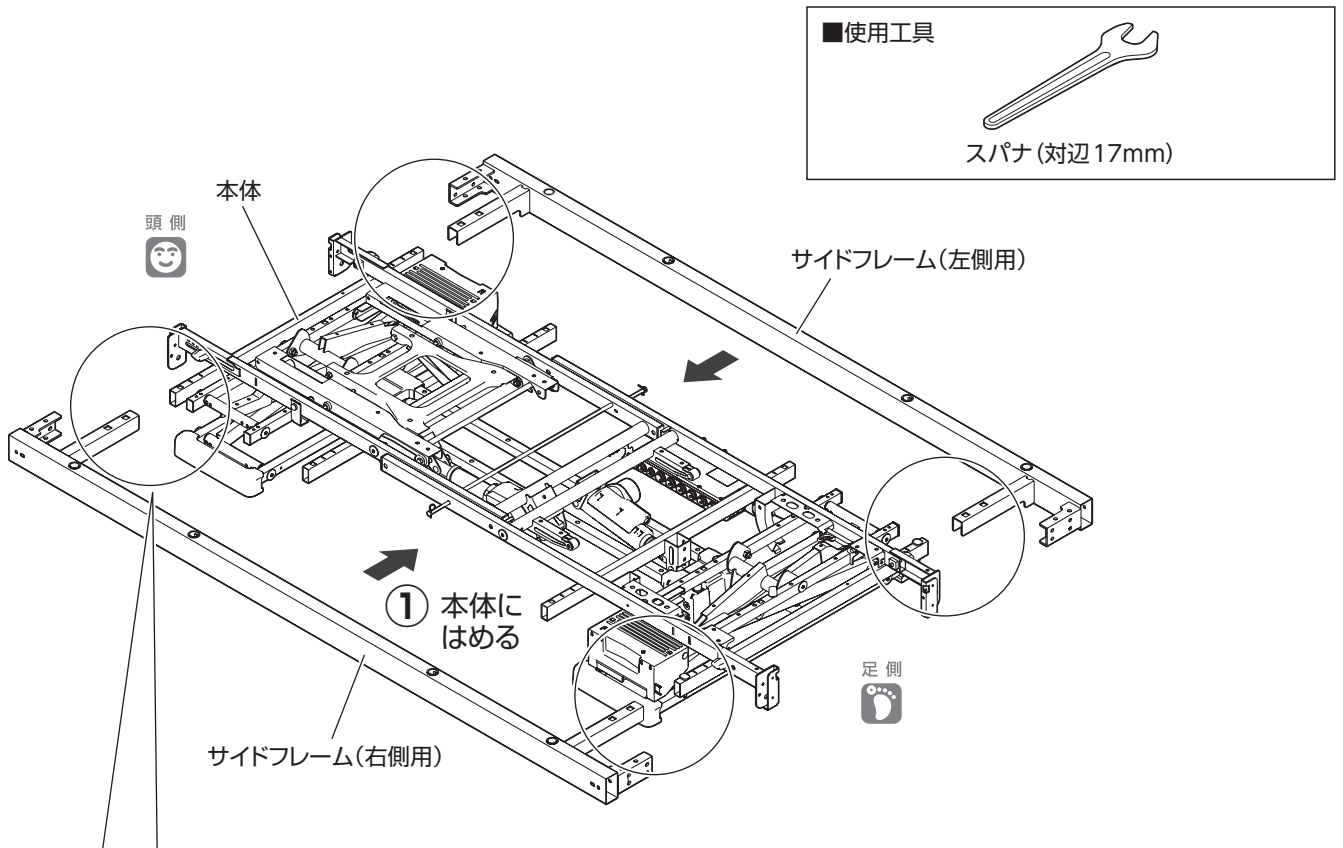
サイドフレームについて



サイドフレームには右側用と左側用があります。
※右側用のサイドフレームは、内側に製品識別表示ラベルが貼られています。

サイドフレームの取付けの際は、サイドフレームを確認し、正しく取付けてください

3 ベッドの組立方法



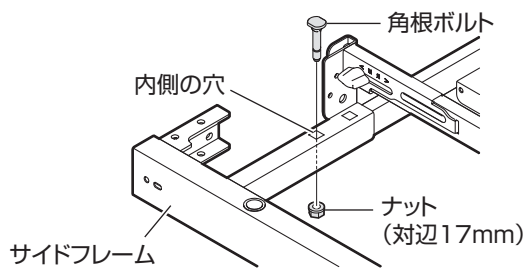
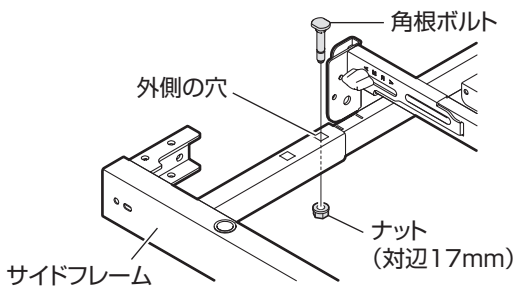
② 角根ボルトとナット(対辺17mm)で本体に仮止めする。(4ヶ所)



この時点でナット(対辺17mm)をしっかり締めてしまうと、フットボードが取付けられない場合があります。

<オプション使用位置の場合>

<格納位置の場合>

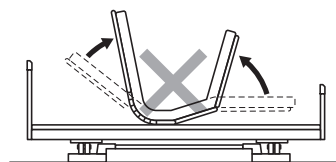


ボルトの頭のまっすぐな部分がサイドフレームと平行になるように差込んでください。

8. ボトムの取付け

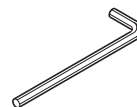
注意

背ボトム、膝・足ボトムを持ち上げて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。

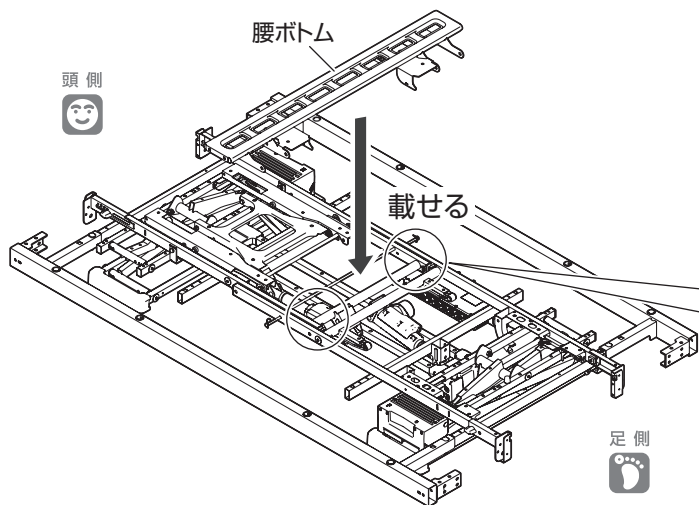


8-1. 腰ボトムの取付け

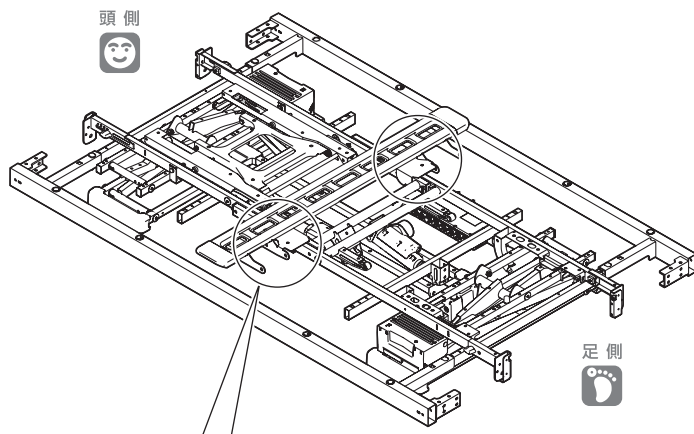
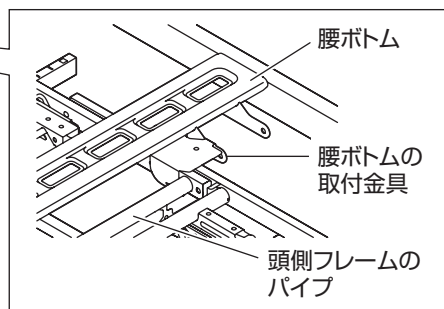
■使用工具



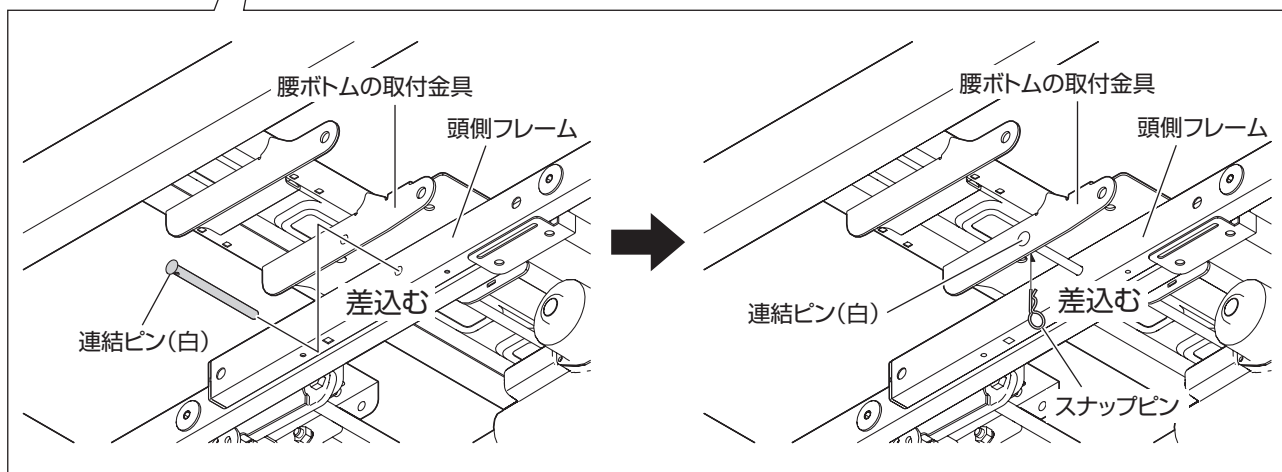
六角レンチ (対辺5mm)



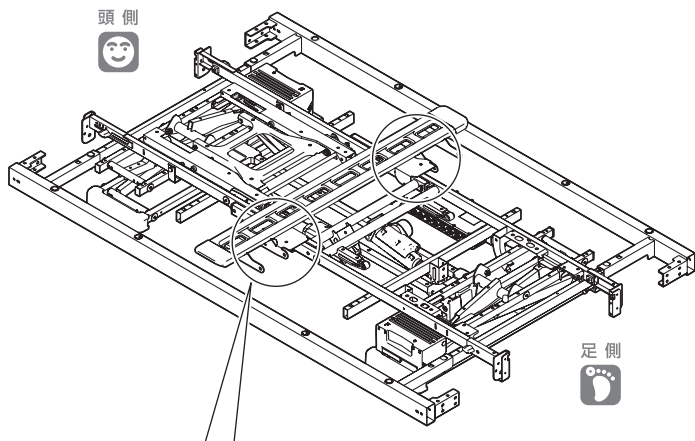
- ① 腰ボトムの取付金具が頭側フレームのパイプに当たるように頭側フレームに載せてください。



- ② 頭側フレームと腰ボトムの取付金具に連結ピン(白)を差し込み、スナップピンで固定してください。(左右各1ヶ所)



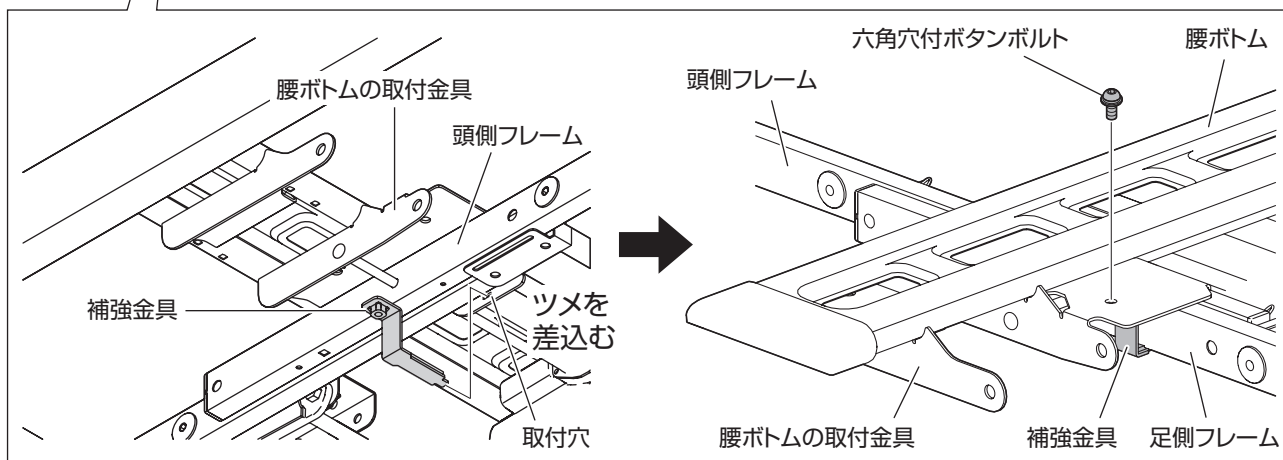
3 ベッドの組立方法



- ③ 補強金具のツメを腰ボトム^{ちゅうい}の取付金具の穴に差し込み、六角レンチ (対辺5mm) を使用して六角穴付ボタンボルトで固定してください。(左右各1ヶ所)

⚠️ 注意

腰ボトムは確実に指定の位置に取付け、六角穴付ボタンボルトでしっかり固定してください。取付けが不十分な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

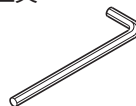


8-2.膝・足ボトムの取付け

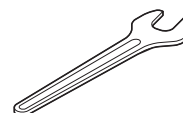
⚠️ 注意

腰ボトムと膝・足ボトムは段付ボルトとナット (対辺13mm) で確実に固定してください。取付けが不完全な場合、膝・足ボトムががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

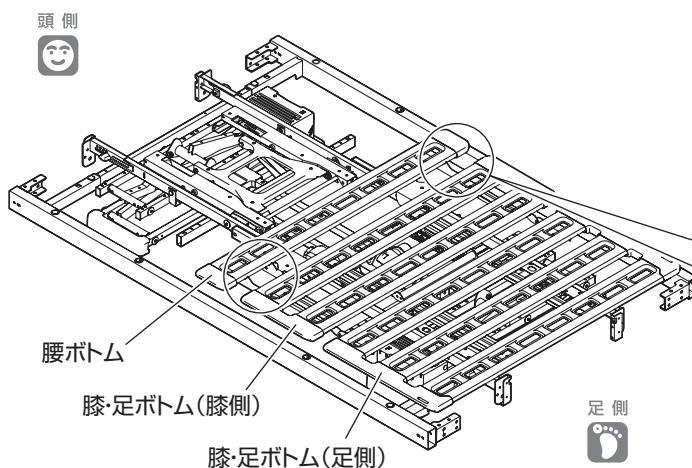
■使用工具



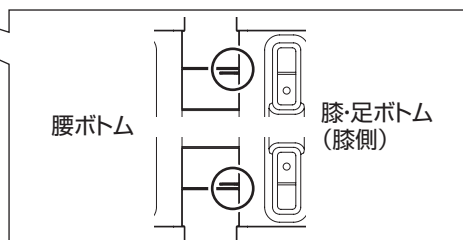
六角レンチ (対辺5mm)

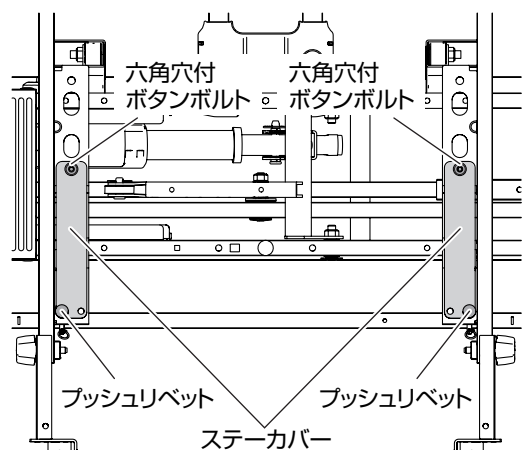
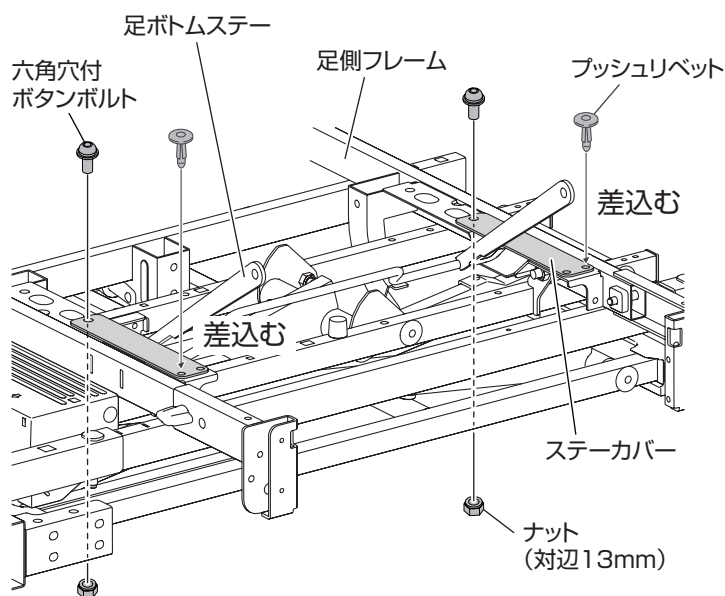
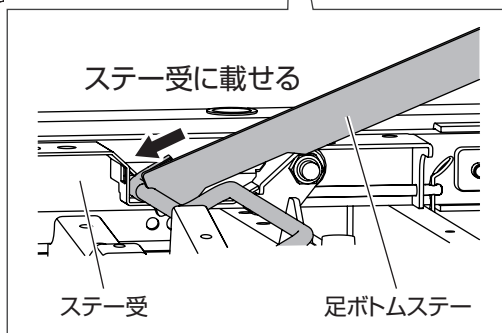
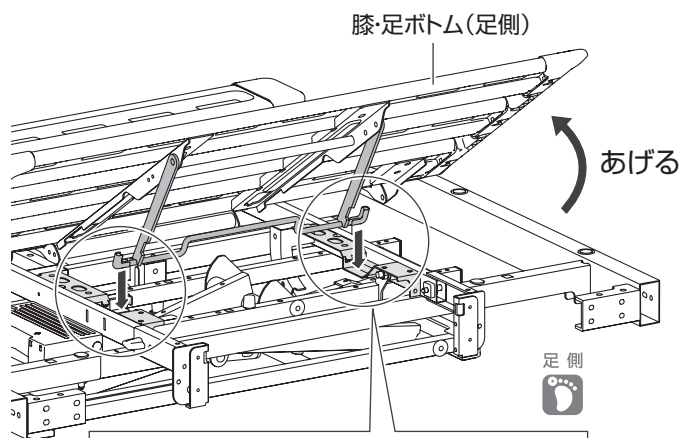


スパナ (対辺13mm) × 2



- ① 膝・足ボトムを腰ボトムの内側にくるように足側フレームに載せてください。





※イラストは膝・足ボトムを省略しています。

- ② 膝・足ボトム(足側)を上にあげ、足ボトムステアーを足側フレームのステアー受に載せてください。

注意

膝・足ボトムの足ボトムステアーを確実に指定の位置に取付けてください。取付けが不十分な場合、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作の際にベッドが破損したりするおそれがあります。

- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ④ 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを作業しやすい角度まであげてください。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⑥ ステアーカバーを足側フレームに取付け、プッシュリベットおよび六角穴付ボタンボルト・ナット(対辺13mm)で固定してください。(左右各1ヶ所)

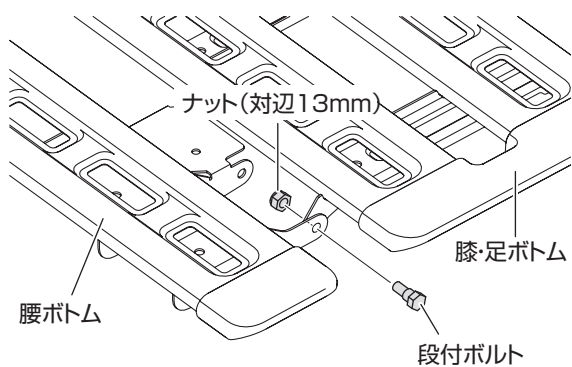
※プッシュリベットを取付けるときは



警告

ステアーカバーを足側フレームに確実に固定してください。固定されていない場合、膝・足ボトムが不意に外れたり、がたつきが大きくなり、意図せぬすき間が発生したりして、けがや製品の破損・変形のおそれがあります。

3 ベッドの組立方法



- ⑦ 腰ボトムと膝・足ボトム(膝側)をスパナ(対辺13mm)を使用して段付ボルトとナット(対辺13mm)で固定してください。(左右各1ヶ所)



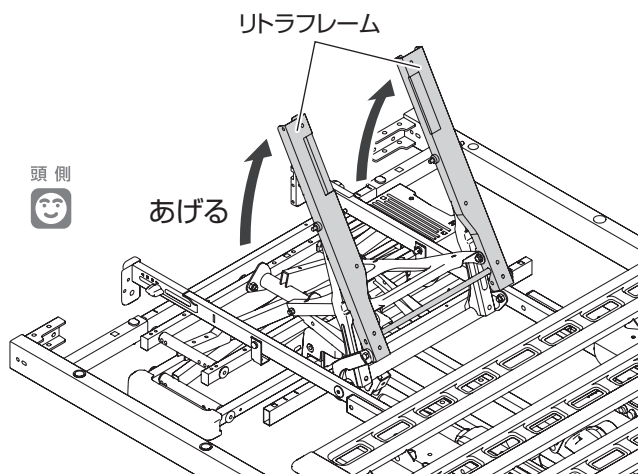
段付ボルトはベッドの外側から内側へ差込んでください。

- ⑧ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑨ 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを一番下までさげてください。
- ⑩ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

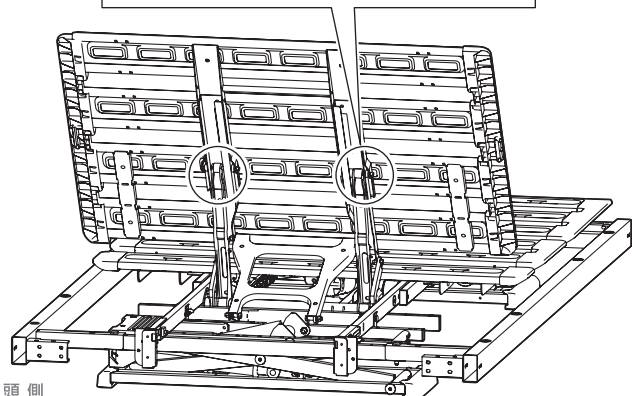
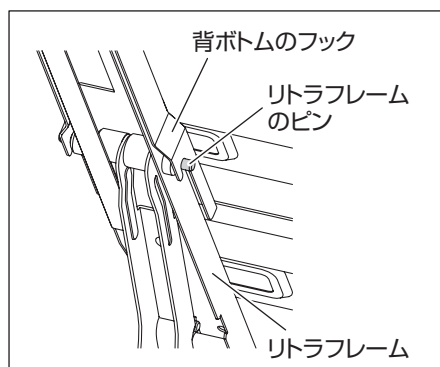
8-3.背ボトムの取付け

ちゅうい
注意

背ボトムは締結ボルト(長)と蝶ナットで確実に固定してください。取付けが不完全な場合、背ボトムががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。



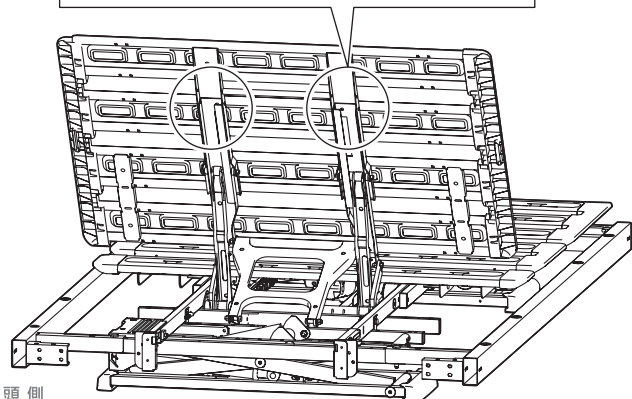
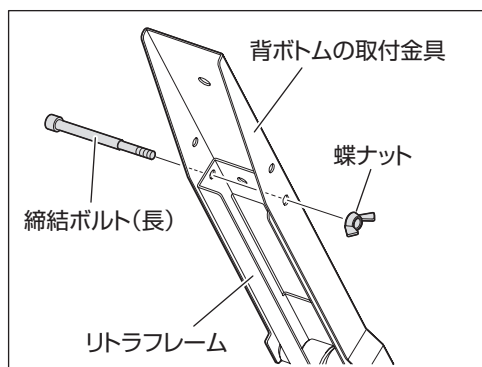
- ① 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、リトラフレームを作業しやすい角度まであげてください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



頭側



- ④ 背ボトムをリトラフレームに載せて、背ボトムを足側方向にスライドさせてください。背ボトム裏面のフックがリトラフレームのピンに引っ掛かります。



頭側



- ⑤ 背ボトムとリトラフレームの取付穴(左右各1ヶ所)に外側から締結ボルト(長)を差込み、蝶ナットで締付けてください。(左右各1ヶ所)



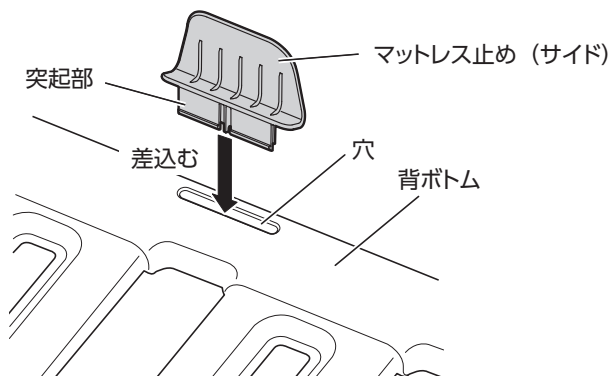
蝶ナットは左右とも、手で十分に締付けてください。

- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作し、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

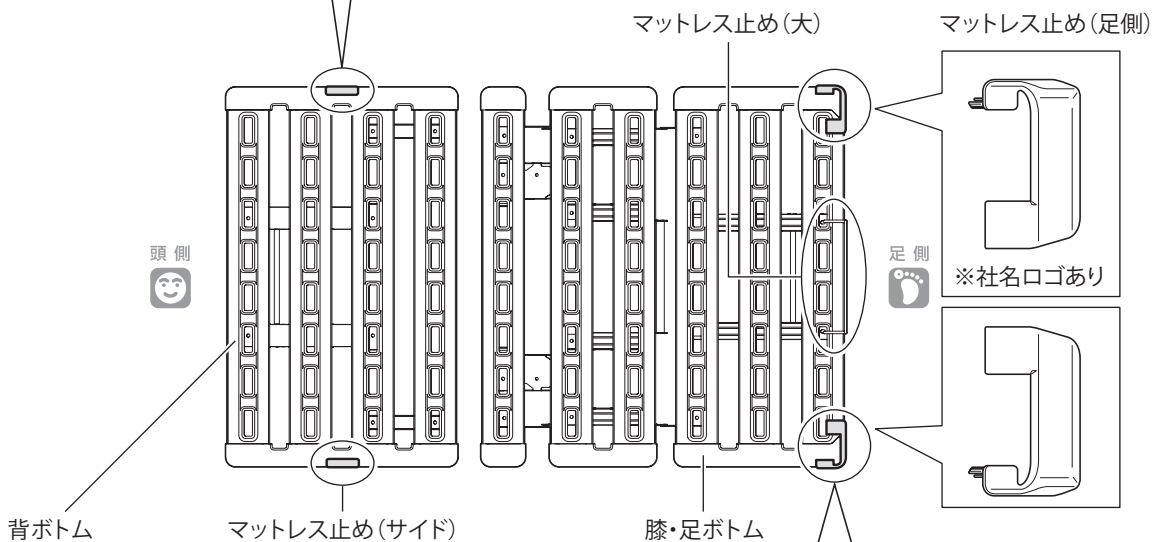
9. マットレス止めの取付け

<マットレス止め (サイド) の取付け>

突起部を「カチッ」と音がするまで差込む。
(左右各1ヶ所)



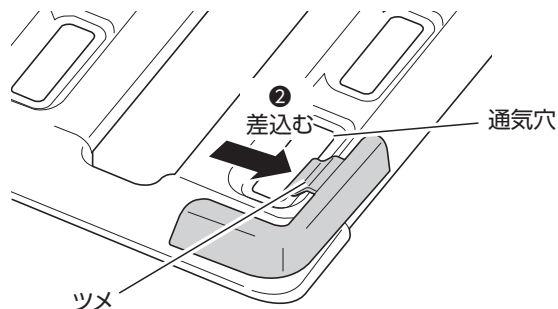
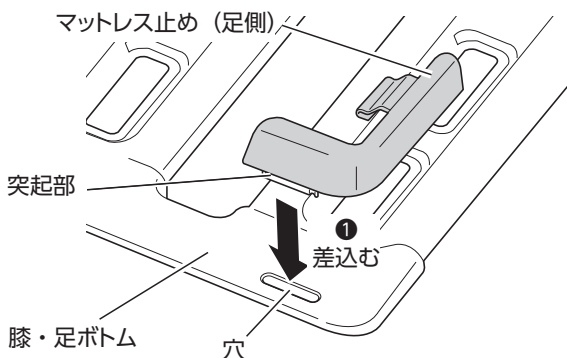
マットレス止め (サイド) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。



<マットレス止め (足側) の取付け>

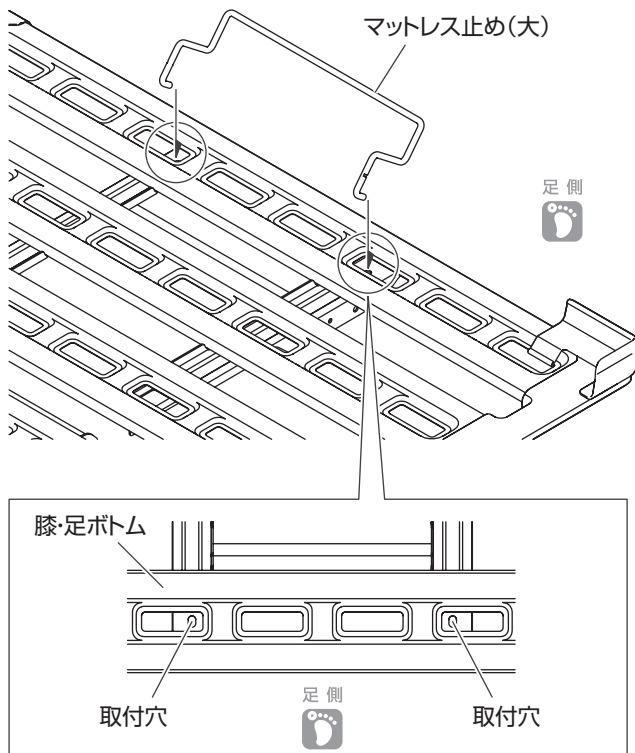
① 突起部を「カチッ」と音がするまで差込む。

② ツメを足ボトムの通気穴に入れ、通気穴のふちに差込む。



- 社名ロゴが記載されているマットレス止め (足側) を左側に取付けてください。
- マットレス止め (足側) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

<マットレス止め(大)の取付け>



マットレス止め(大)の先端をたわませながら、膝・足ボトムの取付穴に差込んでください。



- マットレス止め(大)の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。
- 差込みにくい場合は、マットレス止め(大)の先端を左右から少し押し、穴の間隔にあわせながら差込んでください。

3 ベッドの組立方法

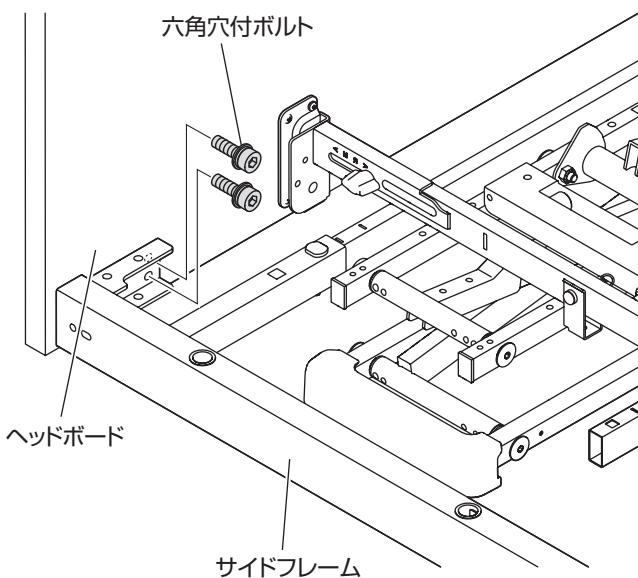
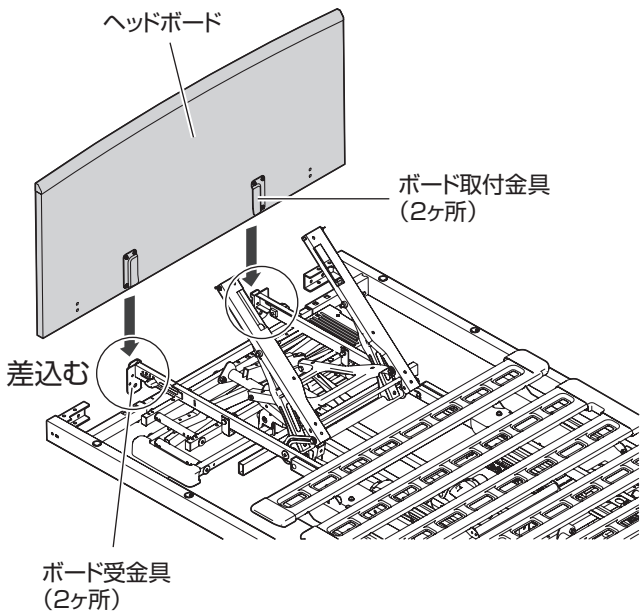
10. ボードの取付け

注意

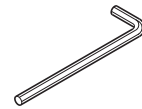
- ボードを取付ける際は、指定の取付位置に六角穴付ボルトで確実に固定してください。取付けが不完全な場合、ボードががたついたり、外れてけがをするおそれがあります。
- ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。
- 仮止め状態のサイドフレームに寄り掛かったり、体重をかけたりしないでください。サイドフレームが落下して、けがをするおそれがあります。

10-1. ヘッドボードの取付け

※イラストは背ボトムを省略しています。



■使用工具

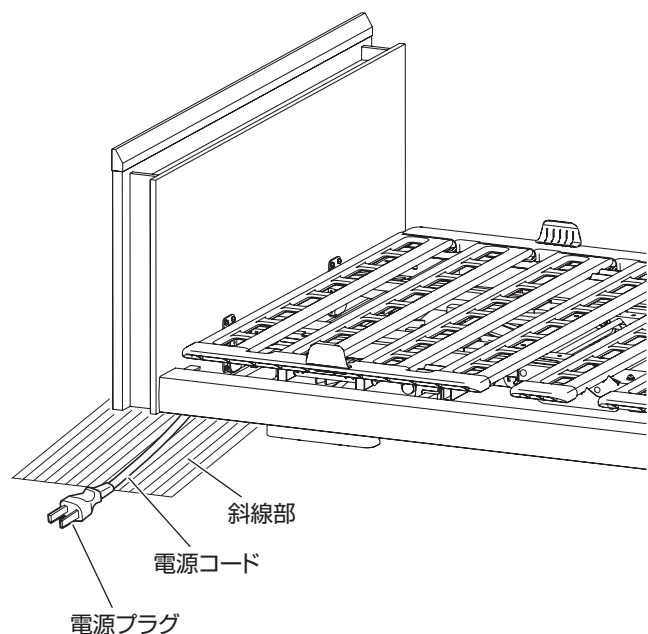


六角レンチ (対辺5mm)

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、背ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ ヘッドボードのボード取付金具を、ベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差し込んでください。
- ⑤ ヘッドボードの取付穴とサイドフレームの取付穴の位置をあわせて、六角レンチ (対辺5mm) を使用して、六角穴付ボルトで仮止めしてください。(左右各2ヶ所)
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作し、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

<キューブ（宮付）の場合>

ベッドに取付けた後、電源コードの配線が必要です。
下図を参照して、斜線部の範囲内に配線してください。



けい こく 警告

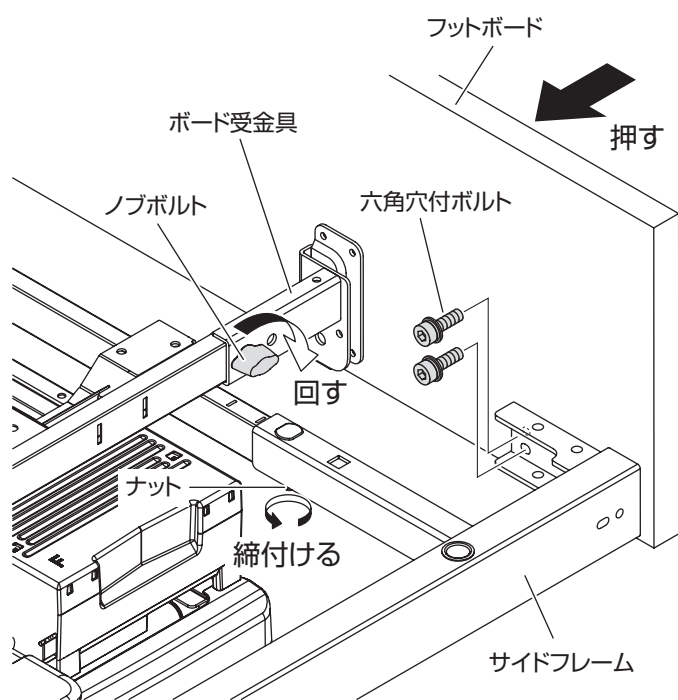
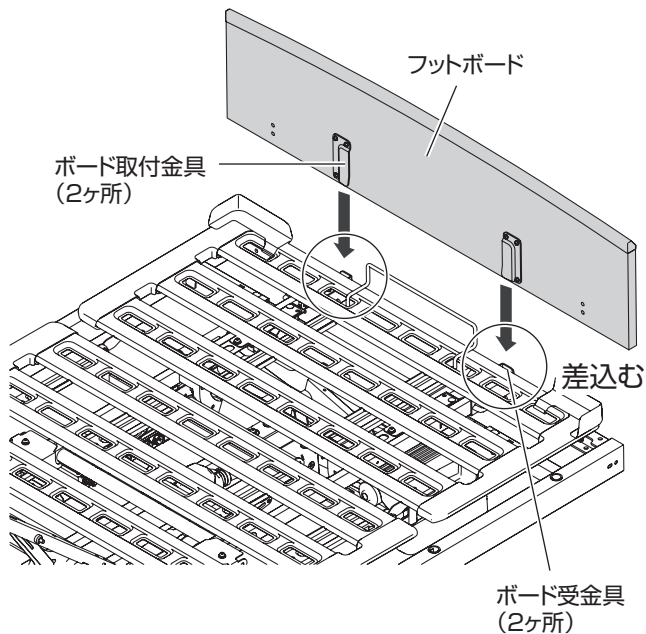
電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

ちゅう い 注意

キューブ（宮付）を取付けする際は、ケーブル類の上にキューブ（宮付）を置かないでください。ケーブル類が破損するおそれがあります。

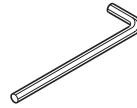
3 ベッドの組立方法

10-2. フットボードの取付け

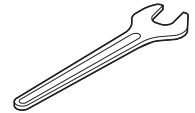


※イラストは膝・足ボトムを省略しています。

■使用工具



六角レンチ (対辺5mm)



スパナ (対辺17mm)

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ フットボードのボード取付金具を、ベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差し込んでください。

- ④ フットボードをベッド頭側に押しながら、仮止めたボード受金具のノブボルトをしっかりと締めて固定してください。



注記 フットボードを押しながら固定しないと、ボードががたつくおそれがあります。

- ⑤ フットボードの取付穴とサイドフレームの取付穴の位置をあわせて、六角レンチ (対辺5cm) を使用して、六角穴付ボルトで仮止めしてください。(左右各2ヶ所)
- ⑥ スパナ (対辺17cm) を使用して、仮止めたサイドフレームのナット (対辺17mm) をしっかりと締めて固定してください。(左右各2ヶ所)
- ⑦ 六角レンチ (対辺5mm) を使用して、仮止めていたヘッドボード、フットボードの六角穴付ボルトをしっかりと締めて固定してください。



注記 ノブボルト、六角穴付ボルト、ナット (対辺17mm) が確実に締付けられていることを確認してください。

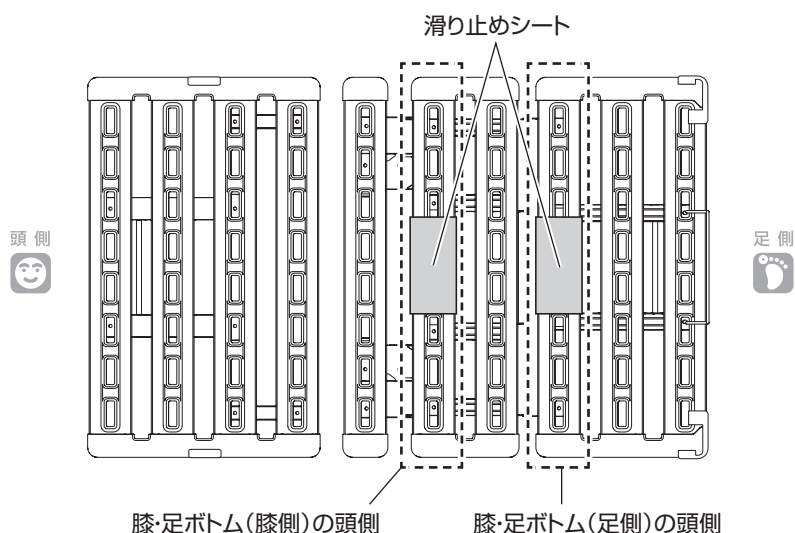
11. 滑り止めシートの設置

注意

- 滑り止めシートはシワが寄らないようにまっすぐ敷いてください。破損の原因となります。
- マットレスを載せたり移動したりするときは、マットレスを滑り止めシートの上で滑らせたり、引きずったりしないでください。滑り止めシートがずれたり、破損したりするおそれがあります。
- 定期的に滑り止めシートの状態を確認し、位置がずれていたり、シワが寄ったり折れ曲がったりしている場合は、滑り止めシートを敷き直してください。正しく敷かれていないと、十分な効果が得られなかったり、滑り止めシートがベッド動作部にはさまれて、破損したりするおそれがあります。
- 滑り止めシートは指定の用途以外には使用しないでください。滑り止めシートが破損するおそれがあります。

滑り止めシートを下図の位置に敷く。(2ヶ所)

- ・ 膝・足ボトム (膝側) の頭側・中央
- ・ 膝・足ボトム (足側) の頭側・中央



滑り止めシートが正しく敷かれていることを確認してください。

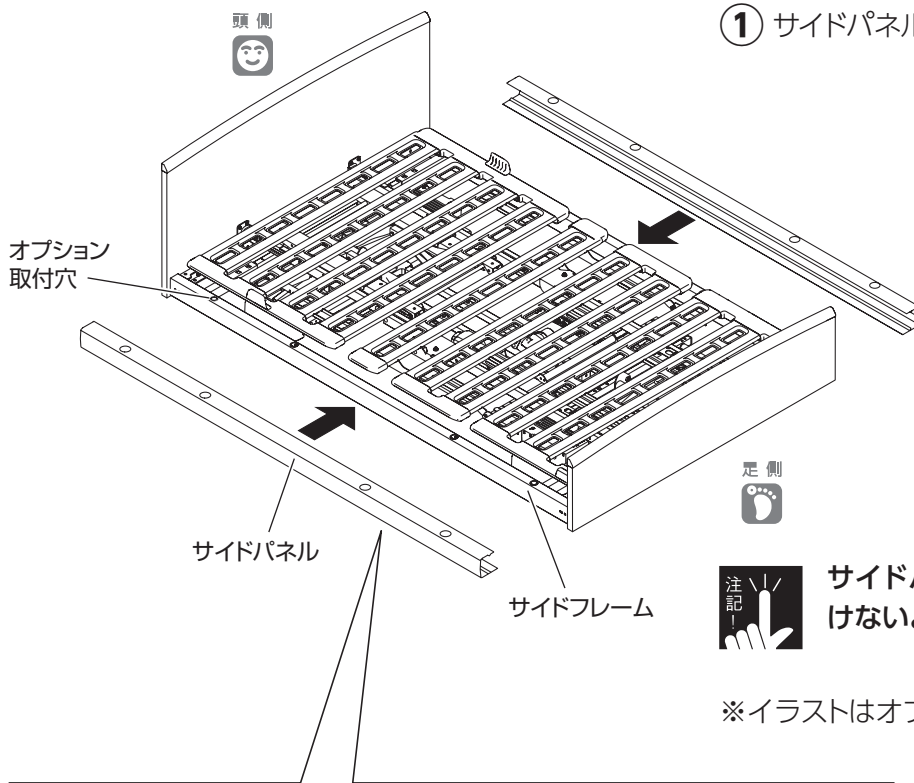
12. サイドパネルの取付け

警告

サイドパネルは確実に取付けてください。確実に取付いていない状態で使用すると、思わぬけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

注意

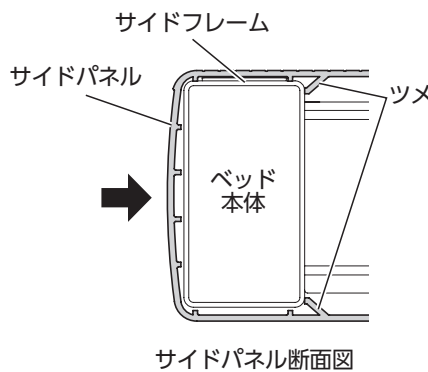
一度取付けたサイドパネルを取外す場合は十分注意して行ってください。無理に取外そうとすると、破損したり外れやすくなったりします。



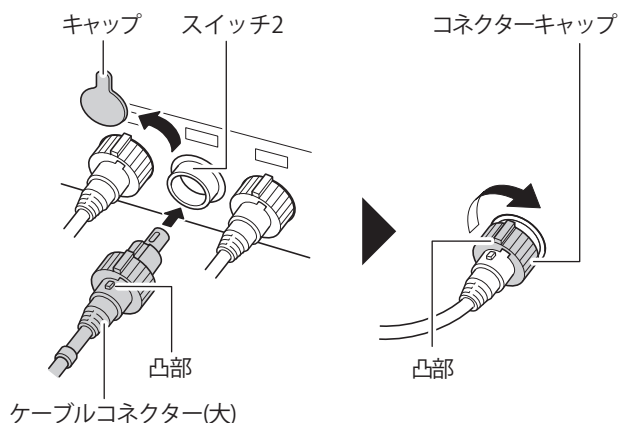
注意！ サイドパネルを取付ける際は、ボードを傷つけないように注意してください。

※イラストはオプション取付穴を使用できる状態

② ツメがサイドフレームに引っ掛かるまで、押込む。
※オプション取付穴を使用する場合は、サイドパネルの穴を上側にして取付けてください。



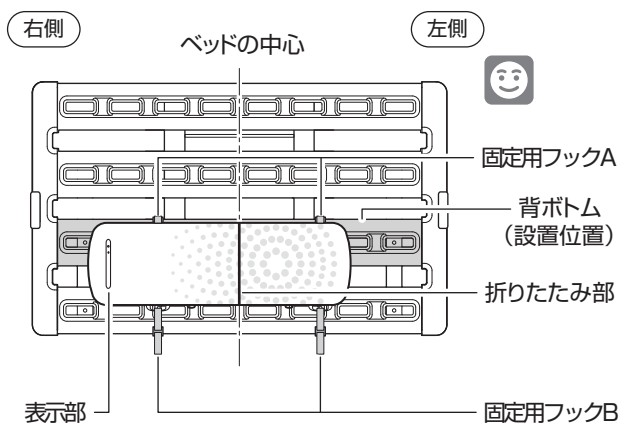
13.Active Sleep ANALYZER (RA-E1C***)の取付け



- ① ベッドを操作してフラットな状態にし、マットレスを取り外す。ベッドの電源プラグを抜く。
- ② コントロールボックスのスイッチ2 差込部 (シール:黒)のキャップを取り外す。
- ③ ベッド接続ケーブルのケーブルコネクター (大)の凹部を上向きにし、コントロールボックスのスイッチ2 差込部 (シール:黒)に差し込む。
- ④ コネクターキャップの凸部が真上に来るように、時計回りに回す。「カチッ」と音がして固定される。



取り外したキャップは紛失しないように保管してください。



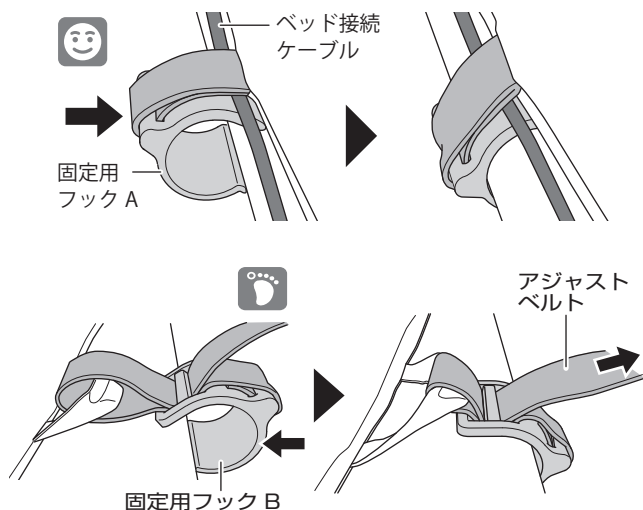
※右側・左側は使用者が寝た状態で説明しています。

※イラストはセミダブル

- ⑤ 本体の上側にある表示部をベッドの右側にして、背ボトムに設置する。

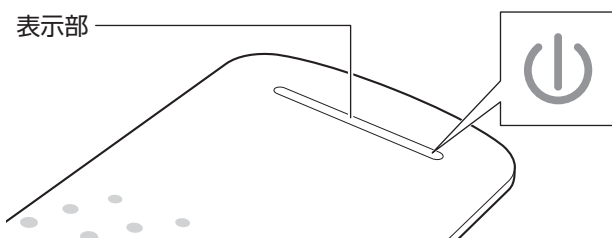
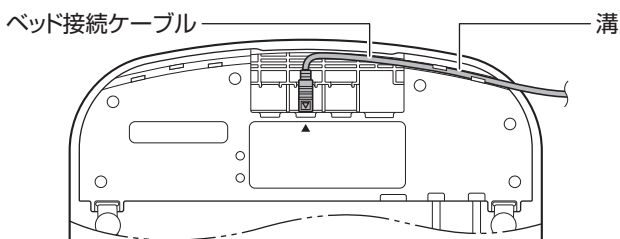
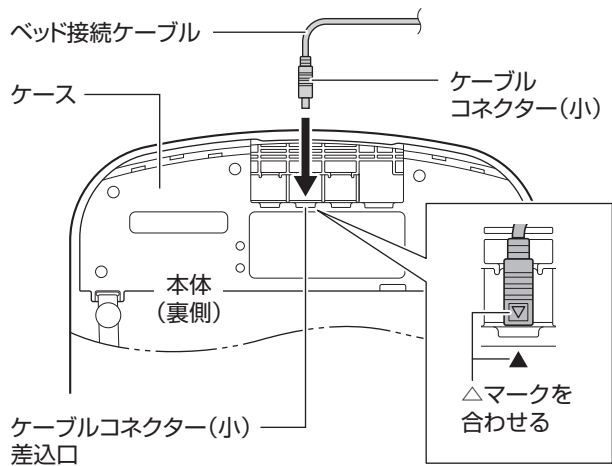
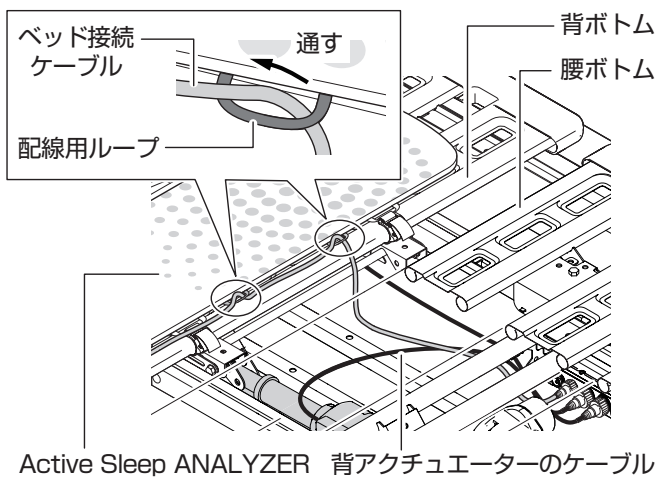


本体折りたたみ部がベッドの中心になるように位置を調節してください。



- ⑥ 固定用フックA (2ヶ所) をベッド頭側から足側に向かって背ボトムにはめ込む。
- ⑦ 固定用フックB (2ヶ所) を、アジャストベルトを伸ばしてから、ベッド足側から頭側に向かって背ボトムにはめ込む。アジャストベルトを足側に引っ張って本体をベッドに固定する。

3 ベッドの組立方法



⑧ ベッド接続ケーブルをベッド本体の背アクチュエーターの配線の上を通し、背ボトムと腰ボトムの間からボトム上にあげ、配線用ループ(2ヶ所)に通し配線する。

⑨ 本体のファスナーを開き、ケースを出す。

⑩ ベッド接続ケーブルのケーブルコネクタ(小)をケースにあるケーブルコネクタ(小)の差込口に差し込む。



ケーブルコネクタ(小)の▽を、ケーブルコネクタ(小)差込口にある▲に合わせて差し込んでください。

⑪ ケース裏側にある右側の溝にベッド接続ケーブルをはめ込む。

⑫ ファスナーを閉めます。



ファスナーを閉めるときにベッド接続ケーブルを傷つけないようにしてください。

⑬ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込み、表示部にある電源ランプが緑点滅することを確認してください。



- 手元スイッチでベッドの背ボトムを最大角度まで操作して、ベッド接続ケーブルが引張られていないか確認してください。

- ベッドの背ボトムをフラットにもどし、リンクなどベッドの可動部とのはさみ込みや引掛りなどがどうか確認してください。

4 組立後の点検

■ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、下記のチェックシートで点検してください。(☞94~103ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター (☞103ページ) までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

けい こく 警告

組立て後は点検を行ってください。組立が不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。

ちゅう い 注意

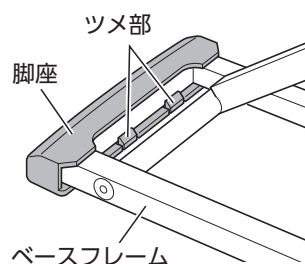
点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター (☞103ページ) までご連絡ください。

チェックシート

1 脚座の取付け

ベースフレームの4ヶ所すべてに脚座がはまっていますか?
(頭側・足側各2ヶ所)

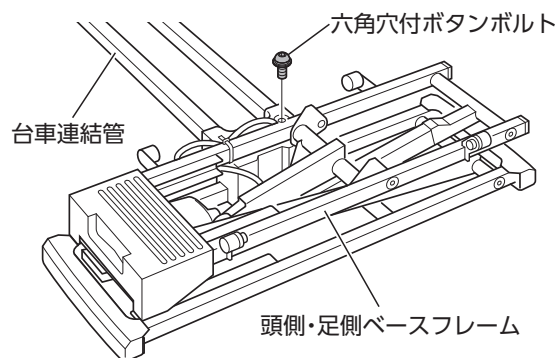
- はい
 いいえ → 67ページ参照



2 頭側・足側ベースフレームと台車連結管の連結

六角穴付ボタンボルトで確実に締付けられていますか?
(頭側・足側各1ヶ所)

- はい
 いいえ → 68ページ参照



4 組立後の点検

4

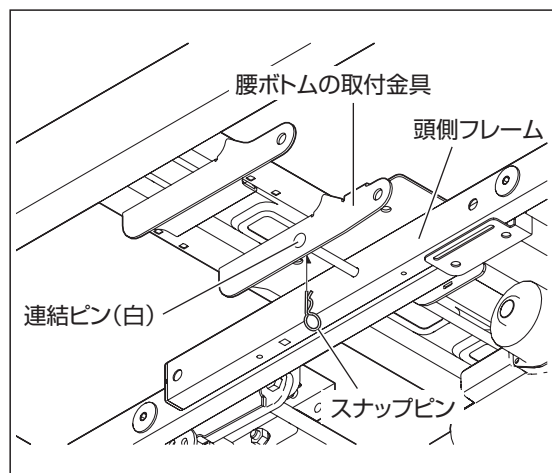
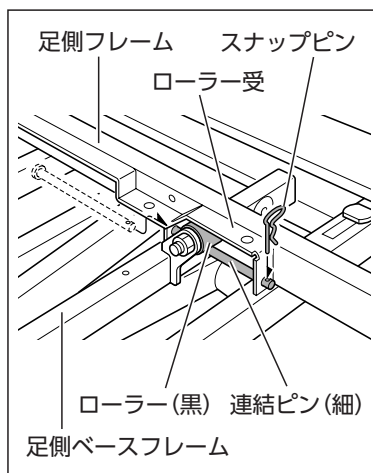
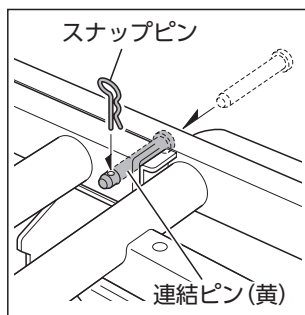
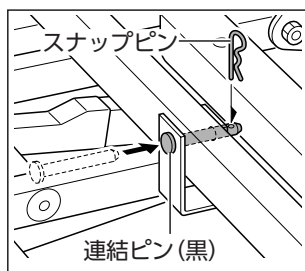
組立後の点検

3 連結ピン・スナップピンの取付け

連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか？

はい

いいえ → 71ページ参照



4 ボード受金具の取付け

● 頭側用/足側用ボード受金具が正しく取付けられていますか？

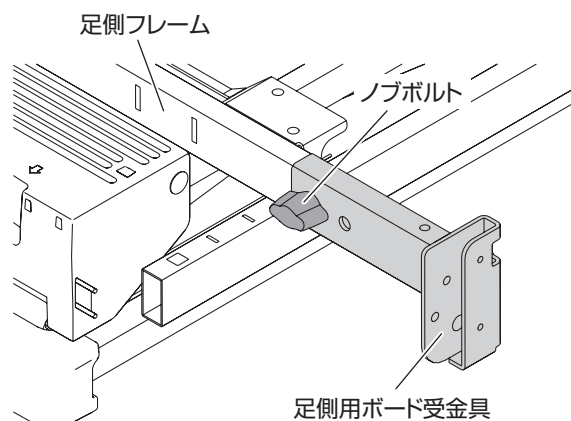
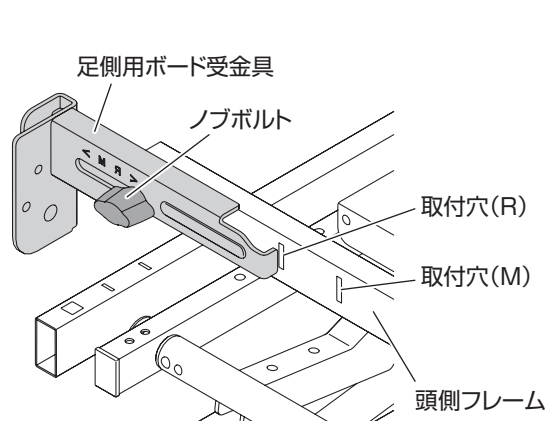
頭側用ボード受金具 左右1ヶ所：計2ヶ所

足側用ボード受金具 左右1ヶ所：計2ヶ所

● ノブボルトで確実に締付けられていますか？

はい

いいえ → 70～72ページ参照



5 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか？

はい

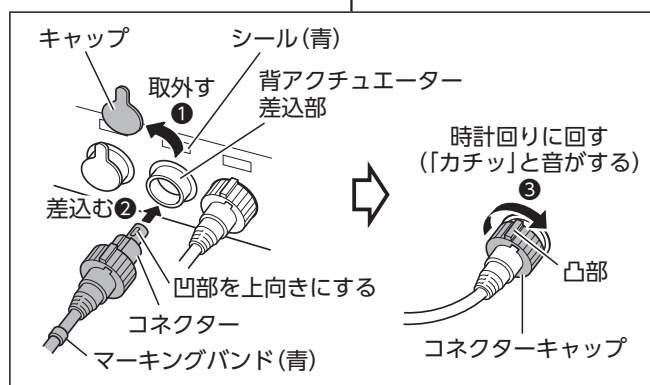
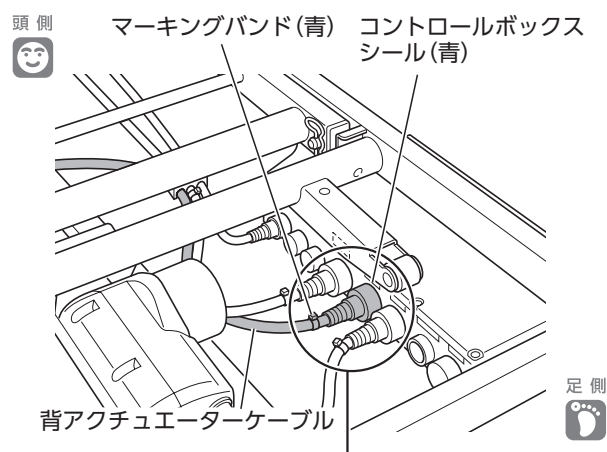
いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター（☎ 103ページ）へ連絡

6 背アクチュエーターとコントロールボックスの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？

はい

いいえ → 74ページ参照



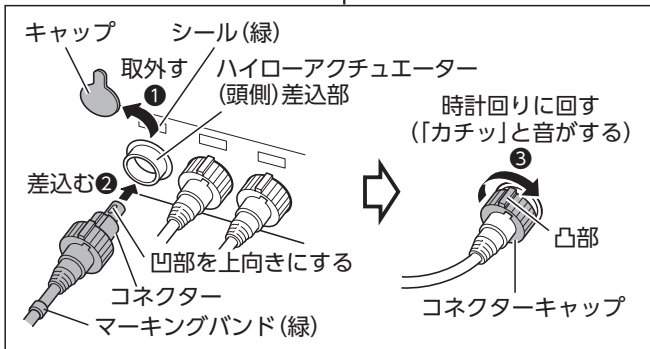
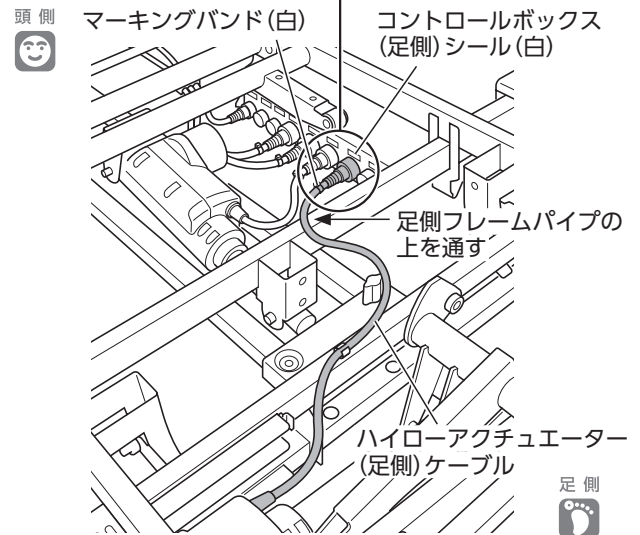
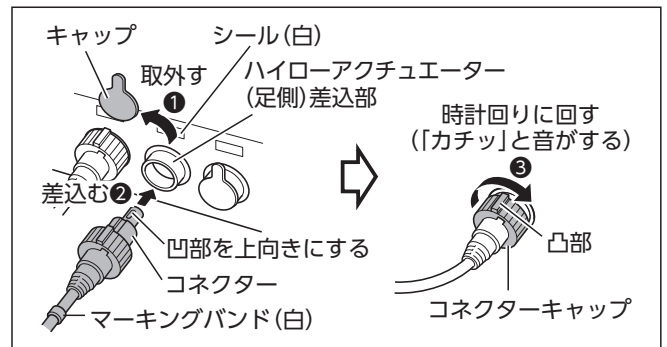
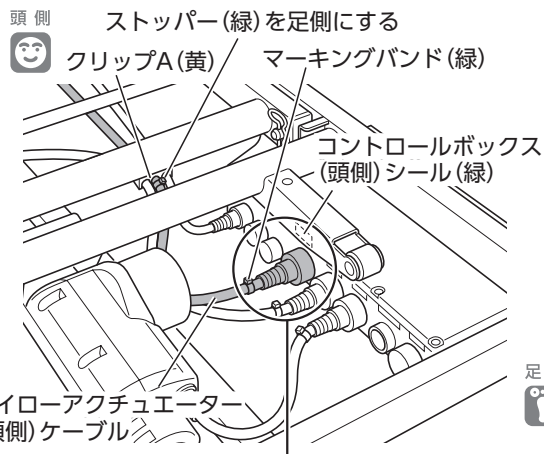
4 組立後の点検

7 ハイローアクチュエーター(頭側/足側)とコントロールボックスの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか?
- ケーブルがクリップに固定されていますか?
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか?

はい

いいえ → 75・76ページ参照

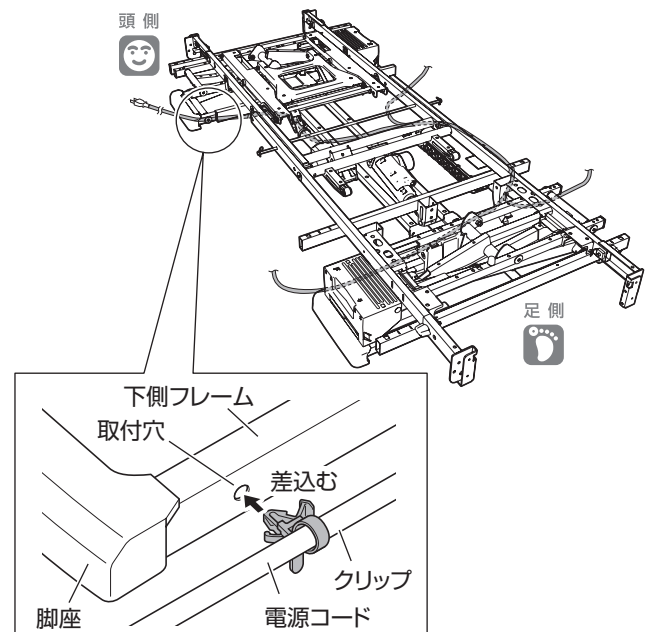


8 電源コードの接続

- 電源コードはベースフレームの外側に配線されていますか?
- 電源コードのクリップがベースフレームの取付穴に固定されていますか?
- 可動部と接触していませんか?
- 脚座やキャスターなどで踏んでいませんか?
- 高さ調節を最低高さから最高高さまで行ったとき、電気コードが引っ張られることはありませんか?

はい

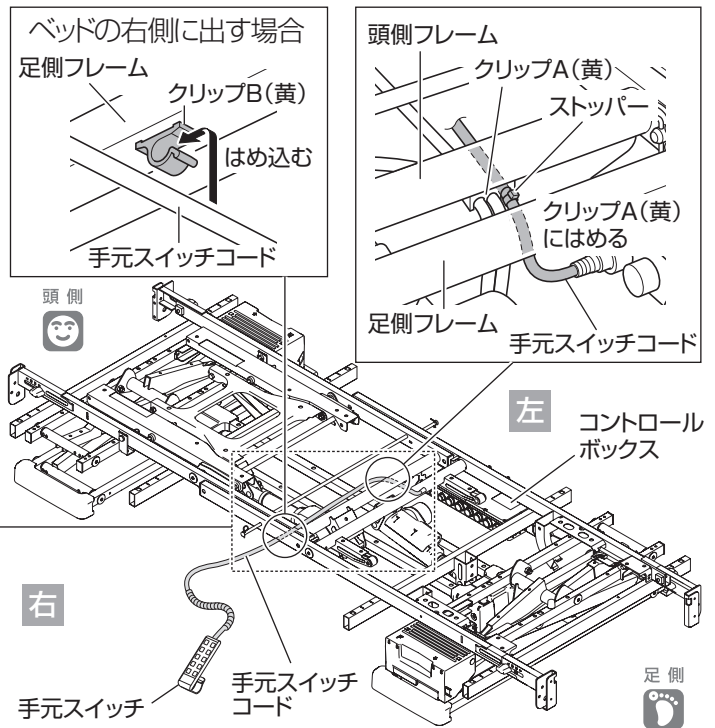
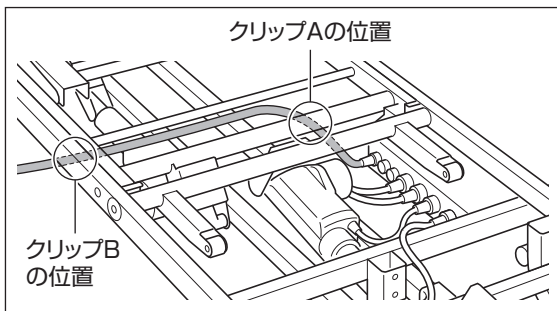
いいえ → 77ページ参照



9 手元スイッチコードの配線

手元スイッチコードが正しく配線され、クリップに固定されていますか？

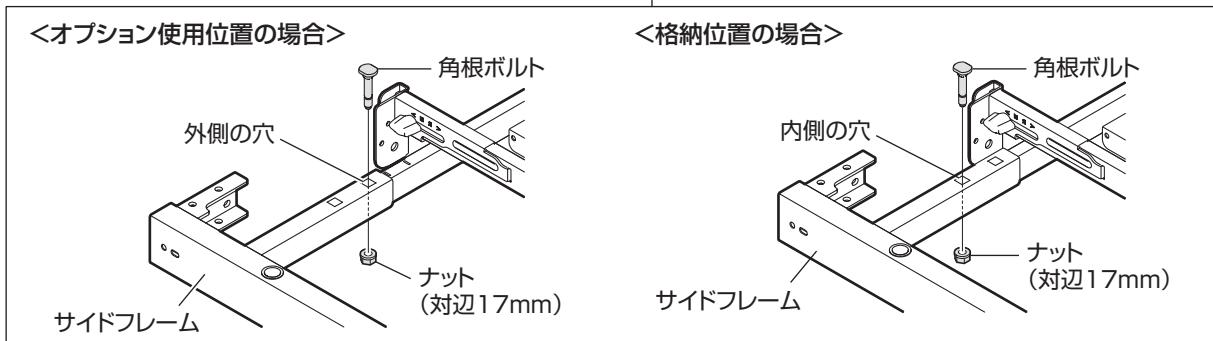
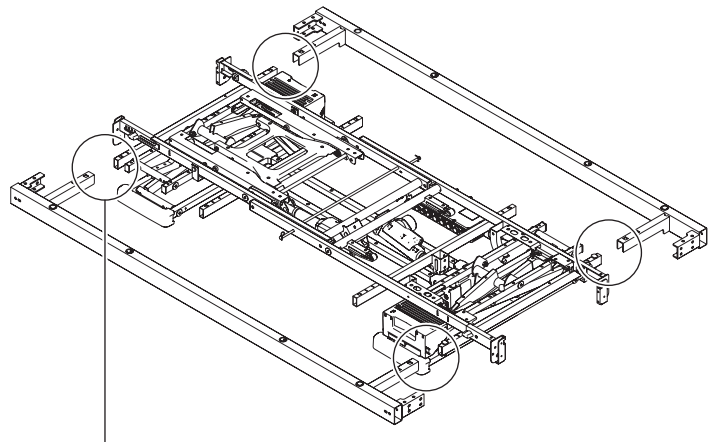
- はい
- いいえ → 73ページ参照



10 サイドフレームの固定

サイドフレームが確実に締結されていますか？
(4ヶ所)

- はい
- いいえ → 78・79ページ参照



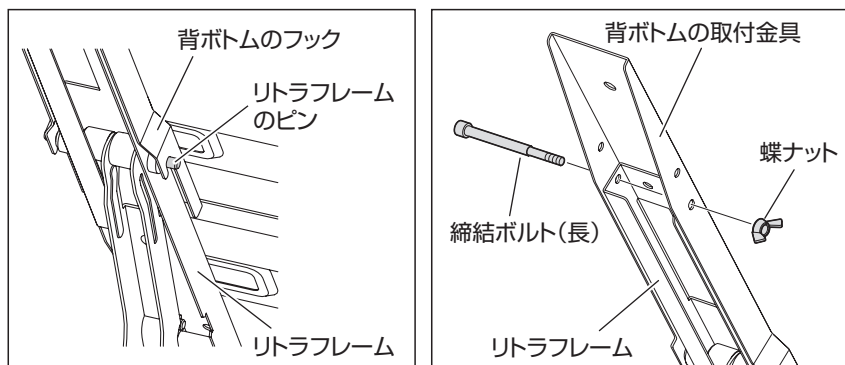
4 組立後の点検

11 背ボトムの取付け

- リトラフレームのピンと背ボトムのフックの位置はあっていますか？
- 背ボトムとリトラフレームが締結ボルト（長）と蝶ナットで確実に固定されていますか？
（左右各1ヶ所：計2ヶ所）

はい

いいえ → 83・84ページ参照

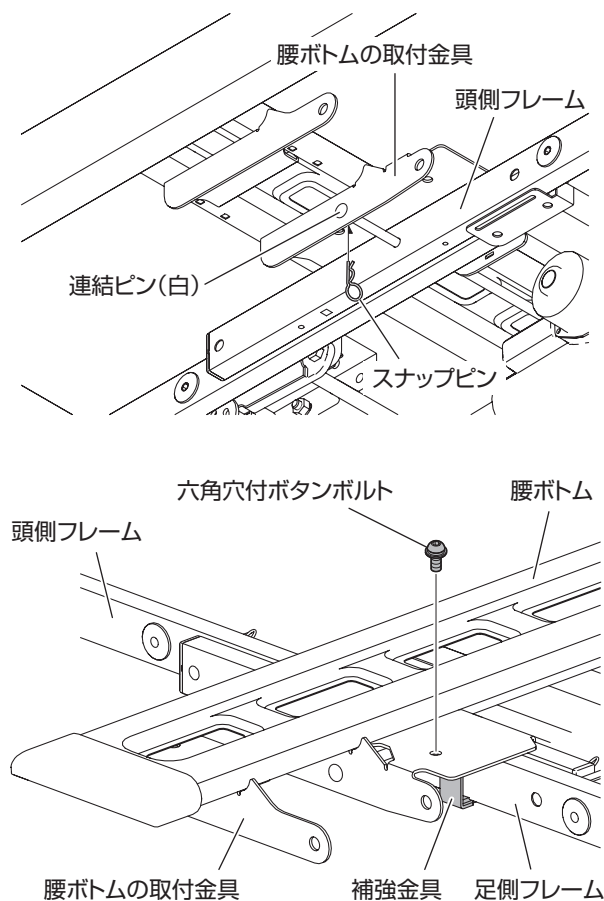


12 腰ボトムの取付け

- 腰ボトムと頭側フレームが連結ピンで確実に固定されていますか？
（左右各1ヶ所：計2ヶ所）
- 補強金具が正しく取付けられていますか？
（左右各1ヶ所：計2ヶ所）

はい

いいえ → 80・81ページ参照

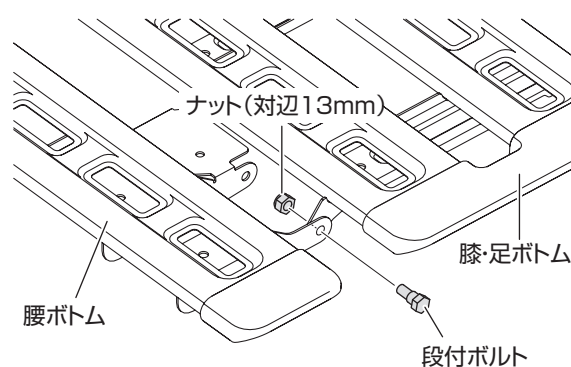
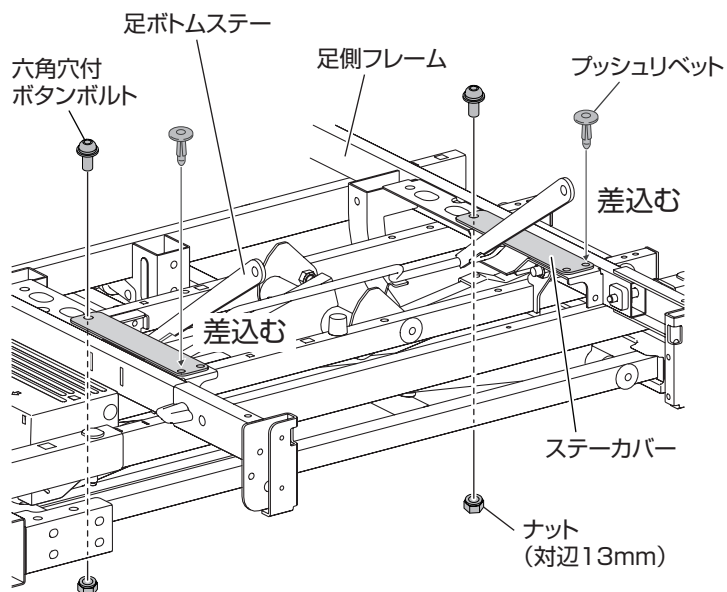


13 膝・足ボトムを取付け

- 腰ボトムと膝・足ボトム（膝側）が段付ボルトとナット（対辺13mm）で確実に固定されていますか？（左右各1ヶ所：計2ヶ所）
- ステーカバーが正しく取付けられていますか？（左右各1ヶ所：計2ヶ所）

はい

いいえ → 81～83ページ参照

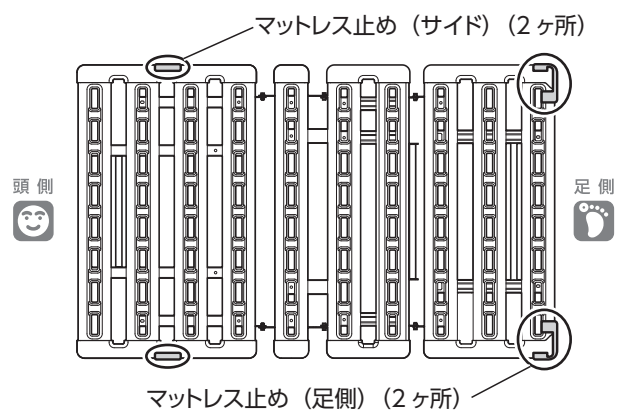


14 マットレス止めの取付け

ボトムにしっかりと取付けられていますか？

はい

いいえ → 85・86ページ参照



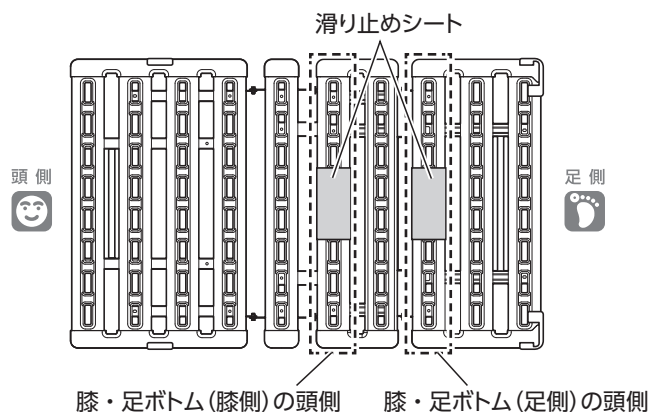
4 組立後の点検

15 滑り止めシートの設置

- 正しい位置に敷いてありますか？
- シワが寄ったり、折り曲がったりしていませんか？

はい

いいえ → 90ページ参照

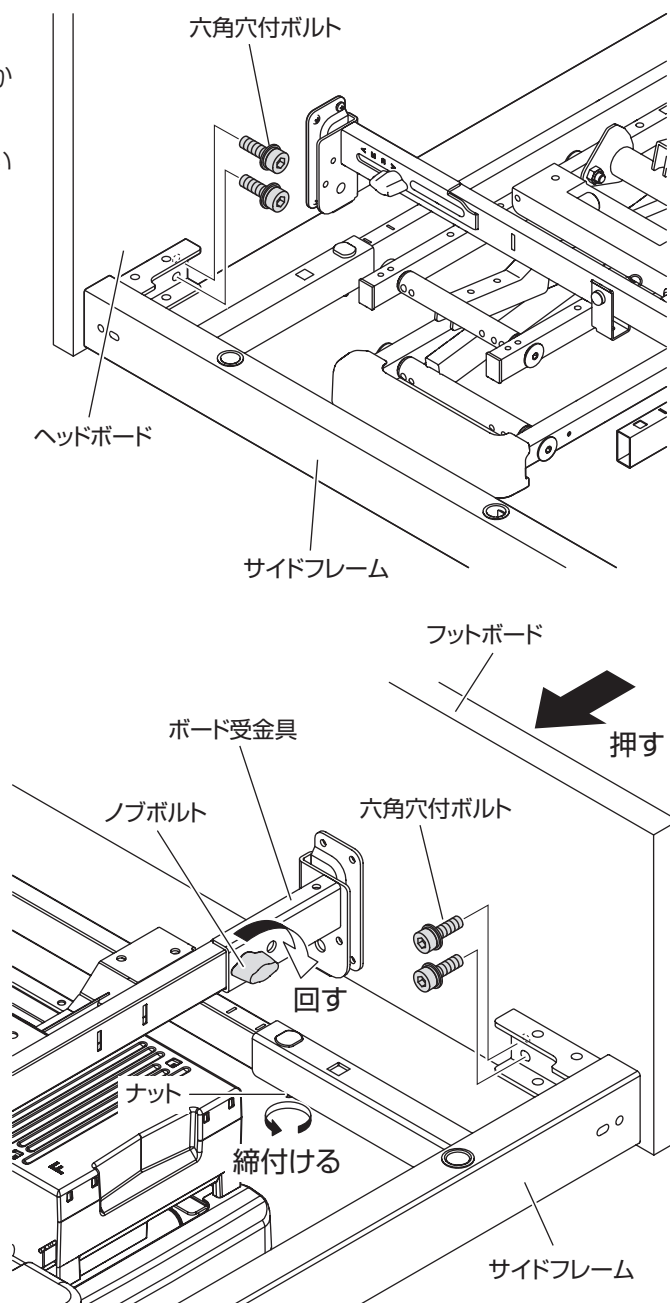


16 ボードの取付け状況の確認 (頭側・足側)

- ボードのボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？ (頭側2ヶ所・足側2ヶ所)
- ボードは六角穴付ボルトで確実に締結されていますか？ (左右2ヶ所：計4ヶ所)
- いちじるしいがたつきがないですか？

はい

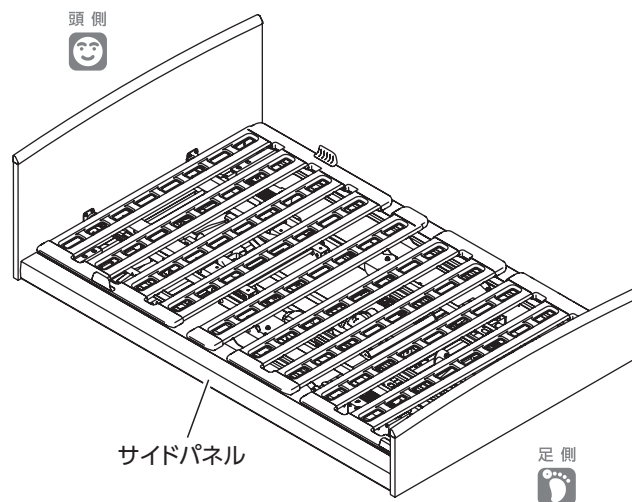
いいえ → 87～89ページ参照



17 サイドパネルの固定

サイドパネルがしっかりと取付けられていますか？
(左右各1ヶ所)

- はい
 いいえ → 91ページ参照

**18 手元スイッチの確認**

電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

- はい
 いいえ → 21ページ参照

19 操作時の確認

手元スイッチで「ラクリアーション」「らくらくーション」「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

- 異常ない
 異常音がある → パラテクノコールセンター (☎ 103ページ) へ連絡
 ※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。
 動作しない (電源ランプが点滅する) → 53・54ページ参照
 ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

20 ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレーム・パネルなどに、傷や変形がありませんか？
 - 手元スイッチに、傷や破損がありませんか？
- ない
 ある → パラテクノコールセンター (☎ 103ページ) へ連絡

4 組立後の点検

4

組立後の点検

21 ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

いいえ

はい (はがれている・文字が見えない) → パラテクノコールセンター (☎ 103ページ) へ連絡

22 ベッドの滑り

ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？

滑らない

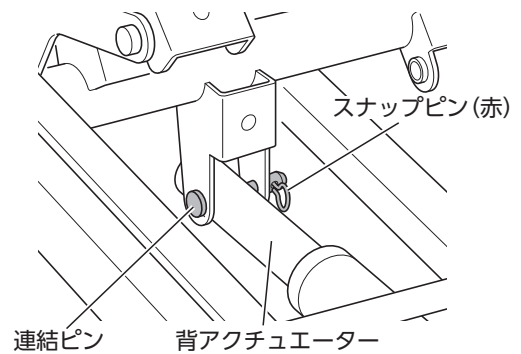
滑る → 脚座の下に敷物 (脚座ゴムシート KQ-P70K : 別売など) を敷いてください。

23 連結ピン・スナップピン (赤) の確認

背アクチュエーター先端の連結ピンにスナップピン (赤) が確実に差込まれていますか？

はい

いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター (下記) へ連絡



調整・点検が必要な場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ **0120-54-8639**

【受付時間】 平日8:00~19:00 / 土・日・祝日9:00~17:20 (年始は休業いたします)

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは121ページの「アフターサービス」をご覧ください。

5 ベッドの分解方法

注意

- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順通りに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター（RQ-P30C）を使用している場合は、キャスター（RQ-P30C）を固定状態（回転しない状態）にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをすることがあります。

1. 分解作業前の準備



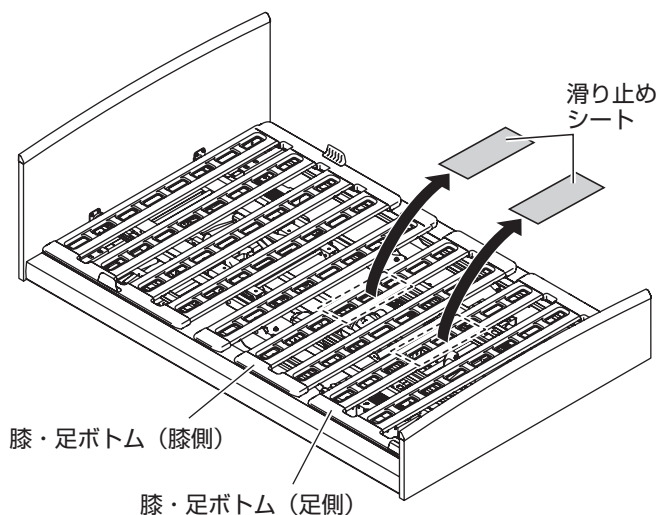
取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。

- ① キャスターを取付けている場合は、キャスターを固定状態にする。
- ② オプション取付穴にベッドサイドレール・ベッド用グリップを取付けている場合は、取外す。
- ③ 寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑤ ベッドの高さを最低高さまでさげる。
- ⑥ 背ボトムと膝・足ボトムを水平にする。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜く。

警告

ベッドの分解は、ベッドの高さを最低高さまで下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。

2. 滑り止めシートの取外し

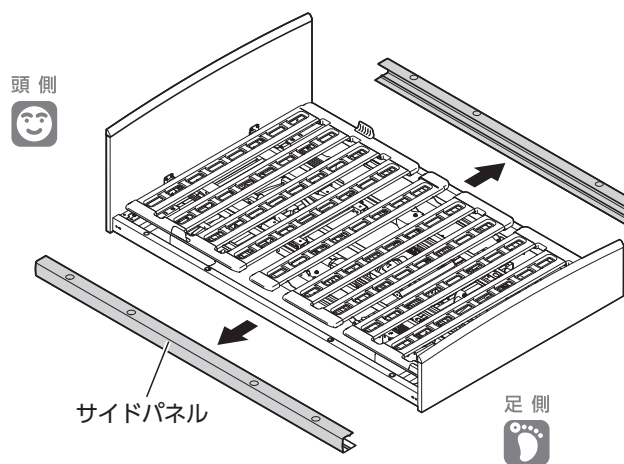


滑り止めシートを、膝・足ボトムから取外してください。（2ヶ所）

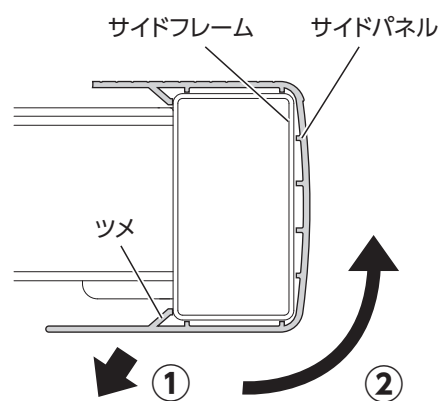


取外した滑り止めシートは、紛失しないように保管してください。

3. サイドパネルの取外し



- ① サイドパネルの長い側(穴の開いてない側)のツメを外す。
- ② サイドパネルを上側に引きあげ取外す。



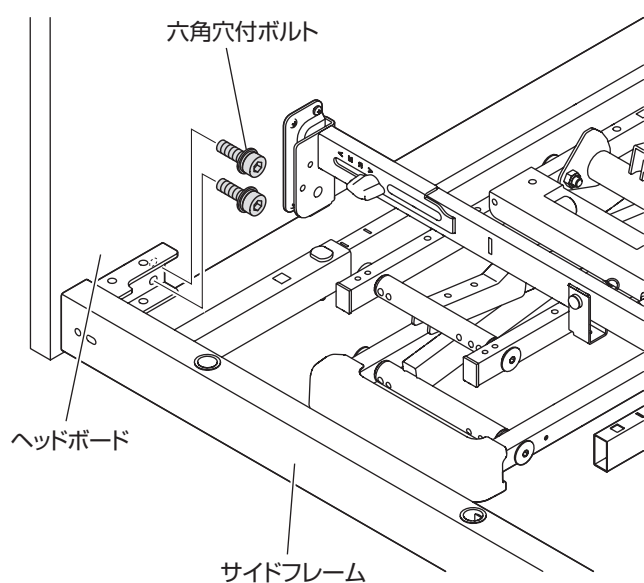
- サイドパネルを取外す際は、ボードを傷つけないように注意してください。
- 端部を手で持つ際には、けがをしないように注意してください。

4. ボードの取外し

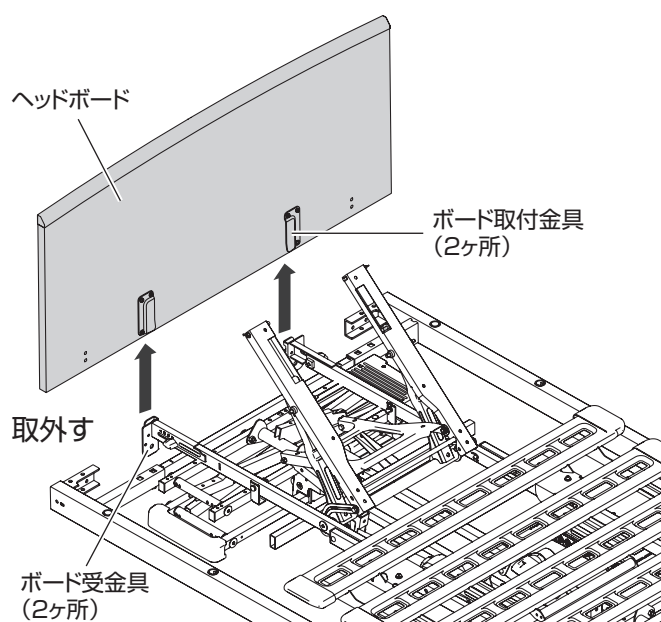
注意

ボードを取外すときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

4-1. ヘッドボードの取外し

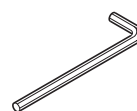


※イラストは背ボトムを省略しています。



※イラストは背ボトムを省略しています。

■使用工具

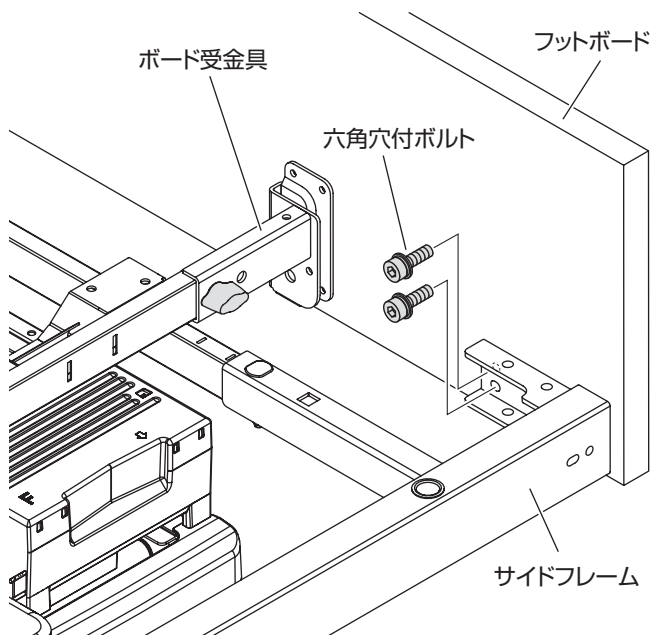


六角レンチ (対辺5mm)

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、背ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ 六角レンチ (対辺5mm) を使用して、六角穴付ボルトを取外してください。(左右各2ヶ所)
- ⑤ ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作し、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

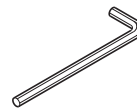
5 ベッドの分解方法

4-2. フットボードの取外し



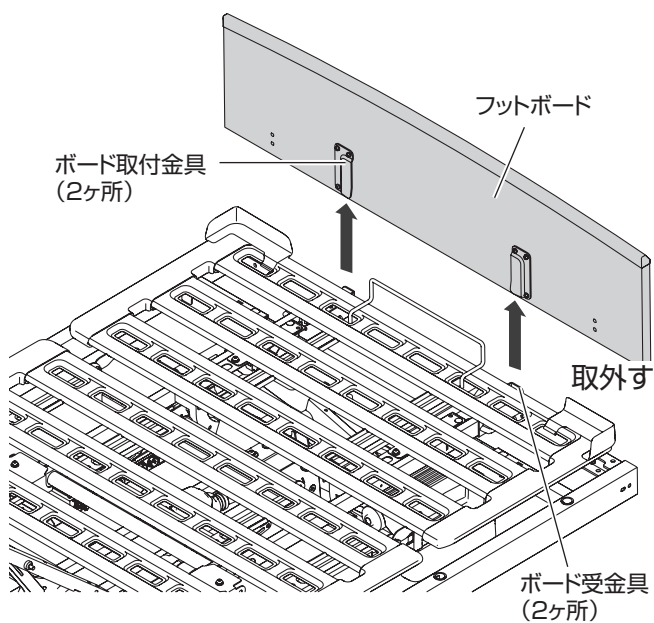
※イラストは膝・足ボトムを省略しています。

■使用工具



六角レンチ (対辺5mm)

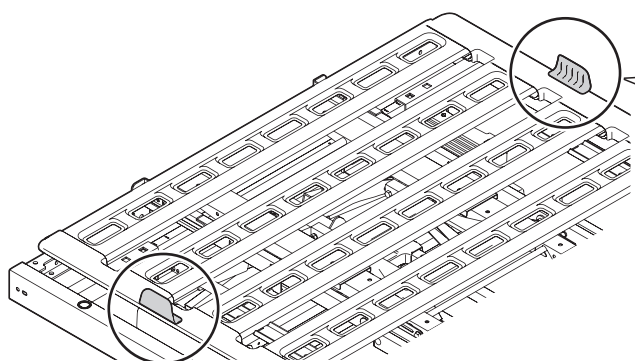
- ① 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ 六角レンチ (対辺5mm) を使用して、六角穴付ボルトを取外してください。(左右各2ヶ所)



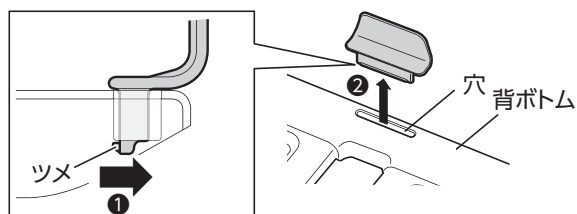
- ⑤ フットボードを真上に持ち上げて取外してください。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

5. マットレス止めの取外し

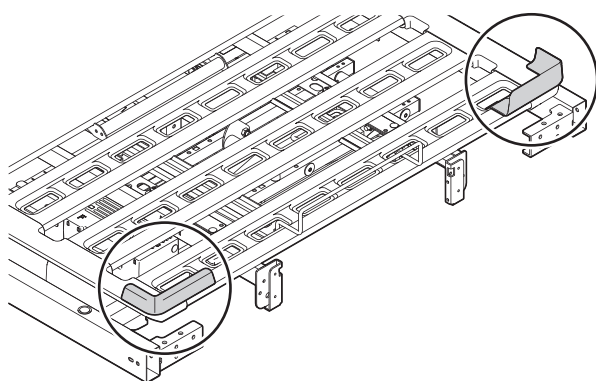
5-1. マットレス止め (サイド) の取外し



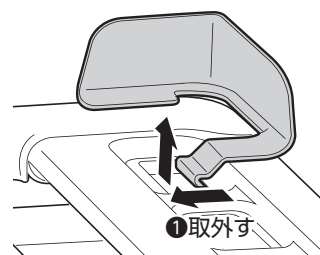
- ① マットレス止め (サイド) のツメを外側に引く。
(左右各1ヶ所)
- ② 取外す。



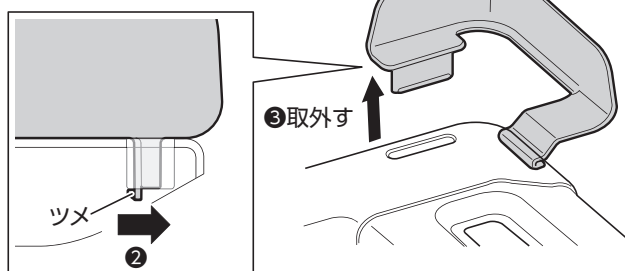
5-2. マットレス止め (足側) の取外し



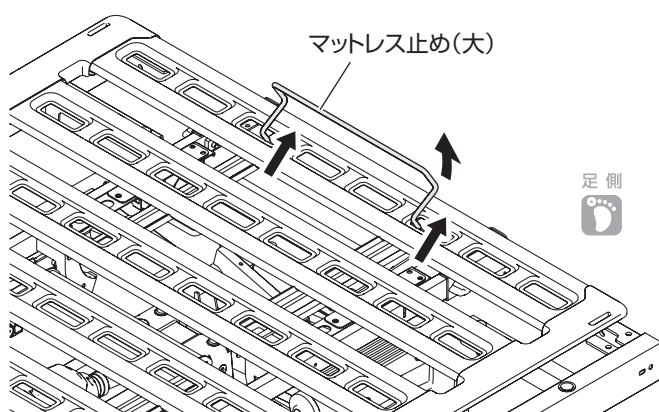
- ① スライドさせ、ツメを取外す。
(左右各1ヶ所)
- ② マットレス止め (足側) のツメを外側に引く。



- ③ 取外す。



5-3. マットレス止め (大) の取外し



マットレス止め (大) の取付け部を左右から少し押しながら、穴に引っ掛かっている部分を持ち上げて外してください。

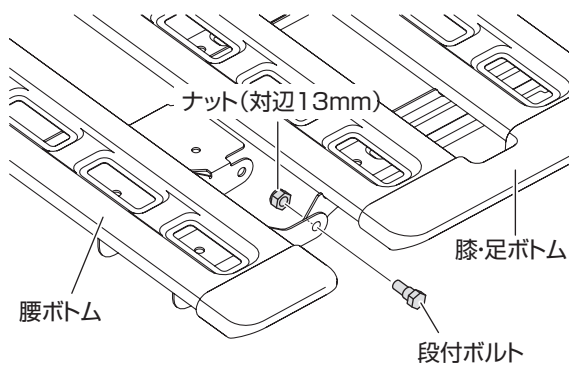
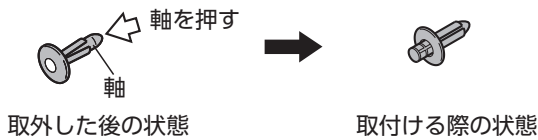
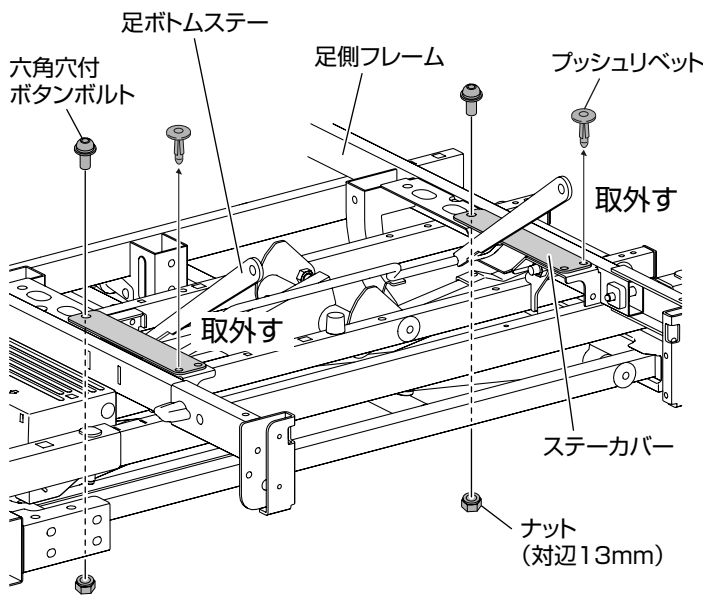
5 ベッドの分解方法

6. ボトムの取外し

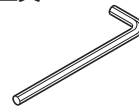
注意

ボトムを取外すときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボトムを傷つけたりするおそれがあります。

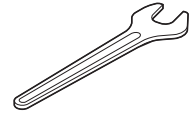
6-1. 膝・足ボトムの取外し



■使用工具



六角レンチ (対辺5mm)



スパナ (対辺13mm) × 2

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ 六角穴付ボタンボルトとナット (対辺13mm)、プッシュリベットを足側フレームから取外し、ステーカバーを取外してください。(左右各1ヶ所)

プッシュリベットの取外方法

ステーカバーを固定しているプッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで押し込んで固定を解除してください。

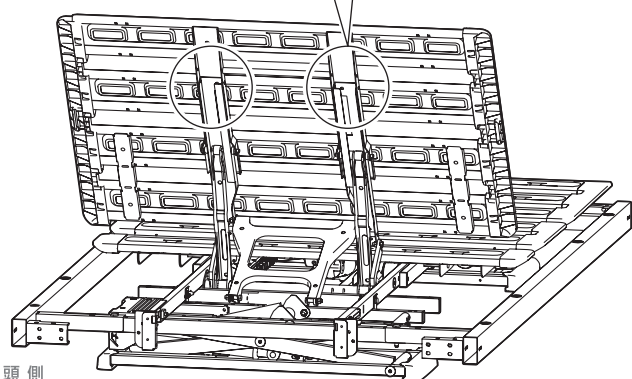
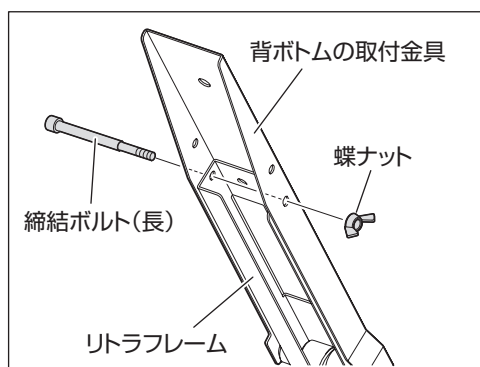
※指で押し込めない場合は、押し込みすぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。
※ステーカバーを再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。

- ⑤ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作し、膝・足ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⑧ 段付ボルトとナット (対辺13mm) を取外してください。(左右各1ヶ所)
- ⑨ 足ボトムステーを手で支えながら、膝・足ボトムを取外してください。



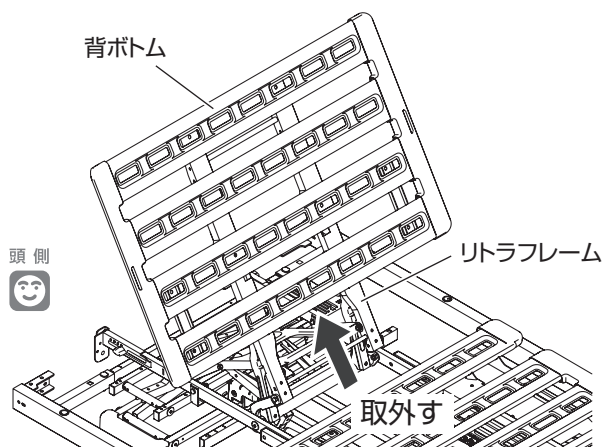
取外した六角穴付ボタンボルト・段付ボルト・ナット (対辺13mm)・ステーカバー・プッシュリベットは紛失しないように保管してください。

6-2.背ボトムの外し



頭側
☺

- ① 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② 手元スイッチを操作し、背ボトムを作業しやすい角度まで操作してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ 締結ボルト(長)と蝶ナットを取外してください。(左右各1ヶ所)



頭側
☺

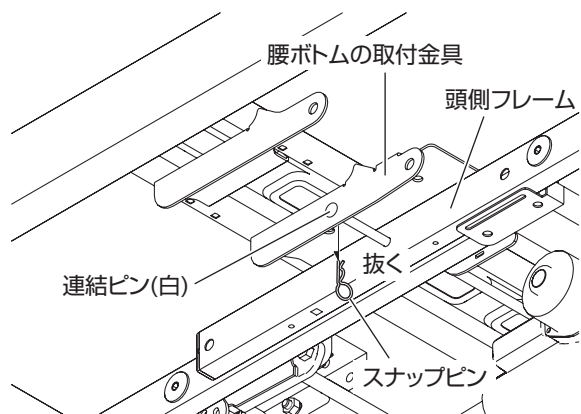
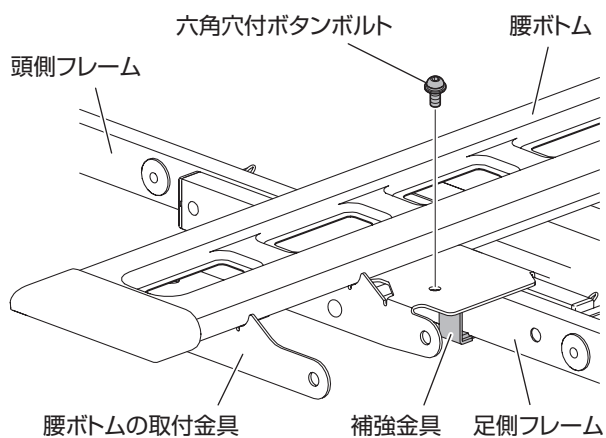
- ⑤ 背ボトムをリトラフレームから取外してください。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作し、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



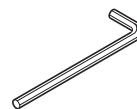
取外した締結ボルト(長)・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

5 ベッドの分解方法

6-3.腰ボトムの外し



■使用工具



六角レンチ (対辺5mm)

① 六角穴付ボタンボルトを取外し、補強金具を取外してください。(左右各1ヶ所)

② 連結ピンとスナップピンを取外してください。(左右各1ヶ所)

③ 腰ボトムを取外してください。

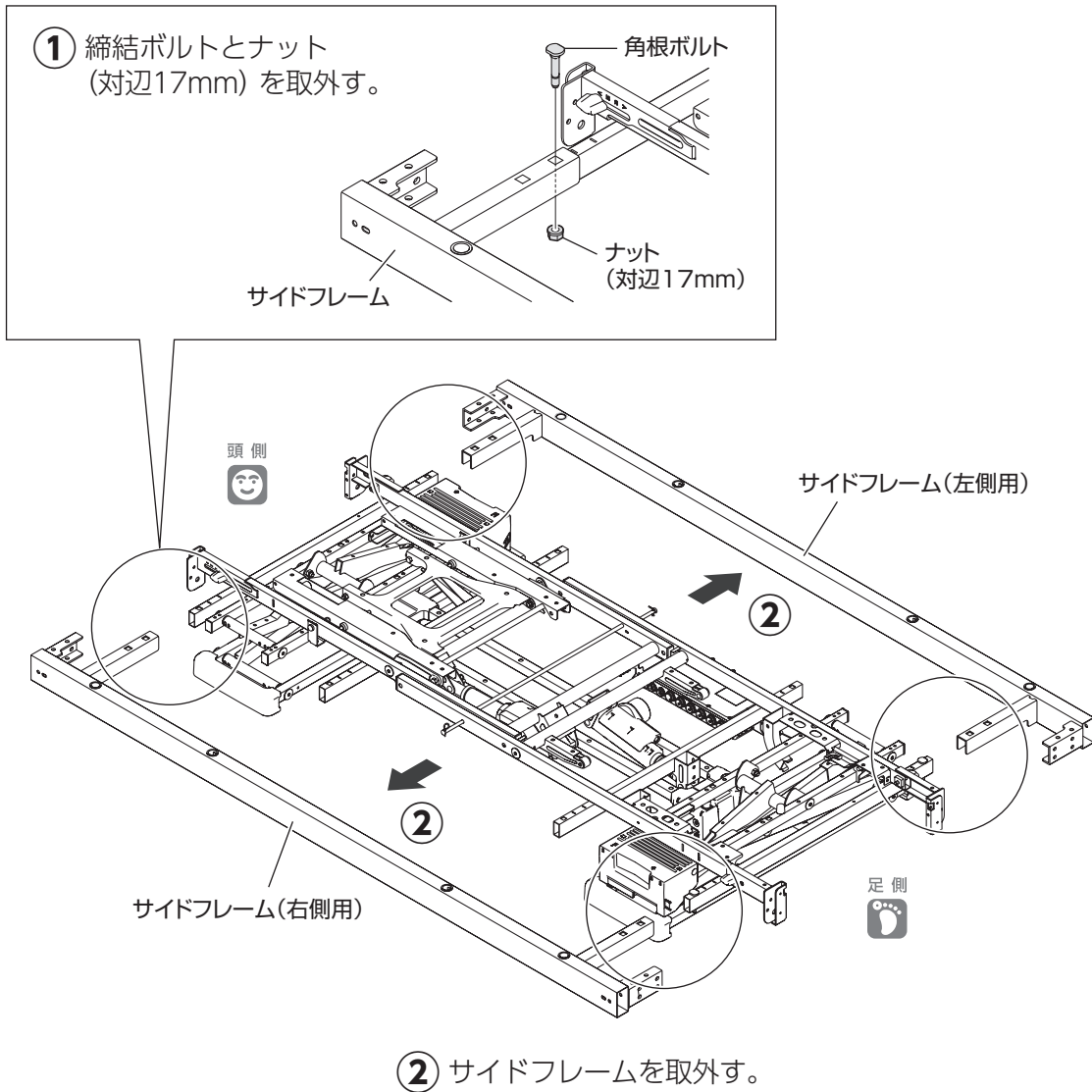


取外した六角穴付ボタンボルト・連結ピン・スナップピンは紛失しないように保管してください。

7. サイドフレームの取外し



- 角根ボルトやナット (対辺17mm) を取外すときは、サイドフレームを手で支えてください。
- 取外した角根ボルト・ナット (対辺17mm) は紛失しないように保管してください。



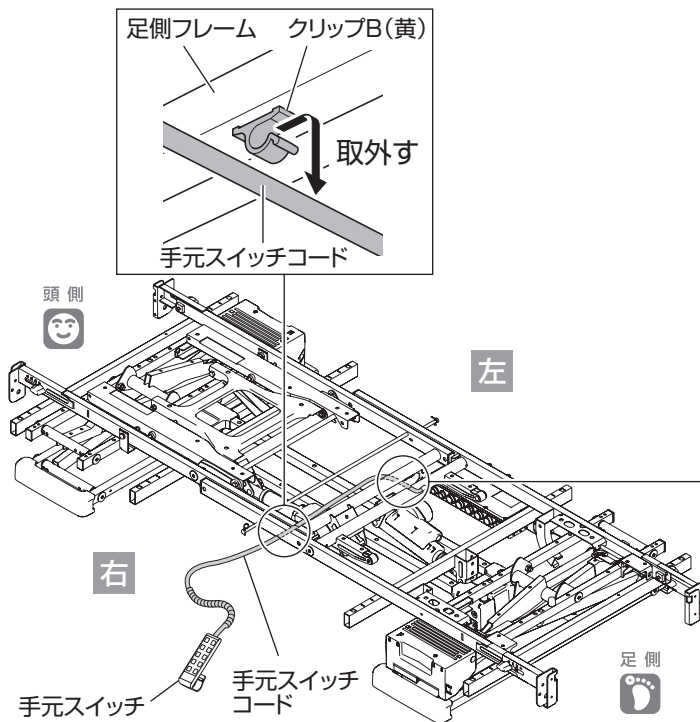
注意

サイドフレームを取外すときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやサイドフレームを傷つけたりするおそれがあります。

5 ベッドの分解方法

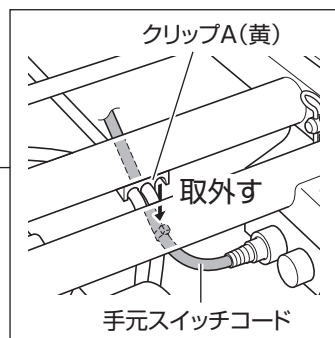
8. ケーブル・コード類の配線の取外し

8-1. 手元スイッチコードの配線の取外し

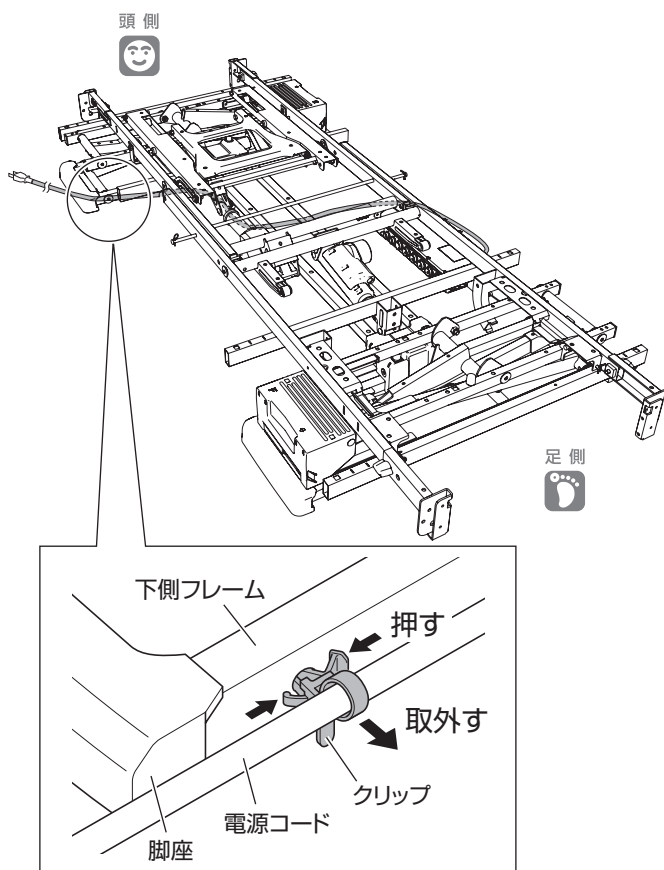


頭側フレームの裏側にあるクリップA(黄)から、手元スイッチのコードを取外してください。

※手元スイッチをベッドの右側に出している場合は、足側フレームの裏側にあるクリップB(黄)からも手元スイッチのコードを取外してください。

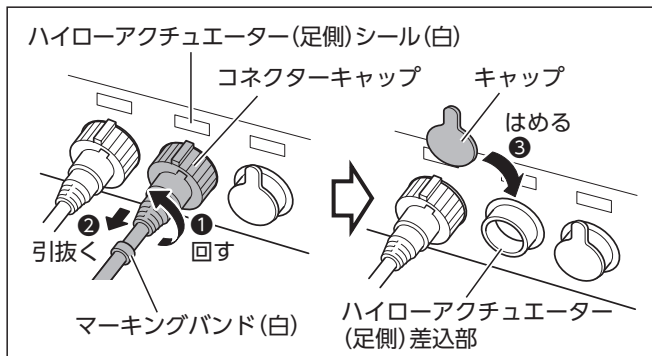


8-2. 電源コードの配線の取外し



ベースフレームの下側フレームに、電源コードを固定しているクリップを取外してください。

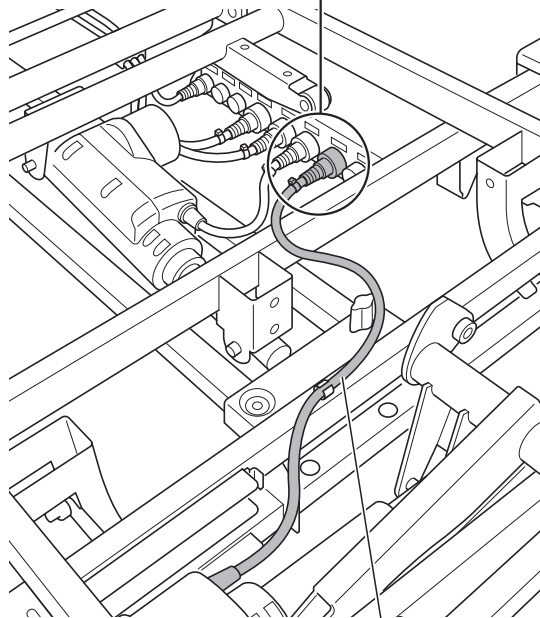
8-3.ハイローアクチュエーター（足側）の配線の取外し



- ① ハイローアクチュエーター（足側）のコネクターキャップ(マーキングバンド：白)を反時計回りに回して、ハイローアクチュエーター（足側）差込部(シール：白)からコネクターを引抜いてください。
- ② 保管しているキャップを、ハイローアクチュエーター（足側）差込部(シール：白)にはめてください。

注意

コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

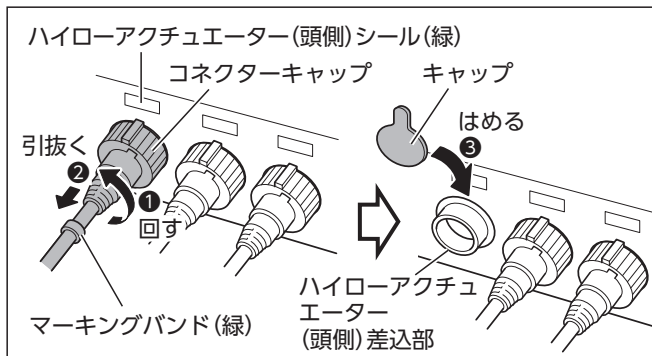


ハイローアクチュエーター(足側)ケーブル



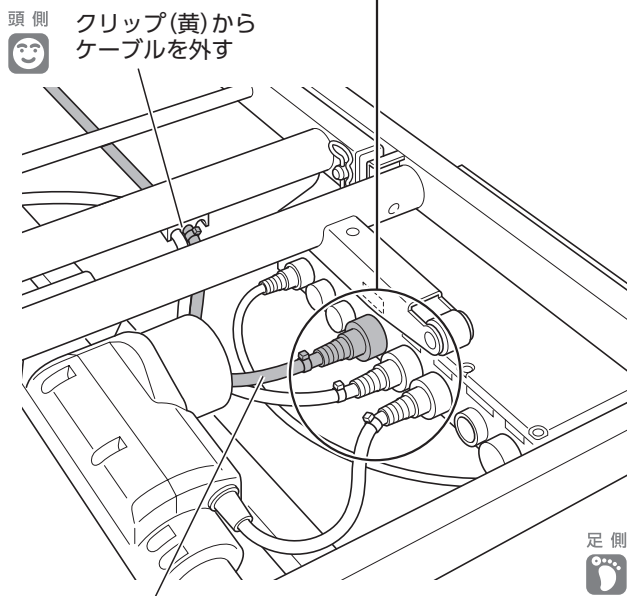
5 ベッドの分解方法

8-4.ハイローアクチュエーター（頭側）の配線の取外し



- ① ハイローアクチュエーター（頭側）のコネクターキャップ(マーキングバンド：緑)を反時計回りに回して、ハイローアクチュエーター（頭側）差込部(シール：緑)からコネクターを引抜いてください。
- ② ハイローアクチュエーター（頭側）ケーブルを、クリップ(黄)の中央から取外してください。
- ③ 保管しているキャップを、ハイローアクチュエーター（頭側）差込部(シール：緑)にはめてください。

5 ベッドの分解方法

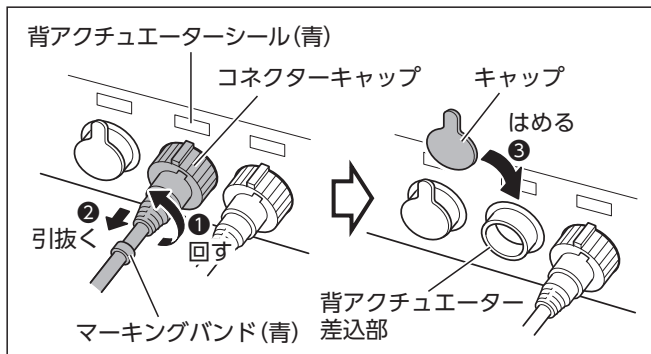


ハイローアクチュエーター(頭側)ケーブル

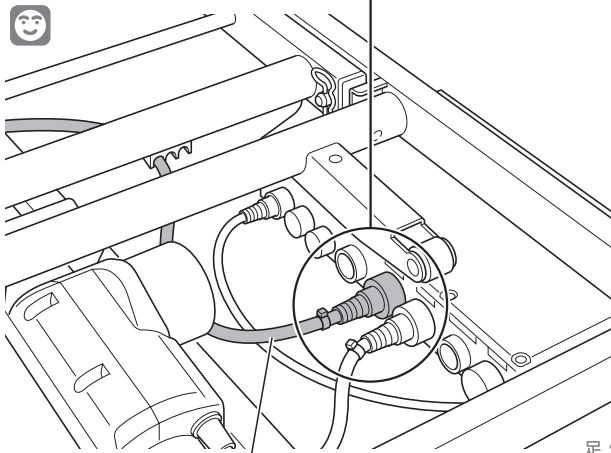
注意

コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

8-5.背アクチュエーターの配線の取外し



頭側



背アクチュエーターケーブル

足側

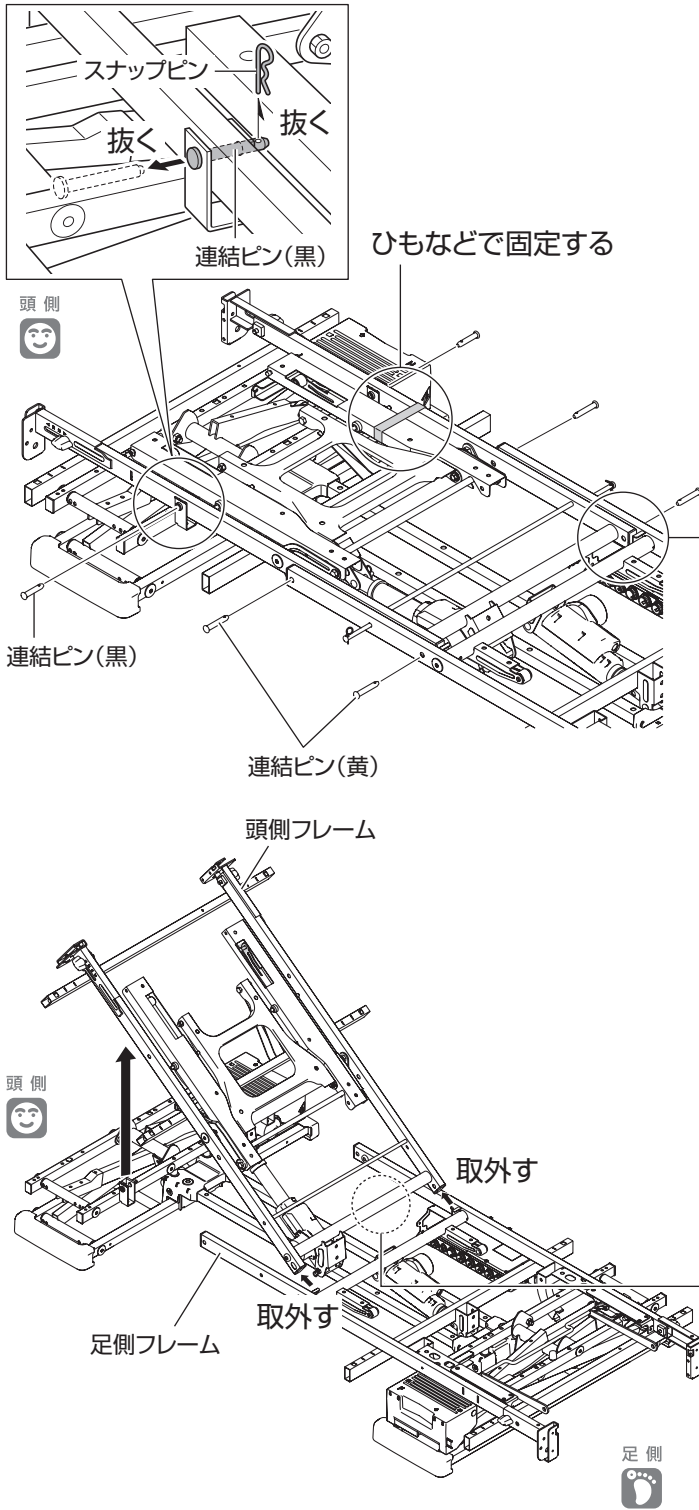


- ① 背アクチュエーターのコネクターキャップ(マーキングバンド:青)を反時計回りに回して、背アクチュエーター差込部(シール:青)からコネクターを引抜いてください。
- ② 保管しているキャップを、背アクチュエーター差込部(シール:青)にはめてください。

⚠️ 注意

コネクター部を落したり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

9. 頭側フレームの取外し



- ① リトラフレームと頭側フレームを、ひもなどで固定してください。
- ② 頭側フレームと足側フレームを固定している連結ピン(黄)のスナップピンを抜き、連結ピン(黄)を抜いてください。(左右各2ヶ所:計4ヶ所)

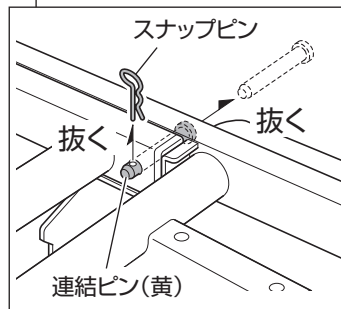


注記 連結ピンを抜くときは、頭側フレームと足側フレーム先端部分が下側にさがる可能性がありますので、手で支えながら作業してください。

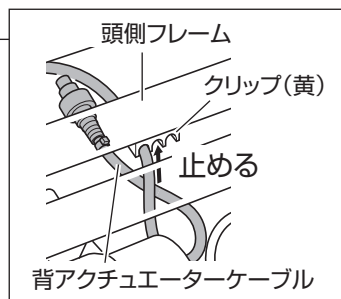
- ③ 頭側フレームと頭側ベースフレームの取付金具を固定している連結ピン(黒)のスナップピンを抜き、連結ピン(黒)を抜いてください。(左右各1ヶ所)



注記 背アクチュエーターケーブルが他のユニットのフレームなどを、通っていないことを確認してください。

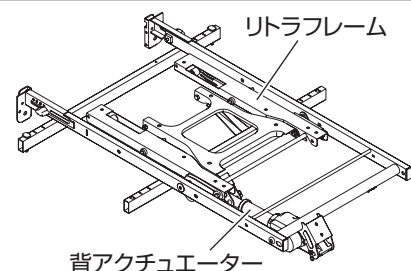


- ④ 頭側フレームを足側フレームから取外してください。
- ⑤ 頭側フレームのクリップ(黄)に背アクチュエーターケーブルを止めてください。

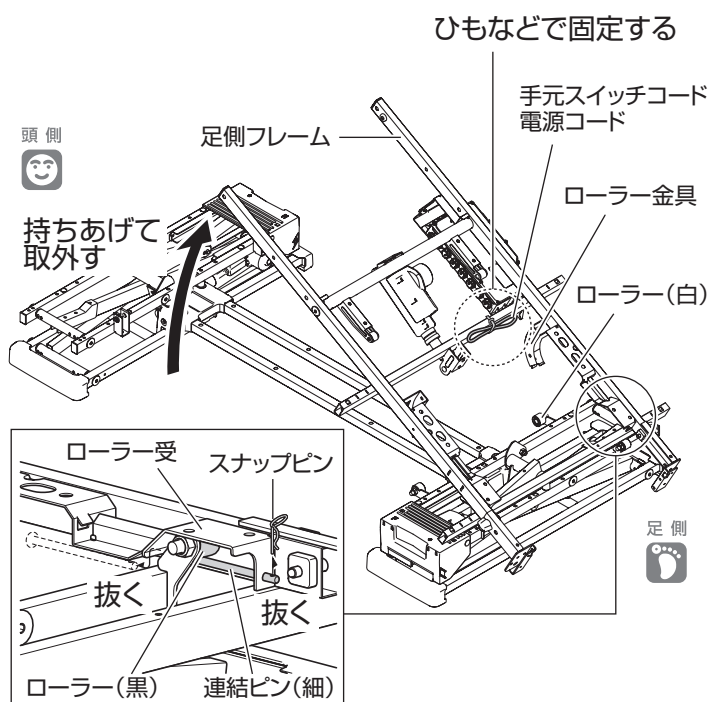


注意

分解や持ち運びをするときは、背アクチュエーターやリトラフレームなどを持たないでください。けがや破損の原因となります。

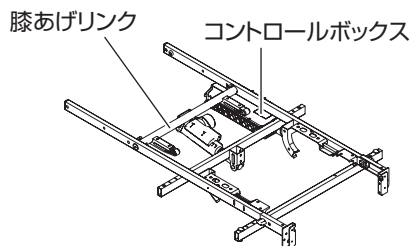


10. 足側フレームの取外し



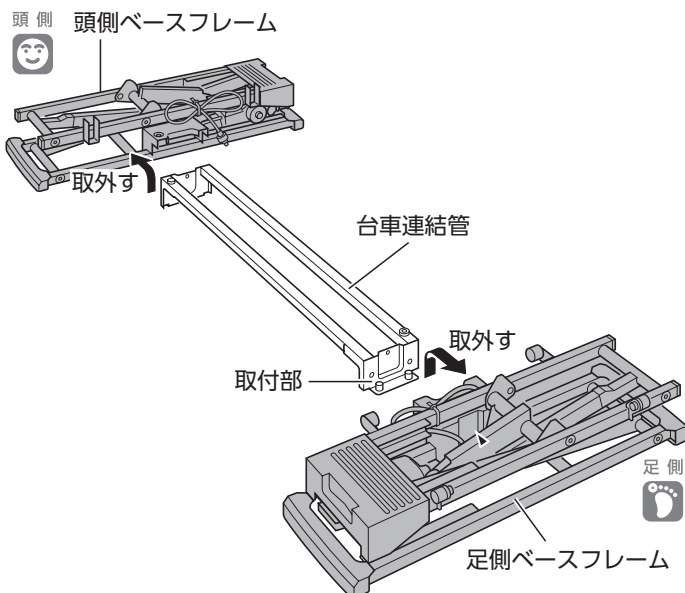
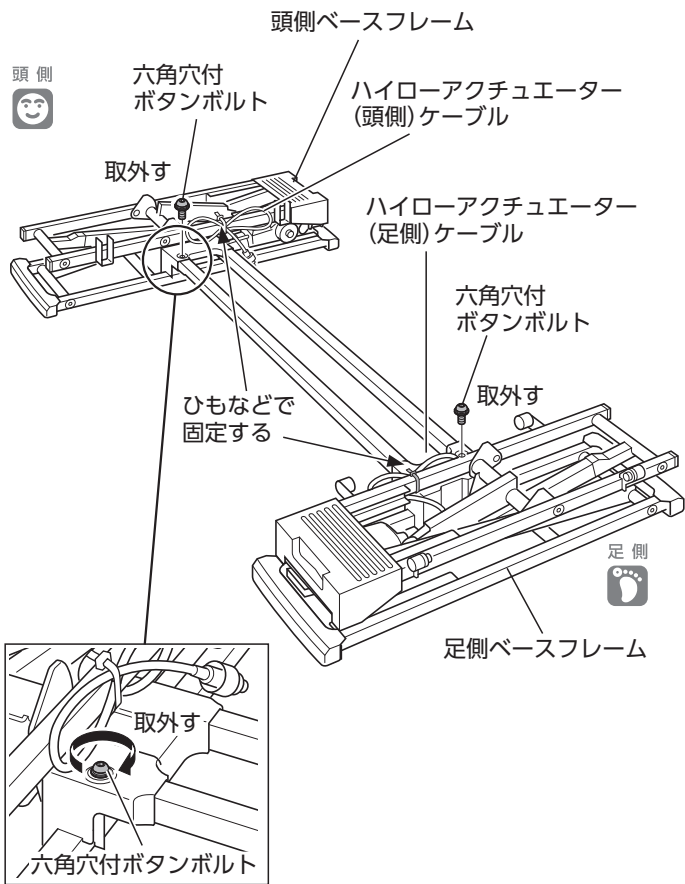
注意

膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。



- ① 手元スイッチコードと電源コードを、足側フレームのコントロールボックス付近に、ひもなどで固定してください。
- ② 足側フレームのローラー受に差込まれている連結ピン(細)のスナップピンを抜き、連結ピン(細)を抜いてください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)
- ③ 足側フレームの先端をゆっくり持ちあげて、足側ベースフレームのローラー(白)を足側フレームのローラー金具から抜き、足側フレームを取外してください。

11. 台車連結管の取外し



- ① 頭側ベースフレームにハイローアクチュエーター(頭側)ケーブルを、足側ベースフレームにハイローアクチュエーター(足側)ケーブルを、ひもなどで固定してください。

⚠️ 注意

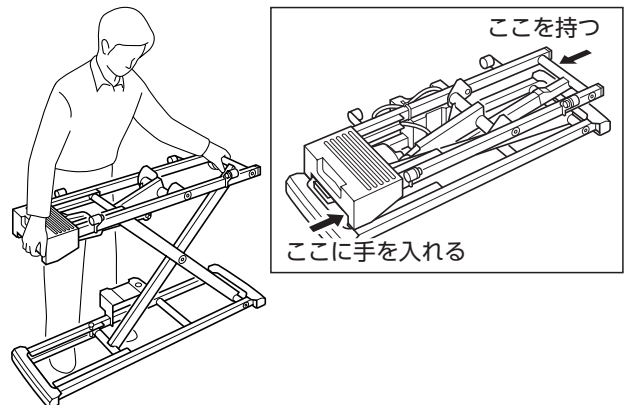
コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

- ② 台車連結管と足側ベースフレームおよび頭側ベースフレームを固定している六角穴付ボタンプルットを取外してください。(各1ヶ所:計2ヶ所)

- ③ 台車連結管の取付部から足側ベースフレームおよび頭側ベースフレームを取外してください。

⚠️ 注意

頭側・足側ベースフレームを持つと、頭側・足側ベースフレームが下図のように伸びますので、可動部に注意してください。手や腕などはさまれて、けがをするおそれがあります。
※頭側・足側ベースフレームを持つときは、下図の指定位置を持ってください。

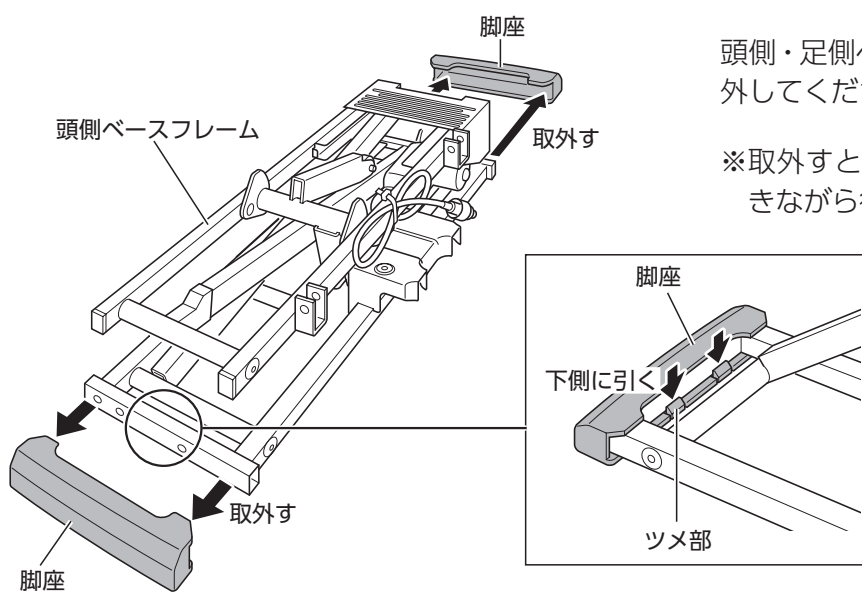


12. 脚座の取外し

■頭側・足側ベースフレームから脚座を取外して保管したい場合や、キャスターを使用したいときは、下記の手順で脚座を取外してください。

注意

頭側・足側ベースフレームから脚座を取外すときは、ベッドを分解して頭側・足側ベースフレームのみの状態にしてから作業を行ってください。けがや破損の原因となります。



頭側・足側ベースフレームから脚座を、図のように取外してください。(頭側・足側各2ヶ所:計4ヶ所)

※取外すときは、脚座内側にあるツメ部を下側に引きながら行ってください。

13. 付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品は袋などに入れて保管してください。

アフターサービス

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の「**15** 故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター(下記参照)までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(ラベルの貼付位置はP.61~65ページ)
- お買い上げ日 ●故障または異常の内容(できるだけ詳しく) ●お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間: 平日 8:00 ~ 18:00 / 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (年始は休業いたします)

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

〈パラマウントベッド株式会社 直営店〉

眠りギャラリー TOKYO	〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テブコビル1階	☎(03)5250-1515(代)
眠りギャラリー SAPPORO	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)219-8800(代)
眠りギャラリー NAGOYA	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-6800(代)
眠りギャラリー KITTE 大阪店	〒530-0001	大阪市北区梅田3丁目2番2号KITTE 大阪 3F	☎(06)6485-7633(代)
眠りギャラリー FUKUOKA	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-0666(代)

〈パラマウントベッド株式会社〉

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1号	☎(048)878-0100(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8900(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

保証書

品名	Active Sleep シリーズ RA-E1モデル	品番	RA-E1□□□□
保証期間	1年間	保証対象	本体

★	お買上げ日	年	月	日
お客様	お名前			
	ご住所	〒□□□□ - □□□□	☎	()
★	販売店	店名		
		住所	☎	()

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内(お買上げの日より1年間)に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間:平日8:00~18:00 / 土・日・祝日9:00~17:00 (年始は休業いたします)

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号